SONY®

4-208-048-**04**(1)

デジタルハイビジョンチューナー内蔵
ハードディスク搭載

ブルーレイディスク/DVDレコーダー

取扱説明書

使い始めの操作については、別冊の
「らくらくスタートガイド」をお読みください。

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「らくらくスタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

BDZ-AX2000 / BDZ-AX1000 / BDZ-AT900 / BDZ-AT700 / BDZ-AT500 / BDZ-AT300S

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。「はじめにお読みください」（8ページ）もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

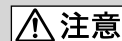
変な音・においがしたら、煙が出たら

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

分解禁止

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

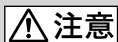
雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

コード類は正しく配置する

AVケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

移動させるとき、すべてのAVケーブルや電源コードを抜く

AVケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

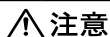
➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

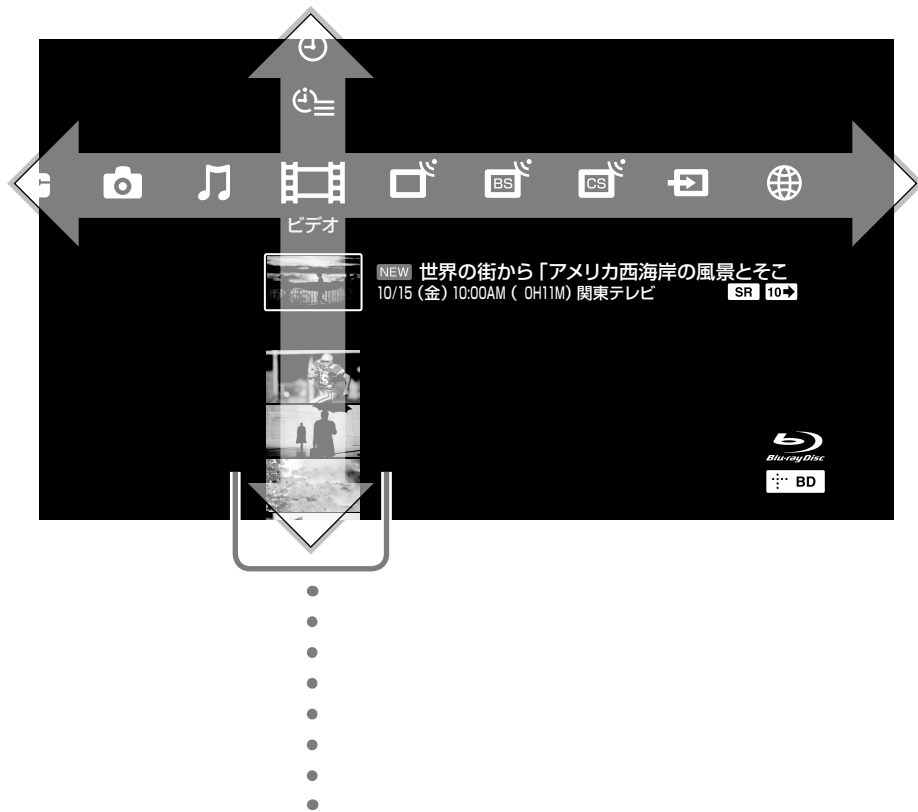
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

ホームメニューを使ってみよう

リモコン（138ページ）の《ホーム》ボタンを押すと表示されるホームメニューでは、できることが盛りだくさん。
特に、[ビデオ]カテゴリーの列には、本機を使う上で便利なことがいっぱい。

たったの3ステップ！

1 《ホーム》ボタンを押す。

2 ◀▶でカテゴリーを選ぶ。

3 ▲▼で操作したい機能や見たい映像を選び、《決定》ボタンを押す。

よく使うボタン

《戻る》ボタン
前の画面に戻ります。

《オプション》ボタン
そのときできることをメニュー表示します。

ビデオカテゴリーでできること

ビデオ

番組を録画予約する

[録画予約]のアイコンを選び、《決定》ボタンを押すと録画予約できます（16ページ）。

録画予約の確認や修正をする

[予約確認]のアイコンを選び、《決定》ボタンを押すと確認･修正できます（27ページ）。

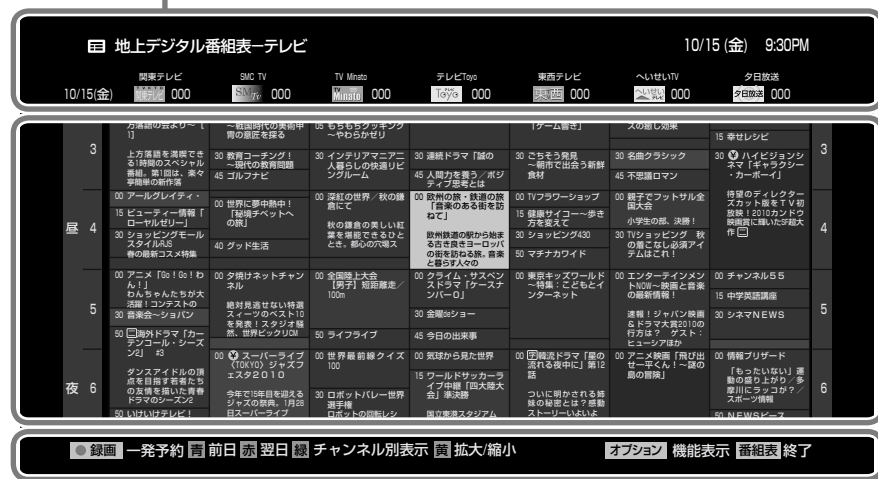
録画した番組を見る

画像付きのタイトルを選び、《決定》ボタンを押すだけで再生できます（32ページ）。

- ディスクの映像を見る（32ページ）
- 録画した映像を持ち出して楽しむ（57ページ）
- 映像を取り込んで楽しむ（70ページ）
- ビデオテープの映像を取り込んで楽しむ（78ページ）
- 映像をディスクに残す（52ページ）
- おまかせ録画するための設定をする（22ページ）

番組表を使ってみよう

リモコン(138ページ)の《番組表》ボタンを押すと表示される番組表では、新聞の代わりに1週間先の番組をらくらく探せます。

- **全体情報エリア**
（放送サービス、放送局、放送日、現在時刻など）

- ◷：録画予約した番組
- ◷≡：日時指定予約した番組
- ▎(赤)：予約のある時間帯
- ▎(ピンク)：これ以上予約できない時間帯*

* 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。

- **操作情報エリア**
（カラーボタンやオプションなど、便利なショートカットボタン）

番組表でできること

録画予約する

録画したい番組を選び、《決定》ボタンを押します(18ページ)。

探す

《緑》ボタンでチャンネル別の週間番組表にしたり、《10秒戻し／ 15秒送り》ボタンでページを送って探せます。

もっと探す

《オプション》ボタンを押すと、[番組検索]もできます。
好きなタレントが出ている番組もキーワードで絞り込んで探せるので便利です。

見る

見たい放送局を選び、オプションメニューから[選局]を選びます。

目次

テレビ番組を見る

録画する

再生する

削除する

編集する

BDやDVDにコピーする

PSP®や“ウォークマン”などに持ち出す

デジタルカメラなどから取り込む

設定を変更する

接続する

困ったときは

その他

はじめにお読みください

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれる「ソフトウェア等に関する重要なお知らせ」(151ページ)をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります(10ページ)。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと(表示窓が消灯し、さらに録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと)を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。ただし、本機の[設定]の[本体設定]にて、[スタンバイモード]の設定が「瞬間起動」になっている場合は電源を切ってもハードディスクが動作しているので、設定を「標準」または「低消費待機」に変更してから電源を切ってください。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機を使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。通常、本体の電源ボタンで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機で受信できる放送について

本機では地上デジタル放送およびBS/110度CSデジタル放送が受信できます。地上アナログ放送は受信できません。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が、また本機の電源が切れるときには、本体表示窓に「POWER OFF」が点滅表示されます。
電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

操作を受け付けないときは

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面のリセットボタンを押してください。

電源を「切」にしているときのご注意

本機は番組表データなどを取得したり、テレビとの高速連動(HDMI機器制御機能)をするために、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクや冷却ファンが動作することがありますが、故障ではありません。

- 次のようなときは、電源が「切」の状態でもファンが回り続けることがあります。
  - 番組表などのデータ取得中
  - 録画中のとき(録画予約やx-おまかせ・まる録など)
  - ダビング中のとき
  - [HDMI機器制御設定]の[高速連動]が[入]に設定されているとき
  - 本機のホームサーバー機能(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)や「スカパー! HD」対応チューナーからのネットワーク録画(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)、リモート録画予約機能を利用しているとき
  - [スタンバイモード]が[瞬間起動]に設定されているとき
  - ソフトウェアのアップデートを行っているとき
  - スカパー! e 2の無料視聴期間サービスを利用しているとき

- ［スタンバイモード］を［低消費待機］にすると（89ページ）、リモート録画予約が利用できません。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

個人情報などのお取り扱いについて

- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されている個人情報などのデータを［個人情報の初期化］（93ページ）で削除することを強くおすすめします。
  削除をしないまま廃棄、譲渡等を行うと、記録されている個人情報が第三者に知られてしまう可能性があります。
- 本機に記録されている個人情報などのデータは次の内容です。
  - 各種機能の設定時のIPアドレスなど
  - ご使用中に受信したお知らせ（メール）、番組購入履歴など
  - 放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなど
  - インターネットサービスに機器を登録した際に発行される機器登録（識別）情報
  - リモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」および「機器名」
- アクトビラやTSUTAYA TVのホームページで登録した情報は、サービス提供元のサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、アクトビラやTSUTAYA TVの規約などに従って必ず登録情報の削除を行ってください。
- MACアドレスは、リモート録画予約の初回登録時にサービス事業者のサーバーに送信されます。
- 本製品内に記録された録画予約およびタイトルなどに関わる情報は、リモート録画予約の利用時にサービス事業者のサーバーへ送信されます。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア･記録機器などに記録ができなかった場合、不具合･修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア･記録機器などの記録内容が破損･消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 別売りのチューナーをつないで番組を視聴する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- 本機は、無許諾のBD/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、つなぐテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- 著作権の対象になっている画像やデータの記録された“メモリースティック”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意下さい。
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）を搭載しているため、番組によっては、正常な映像で録画できなかったり、録画したものを正常な映像で再生できなかったりするものがあります。
  また、音声に関しても、本機のデジタル音声出力端子、HDMI出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。

3D 映像の視聴について

3D 映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D 映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D 映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器や本機で再生するブルーレイディスクの取扱説明書やご注意文などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ（http://www.sony.co.jp/support/）をご覧ください。なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度や温度が高い所。
- 極端に寒い所。

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。

配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認して（8ページ）から電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。

結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

音量を調節するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

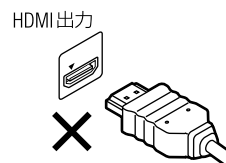
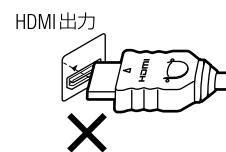
- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

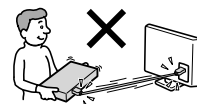
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

HDMI 出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI 出力端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体後面のHDMI 出力端子とコネクターの形や向きに注意してください。

コネクターが逆さになっている

曲がっている

- 本機を移動させるときは、必ずHDMI ケーブルを抜いてください。

- HDMI ケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI 出力端子に強く押しこんだりしないでください。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上アナログテレビ放送とBSアナログテレビ放送は2011年7月24日までに終了することが、国の法令によって定められています。

本書の記載について

- 本書では、BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500 / AT300Sの6機種について説明しています。
- 本書では、「ハードディスク」のことを「ハードディスク」または「HDD」、「ブルーレイディスク」のことを「BD」と記載しています。
- 本書中の《　》内の項目はボタン名、[　]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 本書記載のサービスやお問い合わせ先、別売りアクセサリー、接続機器については、2010年9月現在のものです。
- 全機種共通の機能を説明する場合、本書では、BDZ-AT900 / AT700 / AT500のイラストを使用しています。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。
- 放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、変更･中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。

テレビ番組を見る

放送中の番組を見る

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **アンテナをつなぐ(102ページ)。**
- **テレビをつなぐ(104ページ)。**

1 放送の種類を選ぶ。

《地デジ》ボタン／《BS》ボタン／《CS》ボタンのどれかを押します。

2 チャンネルを選ぶ。

数字ボタンまたは《チャンネル＋／－》ボタンを押します。

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

チャンネルを順送りで切り換える。

チャンネル番号を入力して選ぶときは、次のように入力します。

例) 011CH(地上デジタル放送)の場合

10キー → 10 → 1 → 1 → 12

例) 011_2CHの場合(「2」は枝番を表す)

10キー → 10 → 1 → 1 → 11 → 2 → 12

番組の音声･字幕を切り換える

1 番組視聴中に《音声切換》ボタンや《字幕切換》ボタンを押す。

番組によっては押すたびに音声信号や字幕放送の字幕言語が切り換わります。
チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

ラジオやデータ放送の番組を楽しむ

画像や連動したデータを楽しめます。
データ放送では、さまざまなニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめます。

1 放送の種類を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[地デジ]／[BS]／[CS]のどれかを選びます。

2 チャンネルを選ぶ。

チャンネルを選び、《決定》ボタンを押します。
ネットワークを使用するサービスを利用するときは、あらかじめ接続と設定を済ませてください(110ページ)。

連動データ放送を楽しむには

テレビ番組に連動した放送サービスを見ることができます。

1 番組視聴中に*d*《連動データ》ボタンを押す。

視聴中の番組に連動データ放送がない場合は何も表示されません。

以下のことはできません

- ラジオ放送、データ放送や連動データ放送を録画すること。

オプションボタンでできること

《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

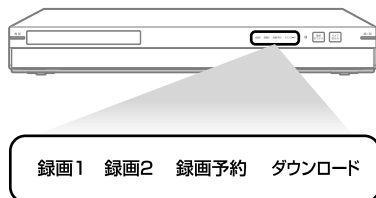
オプション機能	できること
映像切換	アングルなど、切り換えが可能な映像がある場合に切り換えます。
追いかけ再生	録画中の番組を再生します(32ページ)。
おでかけ進行状況	おでかけ転送実行中におでかけ転送進捗画面を表示します(60ページ)。
音声設定	● 画音同期調整:映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます(0 ～ 120ミリ秒)。 ● 外部入力音声:外部入力端子からの音声を[ステレオ]または[二重音声]で設定します。 ● DV入力音声:HDV1080i/DV入力端子からの音声を[ステレオ1](デジタルカメラで録画したときの音声)/[ミックス](ステレオ1とステレオ2の混合)/[ステレオ2](デジタルカメラでアフレコしたときの音声)で設定します。 ● すべて標準:すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻します。
画質設定	お好みの画質に調整します(38ページ)。
画質モード	お好みの画質モードに設定します(38ページ)。
気になる人名	視聴中の番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索します。
気になるワード	視聴中の番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索します。
降雨対応切換	降雨などで通常放送が正常に受信できないときに降雨対応放送に切り換えます。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
ダビング進行状況	タイトルダビング実行中にダビング進捗画面を表示します(52ページ)。
入力切換	外部入力の映像を切り換えます。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します。
番組表	デジタル放送の番組表を表示します。
番組録画	見ている番組を録画します。
予約へ変更	おまかせ・まる録で予約されている番組を、自動録画から、番組表からの予約と同じように、優先順位を上げて録画します。
録画延長	録画中の番組の録画時間を延長します。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
録画時間設定	視聴しながら録画中(クイックタイマー)に録画時間を変更します。

オプション機能	できること
録画停止	録画を停止します。
録画モード	録画先や録画する時間、画質に合わせて設定します。
BD情報	BDの情報を表示します(55ページ)。
BD録画	BDに録画します。
DVD情報	DVDの情報を表示します(55ページ)。
HDD情報	ハードディスクの情報を表示します(55ページ)。
HDD録画	ハードディスクに録画します。
My !番組表	My !番組表を表示します(19ページ)。

録画する

録画ガイド

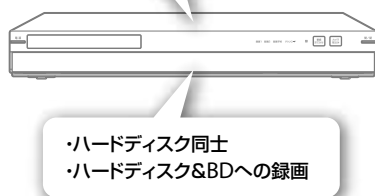
録画中に点灯するランプ

☞次のページも参考にしてください。
- ランプが点滅しているとき（117ページ）

録画1*
本機で録画しているときに点灯します。
録画2
本機で2番組同時録画（17ページ）しているときに点灯します。
録画予約
予約した番組が1件以上あるときに点灯します。
ダウンロード
インターネットサービスからの映像をダウンロードしているときに点灯します（28ページ）。
* BDZ-AT300Sの場合は「録画」。

2番組同時録画について

☞次のページも参考にしてください。
- 録画2ランプについて（17ページ）

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

本機には2つの録画機能が搭載されており、下記の組み合わせで2番組同時録画できます。

* スカパー！ HD録画はハードディスクへのみ録画されます。

同時録画中は、2番組どちらかのチャンネルのみ視聴できます。

以下のことはできません
- BDへの2番組同時録画をすること。

録画モードと記録できる内容について

ハードディスクやBDへの録画時に設定する画質を録画モードと呼びます。
録画モードは種類により記録できる内容や録画時間が異なります。DRモードで録画すると、デジタル放送をそのままの画質で録画できます。それ以外のモードで録画すると、画質は劣りますが、より長時間の録画ができます（144ページ）。

DRモードで録画するとき

項目	記録できる内容
デジタル放送の映像	映像1
画質	ハイビジョン（HD）／スタンダード（SD）画質／混在
画面サイズ	16:9/4:3 ／混在
外部入力からの録画	×
デジタル放送の音声（第1 ／第2）	すべての音声
字幕	字幕データ（再生時に入／切可）
二か国語放送	二重音声データ

DRモード以外で録画するとき

項目	記録できる内容
デジタル放送の映像	[詳細設定]（18ページ）で選んだ映像
画質	ハイビジョン（HD）／スタンダード（SD）画質
画面サイズ	16:9/4:3
外部入力からの録画	○
デジタル放送の音声（第1/第2）	[詳細設定]（18ページ）で選んだ音声
字幕	×
二か国語放送	[二重音声記録]（86ページ）で選んだ音声

以下のことはできません
- データ放送や、BS/110度CSデジタル放送のラジオ放送を録画すること。

前の録画予約の終了時刻と次の録画予約の開始時刻が同じ場合

複数番組の録画ができない状態のときは、前の録画予約の終わりが録画されません。

番組表から録画予約する

1 番組表(5ページ)を表示する。

《番組表》ボタンを押します。
《地デジ》ボタン/《BS》ボタン/《CS》ボタンのどれかを押します。

ご注意

- 初めてご使用になるときは地上デジタル放送の番組表の一部が表示されません。表示させたい放送局をしばらく視聴すると表示できるようになります。

2 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

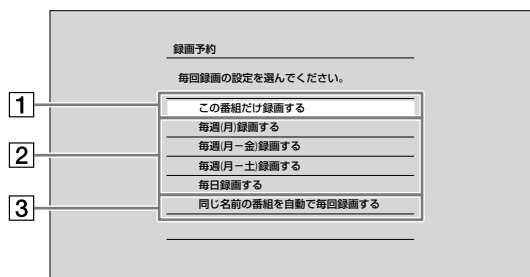
ちょっと一言

- 《決定》ボタンの代わりに●《録画》ボタンを押すと、選んだ番組を録画予約できます。

3 録画予約設定画面を表示する。

[予約する]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 毎回録画の条件を設定し、録画予約する。

条件を選び、《決定》ボタンを押します。
番組表上に ⏻ が点灯します。

1 **この番組だけ録画する**
この番組だけ録画する設定です。

2 **毎週(月ー金)録画する　などの毎回録画の条件**
毎日または毎週同じ曜日に録画する設定です。

3 **同じ名前の番組を自動で毎回録画する**
番組名を検索して自動で録画する設定です。

ちょっと一言

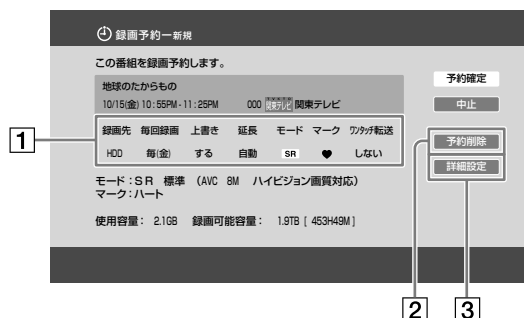
- 本機が電源「切」の状態でも、録画開始時刻になると録画を行います。

録画モードなどの条件を設定して録画予約する

1 「番組表から録画予約する」の手順1 〜 2を行う。

2 録画予約設定画面を表示する。

[予約設定へ]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画の条件を設定する。

1 **設定項目**

項目	できること
録画先	本機のハードディスク([HDD])またはブルーレイディスク([BD])を選べます。 [BD]を選ぶと[ワンタッチ転送]は[しない]になります(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)。
毎回録画	定期的に録画する条件を設定できます。
上書き([録画先]を[HDD]に設定した場合のみ)	[毎回録画]を設定したとき、前回録画した番組(タイトル)を削除した上で新しい回を録画できます。
延長	録画予約の終了時間を最長60分まで延長できます。 スポーツ延長対応(86ページ)の設定と組み合わせると最長180分まで延長できます。
モード	録画モードについては「録画モードと録画/ダビング可能時間について」をご覧ください(144ページ)。
マーク([録画先]を[HDD]に設定した場合のみ)	分類用のマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、録画した番組をマークごとに分類できて便利です(33ページ)。
ワンタッチ転送([録画先]を[HDD]に設定した場合のみ)	すばやくおでかけ転送できます(62ページ)。録画後に編集すると、ワンタッチ転送できなくなるのでご注意ください。

2 **予約削除**
予約を取り消します。

3 **詳細設定**
記録する信号を選びます([モード]を[DR]に設定した場合を除く)。

4 録画予約する。

[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
番組表上に ⏻ が点灯します。

放送時刻の変更に合わせて録画時刻を調整するには(番組追跡録画)

[番組追跡録画]が[入](お買い上げ時)になっている場合(86ページ)、連続ドラマの番組を毎回予約したときに最終回だけ放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃さず録画できます。追跡可能な範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。
録画予約で[延長]の設定を[自動]にした場合は、放送時間内に終わらなかったときや延長部分が他のチャンネルで放送を継続する番組(イベントリレー)でも、本機が自動的に対応して録画します。

ご注意

- 次の場合は、番組の追跡ができなく録画されないことがあります。
  - 放送される番組の番組名が変更された場合
  - 番組名が短い場合
  - 放送時間が大幅に短くなった場合

放送時間の延長に合わせて録画時間を変更するには(スポーツ延長対応)

スポーツ中継の放送延長により、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、番組表からの延長時間の情報に基づいて録画します。[スポーツ延長対応]の設定を行ってください(86ページ)。
自動録画された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合は、録画予約の優先順位に従います(30ページ)。

My !番組表から録画予約する

My !番組表を使えば、テレビ雑誌を見るように、さまざまな切り口から番組を探して録画予約できます。

1 My !番組表を表示する。

《My !番組表》ボタンを押します。

2 利用したい番組表を表示する。

1 **みどころ特集**
今"旬"と思われるテーマやキーワードを抽出し、日替わりでみどころ番組を表示します。

2 **おすすめ番組**
録画の履歴から本機が好みを学習し、おすすめ番組を表示します。

3 **ジャンル/キーワード**
4の[新規登録]で登録した条件にあった番組(お気に入り番組表)を最大200件まで表示します。

4 **新規登録**
ジャンルやキーワードを登録します。

3 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

4 録画予約設定画面を表示し、録画予約する。

そのまま/毎回録画予約する場合
[予約する]を選んでください(18ページ)。

録画モードなども設定する場合
[予約設定へ]を選んでください(18ページ)。

ご注意

- みどころ特集は、お買い上げ直後はすぐに表示されません。表示されるまで1日程度お待ちください。

番組を検索して録画予約する

日時から検索して録画予約する

放送日時やチャンネルなどからすばやく検索して録画予約できます（日時指定検索）。

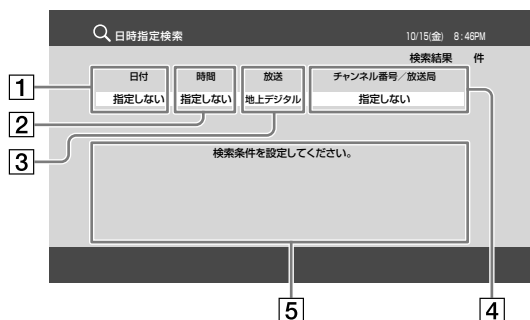
1 放送の種類を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
［地デジ］／［BS］／［CS］のどれかを選びます。

2 検索方法を選ぶ。

［番組検索］＞［日時指定検索］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

《決定》ボタンを押してから、条件を設定します。日付、時間、チャンネルのどれかを設定すると、検索が行われます。
条件を組み合わせることで、候補の番組が絞られます。

1 **日付**
8日分までの番組の日付を指定できます。

2 **時間**
1時間単位で時間を指定できます。

3 **放送**
［地上デジタル］などの放送を指定できます。

4 **チャンネル**
3で選んだ放送のチャンネルを指定できます。

5 **検索結果一覧表示**
候補の番組が200個まで表示されます。

4 録画したい番組を選ぶ。

《緑》ボタンを押します。
5で番組を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画予約設定画面を表示し、録画予約する。

そのまま／毎回録画予約する場合
［予約する］を選んでください（18ページ）。

録画モードなども設定する場合
［予約設定へ］を選んでください（18ページ）。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

見ている番組と関係のあるキーワードから録画予約する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **《番組表》ボタンを押して、番組表が正しく表示されるか確認する。**

番組を視聴中に、気になる出演者や話題を見つけたら、該当する人名やキーワードを選ぶだけで、関連する番組をすばやく検索して簡単に録画予約できます（気になる検索）。

1 検索する。

番組を視聴中に《オプション》ボタンを押します。
［気になる人名］または［気になるワード］＞キーワードを選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画したい番組を選ぶ。

最大200番組まで表示されます。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約設定画面を表示し、録画予約する。

そのまま／毎回録画予約する場合
［予約する］を選んでください（18ページ）。

録画モードなども設定する場合
［予約設定へ］を選んでください（18ページ）。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

ジャンル、キーワード、詳細条件で検索して録画予約する

1 放送の種類を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
［地デジ］／［BS］／［CS］のどれかを選びます。

2 検索方法を選ぶ。

［番組検索］を選び、《決定》ボタンを押します。
［ジャンル検索］／［キーワード検索］／［詳細条件検索］のどれかを選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

[ジャンル検索]の場合

1 ジャンル
2 放送
3 対象チャンネル
4 有料番組

[キーワード検索]の場合

1 キーワード
2 放送
3 有料番組

[詳細条件検索]の場合

1 放送
2 時間帯
3 ジャンル／キーワード／除外ワードなどの条件設定
条件名を変更できます。
4 検索内容
3で確定した条件の詳細を設定できます。
5 キーワード検索方法
6 対象チャンネル
7 有料番組

4 検索する。

[検索開始]を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画したい番組を選ぶ。

最大200番組まで表示されます。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。

6 録画予約設定画面を表示し、録画予約する。

そのまま／毎回録画予約する場合
[予約する]を選んでください(18ページ)。

録画モードなども設定する場合
[予約設定へ]を選んでください(18ページ)。

ちょっと一言

- 手順3で[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]を設定して検索する条件を変更することができます。

ご注意

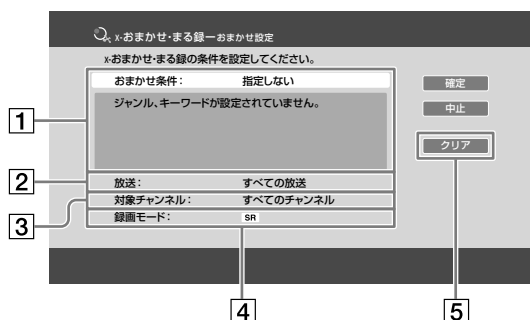
- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

x-おまかせ・まる録を使って自動で録画する

ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、本機が自動でその条件にあった番組を探し、録画します(x-おまかせ・まる録)。

1 おまかせ設定の新規登録をする。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[x-おまかせ・まる録]>[新規登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 自動録画のための条件を設定する。

1 **おまかせ条件**

2 **放送**
自動録画の対象とする放送の種類を選びます。

3 **対象チャンネル**
自動録画の対象とするチャンネルを選びます。[チャンネル選択]を選ぶと、お好みのチャンネルに限定できます。

4 **録画モード**
自動録画する場合の録画モードを選びます。
録画モードについては、144ページをご覧ください。

5 **クリア**

3 条件を確定する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
x-おまかせ・まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。

おまかせ条件を変更・取り消すには

1 おまかせ設定を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[x-おまかせ・まる録]>おまかせ設定を選び、《決定》ボタンを押します。

2 自動録画のための条件を修正する。

修正したい項目を選び再度設定します。
取り消したいときは[クリア]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 条件を確定する。

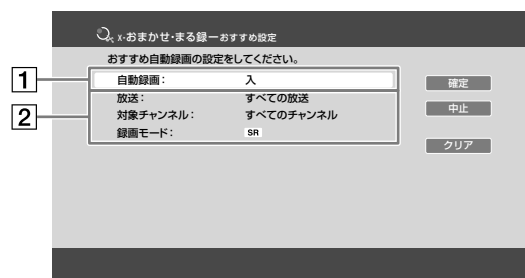
[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

おすすめ番組を自動録画する

キーワードなどの条件を設定しなくても、お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動で録画します。

1 おすすめ設定の登録をする。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[x-おまかせ・まる録]>[おすすめ]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 自動録画のための条件を設定する。

1 **自動録画**
自動録画の設定を有効にします。

2 **放送/対象チャンネル/録画モード**

3 条件を確定する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

おすすめ番組の自動録画をやめるには

1 おすすめ設定を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[x-おまかせ・まる録]>[おすすめ]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 おすすめの条件を無効にする。

[自動録画]を[切]に変更し、《決定》ボタンを押します。

3 条件を確定する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

自動で録画される番組を確認する

自動録画の録画条件で抽出された番組や、本機が探し出したおすすめ度の高い番組など、自動で録画される予定の番組を60件まで確認できます(おまかせ予約リスト)。

1 おまかせ予約リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[予約確認]>[おまかせ予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

x-おまかせ・まる録と他の録画予約が重なったら

x-おまかせ・まる録以外の録画予約(BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500では、x-おまかせ・まる録以外の2番組の録画予約)が優先されるため、x-おまかせ・まる録による録画予約は行われません。

x-おまかせ・まる録同士の録画予約が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のものが優先されます。
BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500では、x-おまかせ・まる録による2番組同時録画が可能です。

ちょっと一言

- ハードディスクの残量が少なくなった場合、x-おまかせ・まる録で録画したタイトルが自動で削除されることがあります。削除したくないときはタイトルをプロテクト(保護)してください(45ページ)。
- 本機が学習した情報は、[お買い上げ時の状態に設定]で初期化できます(93ページ)。

ご注意

- x-おまかせ・まる録は録画する番組を番組表データの中から探します。番組表データが受信できない場合、x-おまかせ・まる録は正しく動作しません。
- x-おまかせ・まる録では、契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。
- x-おまかせ・まる録設定の内容を変更/削除しても、変更直後は、変更前の設定で録画されることがあります。変更直後に確実に録画したい番組があるときは、番組表を使って録画予約してください。

「スカパー！ HD」の番組を録画予約する

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- [スタンバイモード]を[瞬間起動]か[標準]に設定する(89ページ)。

☞次のページも参考にしてください。
- 本機への録画可能時間について(145ページ)

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

「スカパー！ HD」対応チューナーの番組表から、本機にネットワーク経由で録画予約できます(スカパー！ HD録画)。

1 本機の準備をする。

本機と「スカパー！ HD」対応チューナーをネットワークにつなぎ、「スカパー！ HD」録画のための設定をします(110、111ページ)。

2 「スカパー！ HD」対応チューナーのネットワーク設定をする。

本機が録画先になるように、設定します。
詳しくは「スカパー！ HD」対応チューナーの取扱説明書または下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/cs-tuner

3 「スカパー！ HD」対応チューナーで録画予約する。

チューナーおよび本機の電源を入れ、テレビの画面をチューナーをつないだ入力に切り換えて、チューナー側で録画予約します。
チューナー側で録画予約すると、本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。
録画が開始されると本機のタイトルリストに録画中の番組が表示されます。
「スカパー！ HD録画」に対応する「スカパー！ HD」対応チューナーについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ご注意

- 設定した予約を修正する場合は、チューナー側で予約修正してください。
- ネットワーク経由で「スカパー！ HD」の番組を録画しているときは、「スカパー！ HD」対応チューナーの電源を切らないでください。録画が中断されます（本機のみ電源を切っていても、録画は行います）。
- 「スカパー！ HD」の番組を必ず録画するには、録画の開始前に録画優先順位を最優先に設定してください（30ページ）。優先順が低いと、本機側の録画状態により録画されないことがあります。
- 視聴年齢制限のある番組は、必ず「スカパー！ HD」対応チューナーの番組表から録画予約してください。日時指定で録画予約した場合、録画中に視聴年齢制限の設定が異なる番組に切り換わると、録画が中断される場合があります。

以下のことはできません

- 「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワークを利用した録画中に、BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクなどを再生すること。
- BDに直接録画すること。
- ラジオ番組を録画すること。

本機以外の機器を使って録画予約する

リモート録画予約を利用するための準備

外出先などからインターネットや携帯電話などを使って録画予約できます（リモート録画予約）。

1 ネットワークの接続と設定をする。

本機をネットワークにつなぎ、リモート録画予約のための設定をします（110、111ページ）。
[スタンバイモード]が[標準]または[瞬間起動]に設定されていることを確認してください（89ページ）。

リモート録画予約については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

リモート録画予約に関する免責事項

- ソニーは、理由の如何を問わず、以下について、一切の責任を負わないものとします。
  - リモート録画予約サービス事業者によるサービス内容が予告なく変更・中止されること
  - 発生したリモート録画予約サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害
  - リモート録画予約サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能
  - ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能
- 本機の修理・交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- リモート録画予約を行っても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかる場合があります。
- 携帯電話やパソコンから録画予約を行う場合、次の費用が発生します。
  - インターネット接続プロバイダーへの、接続料金など
  - 携帯電話からリモート予約サービス側へのサーバーにアクセスするときの通信料

以下のことはできません

- リモート機器を6台以上本機に登録すること。
- 次の場合にリモート録画予約すること。
  - ディスクの容量が不足している場合
  - 重複する予約を後から、本機や他の機器から行った場合
  - 録画予約に影響する操作を本機で行った場合
  - B-CASカードが挿入されてない場合（BS/110度CSデジタル放送、地上デジタル放送の場合）

携帯電話を使って録画予約する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **リモート録画予約サービス事業者と契約する。**
- **対応機種を確認し、リモート録画予約するための初期登録をする。**

1 携帯電話で録画予約する。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。
登録方法、携帯電話機種および機能に関して、下記より確認できます。

ホームページ

パソコン：http://ipg.jp/ra/
携帯電話：http://ipg.jp/k/

メール

◆NTTドコモの携帯電話をお使いのかた
Gガイド番組表リモコン事務局
E-mail：help@ggmobile.jp

◆auの携帯電話をお使いのかた
Gガイド番組表事務局
E-mail：help-au@ggmobile.jp

◆ソフトバンクの携帯電話をお使いのかた
Gガイドモバイル事務局
E-mail：help_ggm_sbm@ggmobile.jp

ちょっと一言
- 一部の携帯電話からは、本機の予約リストの取得や録画モードの変更、録画した番組の削除やプロテクト操作も可能です。

パソコンを使って録画予約する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **「Gガイド.テレビ王国」のメンバーサービスに登録する。**

So-netが提供するインターネットサービス「Gガイド.テレビ王国」を使って、お使いのパソコンから録画予約できます。

1 パソコンで録画予約する。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。
登録方法および機能に関して、下記より確認できます。

ホームページ

パソコン：http://www.so-net.ne.jp/tv/dvr/

Gガイド.テレビ王国サポートのホームページ

パソコン：http://www.so-net.ne.jp/tv/support/
Gガイド.テレビ王国は商標です。

ブラビアの番組表を使って録画予約する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **ネットワークにつなぎ、＜ブラビア＞ネットワーク録画のための設定をする（110、111ページ）。**
- **＜ブラビア＞のネットワーク設定をする（＜ブラビア＞の取扱説明書をご覧ください）。**

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

ネットワーク録画予約対応の＜ブラビア＞をお使いの場合、ホームサーバー機能を利用して＜ブラビア＞の番組表から本機に録画予約できます（ネットワーク録画予約）。

1 ＜ブラビア＞の番組表で録画予約する。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。
ネットワーク録画予約に対応する＜ブラビア＞について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ちょっと一言
- 「ブラビアリンク」に対応した一部の＜ブラビア＞では、「ネットワーク録画予約」に対応していなくても、＜ブラビア＞の番組表から録画予約できます。
  詳しくは、「ブラビアリンクを設定する」（93ページ）をご覧ください。
  ＜ブラビア＞の設定については＜ブラビア＞の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- ＜ブラビア＞からの録画予約は、本機では日時指定予約となります。

その他の方法で録画する

日時を指定して録画予約する

日時やチャンネルを指定して1か月先までの番組を録画予約できます。

1 録画予約設定画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞[録画予約]＞[日時指定予約]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画の条件を設定する。

1 設定項目

項目	できること
録画先	本機のハードディスク([HDD])またはブルーレイディスク([BD])を選べます。
上書き ([録画先]を[HDD]に設定した場合のみ)	[日付]で定期的に録画する設定にした場合に、前回録画した番組(タイトル)を削除した上で新しい回を録画します。
日付	録画の日付を選びます。
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。
モード	録画モードについては「録画モードと録画／ダビング可能時間について」をご覧ください(144ページ)。
マーク ([録画先]を[HDD]に設定した場合のみ)	分類用のマークを設定します。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、録画した番組をマークごとに分類できて便利です。

2 **詳細設定**
視聴年齢制限付き番組を録画できるようにします(BS/110度CSデジタル放送の番組を録画予約した場合のみ)。

3 **予約名変更**
予約名を変更します。

3 録画予約する。

[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

外部入力からの番組を録画予約する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **本機と外部チューナーをつなぐ(109ページ)。**
- **[外部入力録画横縦比]で画面サイズを設定する(86ページ)。**

☞**次のページも参考にしてください。**
- **「スカパー！ HD」録画をするには(23ページ)**
- **S映像ケーブルを使う場合に[S映像]に設定するには(82ページ)**

デジタルCS放送や、CATV局のBS/110度CSデジタル放送、有料チャンネルなどの番組を録画する場合、本機と外部チューナーを接続し、日時指定予約を使って録画予約します。

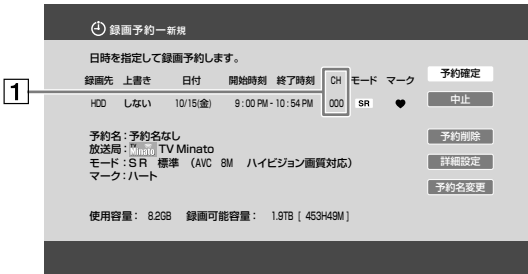
1 外部チューナーの映像を表示する。

《入力切換》ボタンをくり返し押して外部機器の映像を表示します。

2 外部チューナーの録画予約を設定する。

外部チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画したい日時、チャンネルで録画予約の設定を行ってください。

3 本機で日時指定予約の条件を設定する。

「日時を指定して録画予約する」の手順2で、[CH]を[入力]にしてください(26ページ)。

1 CH

4 録画予約する。

[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
- AVマウスでの録画には対応していません。

放送中の番組を見ながら録画する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **放送中の番組を視聴中に、[録画モード]を設定する(15、17ページ)。**

1 録画する。

番組視聴中に●《録画》ボタンを1回押します。
番組の終了まで録画します。
録画が開始すると、本機前面の録画ランプが点灯します。
録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

録画時間を設定するには(クイックタイマー)

録画中に●《録画》ボタンをくり返し押して設定します。
録画を終了させたい時刻を30分単位で最長6時間まで設定できます。

ちょっと一言
- クイックタイマーで録画中は、電源を切っても、終了時間まで録画できます。

外部入力映像を録画するには

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **本機と外部機器をつなぐ(112ページ)。**
- **[外部入力録画横縦比]で画面サイズを設定する(86ページ)。**
- **外部機器の映像を表示しながら、[録画モード]を設定する(15、17ページ)。**

☞**次のページも参考にしてください。**
- **二重音声を記録するには(86ページ)**

《入力切換》ボタンをくり返し押して外部機器の映像を表示し、●《録画》ボタンを押します。
録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

録画予約を確認する・取り消す

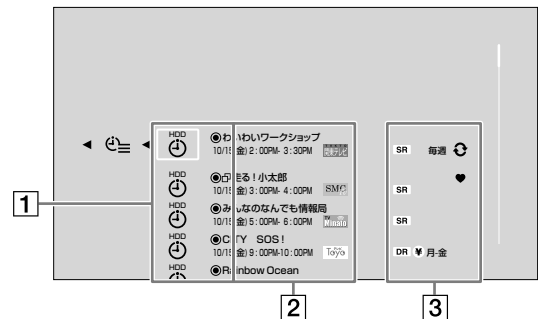
予約リストを使って予約の確認や取り消し、重複の確認、優先順の変更などができます。

ちょっと一言
- 「スカパー！ HD」の録画予約の修正はチューナー側で行ってください。

1 予約リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[予約確認]>[予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 予約内容の確認・取り消しを行う。

予約リストから番組を選んで《決定》ボタンを押し、予約内容の確認・取り消しを行ってください。

1 **録画先、予約状態**
アイコンで表示されます(161ページ)。
がある場合は、オプションメニュー から[重複確認]を選んで確認してください(29ページ)。

2 **番組一覧**
《緑》ボタンで並び換えができます。
ソニー製「スカパー！ HD」対応チューナーから録画予約した、視聴年齢制限のある番組は「＊＊＊＊」で表示されます。

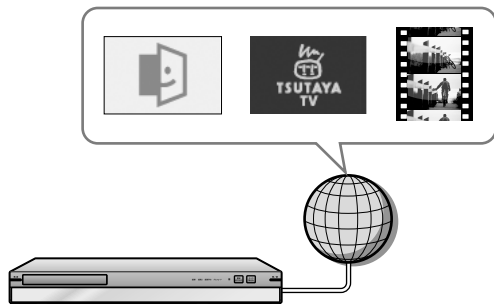
3 **録画モード、番組情報、毎回録画の状態、タイトルの分類、更新の状態**
アイコンで表示されます(161ページ)。

ご注意
- 先の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります(番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合)。
- 他の予約と重なる場合、「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワークを利用した録画予約は、優先順位を最優先にしないとまったく録画されない場合があります。

録画する

インターネットサービスの映像をダウンロードする

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- **ネットワークにつなぎ、インターネットサービスのための設定をする(110、111ページ)。**

本機をインターネットのブロードバンド回線につなげば、アクトビラやTSUTAYA TVによるインターネットサービスを楽しめます。ビデオをストリーミングやダウンロードして視聴したり、生活に役立つさまざまな情報を好きなときに楽しめます。
レンタル(ダウンロード)した映像(タイトル)は、一定期間視聴することができます。また、セル(動画販売)で購入したタイトルは、視聴に加え、タイトルによってはBDにダビングしたり、おでかけ転送(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)したりして楽しむことができます。

ちょっと一言
- [インターネットサービス利用制限]で暗証番号による制限を設定できます(91ページ)。
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款により、ご利用いただけない場合があります。
- サービスの内容や画面は、予告なく変更することがあります。

映像をダウンロードする

1 インターネットサービスを起動する。
《ホーム》ボタンを押します。
[ネットワーク]>インターネットサービスを選び、《決定》ボタンを押します。

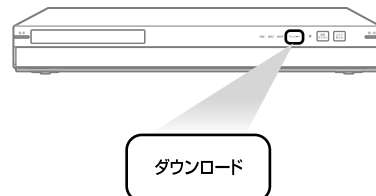
2 映像を選ぶ。
ダウンロードできる映像については、各インターネットサービスのヘルプページをご覧ください。

3 購入手続きをする。
購入手続きが完了すると、ダウンロードが開始されます。

ちょっと一言
- ダウンロード中に、本機の電源を切ってもダウンロードは継続されます。
- ホームサーバー機能(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)の利用中やBD-LIVEの再生中などは、ダウンロードを一時停止することがあります。

ご注意
- ダウンロード登録数が50件を超えている場合、新規の登録(購入)ができなくなります。

以下のことはできません
- ハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合にダウンロードすること。

ダウンロード中の本体表示について
ダウンロードの状況により、ダウンロードランプの状態が変わります。
点灯:ダウンロード実行中。
点滅:ダウンロードエラー。
消灯:ダウンロード一時停止中、待機中またはすべてのダウンロードが終了。

ダウンロードした映像(タイトル)について
録画したタイトルと同様に再生できます(32ページ)。

ダウンロード情報を確認する

インターネットサービスのダウンロード進捗などを確認できます。

1 ダウンロード管理画面を表示する。
《ホーム》ボタンを押します。
[ネットワーク]>[ダウンロード管理]を選び、《決定》ボタンを押します。
ダウンロード予定の映像を一覧で確認できます。

2 映像を選ぶ。
確認したい映像を選び、《決定》ボタンを押します。

オプションボタンでできること

《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

オプション機能	できること
おまかせへ登録	お気に入り設定を、x-おまかせ･まる録に登録すると、自動で録画します(22ページ)。
改行	改行します。
画質設定	お好みの画質に調整します(38ページ)。
画質モード	お好みの画質モードに設定します(38ページ)。
気になる人名	視聴中の番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索します。
気になるワード	視聴中の番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索します。
語句登録	表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録します。
サービス切換	
テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
データ	データ放送のチャンネルを表示します。
再検索	番組を再検索します。
再生	タイトルを再生します。
再生停止	• インターネットサービスのページから再生している場合は、停止してインターネットサービスのページを表示します。 • ダウンロードしたタイトルを再生している場合は、停止してタイトルの一覧(タイトルリスト)を表示します。
再読込み	表示中のページを更新します。
削除	タイトルや、選んだブックマークを削除します。
視聴制限一時解除／視聴制限再設定	視聴年齢制限を一時的に解除したり、再び設定したりします。
ジャンル色設定	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てます。
終了	インターネットサービスを終了します。
条件設定へ	日時指定検索の条件を変更します。
情報表示	タイトル、予約、インターネットサービスのページまたは映像に関する情報を表示します。
新規登録	お気に入り番組表やおまかせ設定を新規登録します。

オプション機能	できること
進行状況	インターネットサービスからダウンロード中に、ダウンロード進行状況画面を表示します(28ページ)。
進む	次のページを表示します。
すべて一時停止／すべて再開	ダウンロードを一時的に停止したり、再開したりします。
設定削除	登録しているお気に入り番組表やおまかせ設定を削除します。
設定取消	設定した条件を取り消します。
設定変更	お気に入り番組表やx-おまかせ･まる録の設定を変更します。
前回終了のページ	前回インターネットサービスを終了するときに表示していたページを表示します。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
全チャンネル表示／設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。
ダウンロード管理	インターネットサービスを終了して、ダウンロード管理画面を表示します。
ダウンロード実行	選んだ映像のダウンロードを最優先にします。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(34ページ)。
チャンネル指定	週間番組表の表示チャンネルを切り換えます。
チャンネル別表示	番組表をチャンネル別に週間表示します。
中止	選んだ映像のダウンロードを中止します。ダウンロード管理画面やタイトルの一覧(タイトルリスト)からは削除されます。
重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します(27ページ)。
トップページ	インターネットサービスのトップページを表示します。
名前変更	選んだブックマークの名前を変更します。
入力	文字入力画面を表示します。
はじめから再生	タイトルを始めから再生します。
番組検索	
日時指定検索	日付、時間、放送、チャンネルを指定して番組を検索します。
ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します。

オプション機能	できること
番組追跡情報	次の場合に、番組追跡情報を表示します。 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組
番組表を表示	選んだお気に入り番組表を表示します。
番組名検索情報	番組名で毎回録画するときに、番組名の確認や変更ができます。
左削除	カーソルの左1文字を削除します。
日付指定	日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
今日	今日の番組表を表示します。
明日	明日の番組表を表示します。
日付順表示	予約を日付順に表示します。
標準表示に戻す	番組表を標準表示に戻します。
開く	選んだブックマークのページを表示します。
ブックマーク	
ブックマーク一覧	ブックマーク一覧画面を表示します。
ブックマーク追加	表示中のページをブックマークに登録します。ブックマークは10個まで登録できます。
放送切換	
地上デジタル	地上デジタル番組表を表示します。
BSデジタル	BSデジタル番組表を表示します。
CSデジタル	CSデジタル番組表を表示します。
みどころ特集設定	みどころ特集で対象とする特集テーマを設定します（19ページ）。
戻る	前のページを表示します。
優先順表示	予約を優先順に表示します。
優先変更	予約の優先順を変更します。
読込み中止	ページの読み込みを中止します。
予約削除	録画予約を取り消します（27ページ）。
1件削除	1件の予約を取り消します。
選択削除	複数の予約をまとめて取り消します。
予約修正	録画予約情報を修正します（27ページ）。
予約へ変更	おまかせ･まる録で予約されている番組を、自動録画から、番組表からの予約と同じように、優先順位を上げて録画します。
予約名変更	予約名を変更します。
録画延長	録画中の番組の録画時間を延長します。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。

オプション機能	できること
録画停止	録画を停止します。
録画モード	録画先や録画する時間、画質に合わせて設定します。
録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします（18ページ）。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
Cookie削除	Cookieを削除します。
My ！番組表へ登録	My ！番組表に検索の条件を登録します（19ページ）。

再生する

録画した番組や映像、ディスクを再生する

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- ディスクを再生するときは、ディスクを挿入する。
- インターネットサービスからダウンロードした映像(タイトル)を再生するときは、ネットワークにつなぐ(110ページ)。

☞次のページも参考にしてください。
- デジタルカメラなどの映像を取り込むには(64ページ)

1 タイトルを表示する。

《ホーム》ボタンを押し、[ビデオ]を選びます。

2 タイトルを再生する。

ディスクアイコンまたはサムネイルを選び、《決定》ボタンを押します。

1 **ディスクアイコン**
ディスクを入れると表示されます。
ディスクによっては、ディスクアイコンを選んだあとサムネイルが表示されます。

2 **サムネイル**
●(録画中)のアイコンが付いていても再生できます(追いかけ再生)。
再生したことがあるタイトルは、前回再生を止めた位置から再生が始まります(つづき再生)。オプションメニューから[はじめから再生]も選べます(39ページ)。

ご注意
- インターネットサービスからダウンロードしたり、「スカパー!HD」対応チューナーから録画した視聴年齢制限のあるタイトルをつづき再生するときは、タイトルリストからタイトルを選び直したり、暗証番号の入力が必要な場合があります。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、視聴期限や有効期限が指定されている場合があります。有効期限を確認するには、オプションメニューから[情報表示]を選び、タイトル情報画面を表示してください。また、再生中に有効期限が切れた場合は、再生を停止します。

再生を止めるには

■《停止》ボタンを押します。

視聴年齢制限で表示されない番組や映像を再生するには

18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のある映像(タイトル)は、視聴年齢制限されていると表示されません。オプションメニューから[視聴制限一時解除]を選び(39ページ)、制限を解除してください。

ちょっと一言
- 本機の電源を切ると、自動的に制限が再設定されます。設定の変更については、[HDDタイトル視聴年齢制限](91ページ)をご覧ください。

BDの特典映像を楽しむ

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- ネットワークにつなぎ、BD-LIVE(BDライブ)視聴のための設定をする(110、111ページ)。

BD-LIVEロゴ*が記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ(BONUSVIEW)や、ネットワークから外部メモリー(ローカルストレージ"local storage")にダウンロードして楽しむコンテンツ(BD-LIVE)などが用意されているものがあります。

* BD LIVE

1 BONUSVIEW(ボーナスビュー)やBD-LIVE(BDライブ)対応のBD-ROMを挿入する。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言
- BD-ROM再生時に本機のローカルストレージが不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、ホームメニュー>[ビデオ]>[BDデータ]からデータを削除してください。

Blu-ray 3Dを楽しむ

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 3D対応のテレビとハイスピードHDMIケーブルでつなぐ(104ページ)。
- [BD-ROM 3D出力]と[BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ]を設定する(82ページ)。

Blu-ray 3Dロゴ*が記載されたBlu-ray 3Dディスクを再生できます。

* Blu-ray 3D™

1 Blu-ray 3Dディスクを本機に挿入する。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言
- お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- AVアンプを通して3D対応テレビとつなぐ場合は、AVアンプが3Dに対応している必要があります(106ページ)。

再生する

映像再生の便利な機能を使う

映像を分類／並び換える

ハードディスクの映像（タイトル）を分類／並び換えて、探し出しやすくします。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押し、［ビデオ］を選びます。

2 グループごとに分類する。

《黄／フォルダ整理》ボタンを押します。
タイトル一覧に戻すには、もう一度《黄／フォルダ整理》ボタンを押します。
グループの種類については163ページをご覧ください。

3 タイトルを並び換える。

《緑》ボタンを押します。
並び換える方法を変更するには、くり返し《緑》ボタンを押します。
［設定］＞［ビデオ設定］で［マーク名設定］を選び、マークの名前を設定すると、家族でフォルダ分けするなど便利に使えます（86ページ）。

早見再生する

ハードディスクの映像（タイトル）を早見再生します。

1 タイトルを再生する（32ページ）。

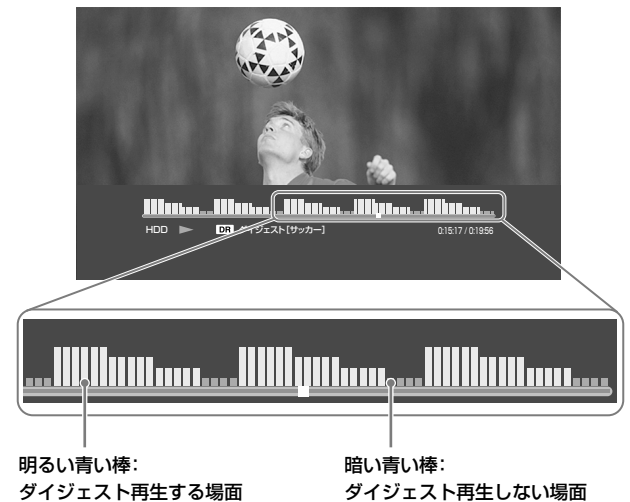
2 音声付きで早見再生する。

《黄》ボタンを押します。
通常再生にするには、►《再生》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 早見再生中に《青》ボタンを押すと、ダイジェスト早見再生します。

ダイジェストで見どころ場面を再生する

ハードディスクに10分以上録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、タイトルの中で見どころと思われる場面を中心に自動再生します（ダイジェスト再生）。

1 タイトルを再生する（32ページ）。

2 ダイジェスト再生する。

《青》ボタンを押します。
ダイジェスト再生画面を表示するには、《画面表示》ボタンを押します。
通常再生にするには、《青》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ダイジェスト再生中に《黄》ボタンを押すと、ダイジェスト早見再生します。

見たい場面を再生するには

ダイジェスト再生中に⏮／⏭《前／次》ボタンを押すと、再生中の見どころ場面の先頭、または次の見どころ場面の先頭に移動します。1つ前の見どころ場面に移動するには、⏮《前》ボタンを続けて2回押してください。←●／●→《10秒戻し／ 15秒送り》ボタンを押すと、少し前または先に移動します。

以下のことはできません

- 次のタイトルをダイジェスト再生すること。
  - プレイリスト
  - 追いかけ再生中のタイトル
  - 再生時間が約10分未満のタイトル
  - HDVダビングしたタイトル（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）
  - AVCHDダビングしたタイトル
  - x-Pict Story HDで作成したタイトル
  - BDからハードディスクにダビングしたタイトル
  - インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
  - 「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトル

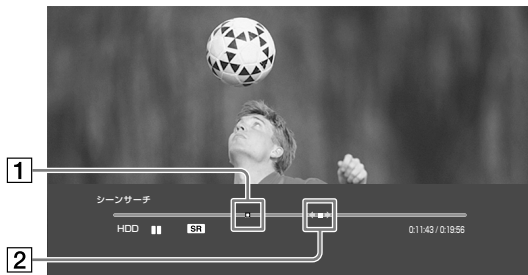
  受信状態が悪いときに記録されたタイトルや番組内容によってはダイジェスト再生できない場合があります。

すばやく見たい場面を探す

ハードディスク／ BD/DVDの映像（タイトル）の見たい場面にすばやく移動できます（シーンサーチ）。

1 タイトルを再生する（32ページ）。

2 見たい場面を探す。

《緑》ボタンを押します。

1 **現在位置**

2 **シーンインジケーター**

⇔で見たい場面の位置まで移動します。
見たい場面の位置まで移動したら、ボタン操作を停止します。

3 再生する。

《決定》ボタンを押します。

シーンサーチを途中でやめるには

►《再生》ボタンを押します。押した場面から再生が始まります。

以下のことはできません

- 短いタイトル、長すぎるタイトルで、シーンサーチすること。
- 市販のBD-ROMやBDMVと表示されるディスクをシーンサーチすること。

チャプター番号やタイトル番号で頭出しする

ハードディスク／ BD/DVDの映像（タイトル）内にチャプターマークがある場合に頭出しできます。市販のBD-ROMやDVDビデオによっては、タイトル番号を選んで頭出しできます。

1 タイトルを再生する（32ページ）。

2 再生したい場面を探す。

《オプション》ボタンを押します。
[チャプターサーチ]または[タイトルサーチ]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 再生する。

数字ボタンでチャプター番号またはタイトル番号を入力して《決定》ボタンを押します。

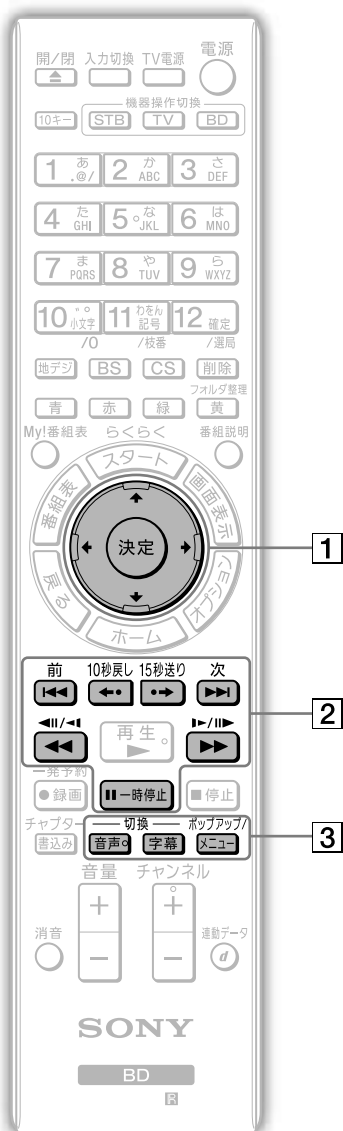
1 **チャプター番号**

番号の入力を間違えた場合は、《削除》ボタンを押してから、もう一度入力してください。

2 **総チャプター数**

再生中にチャプターマークを付けるには

ハードディスクやBD-R/BD-REに録画した映像（タイトル）は、再生中や録画中にチャプターマークを付けることができます。
再生／再生一時停止中や録画中に、タイトルをチャプターとして分けたい場面で、《チャプター書込み》ボタンを押します。

その他の方法で再生する

1 ◆◆

◀◀ ／ ▶▶ボタンと同じ操作ができます（35ページ）。

決定

- 再生中に押すと一時停止します。
- 早戻し／早送り、スロー、コマ戻し／コマ送り再生中に押すと通常の再生に戻ります。

2 **|◀◀ ／ ▶▶|《前／次》**

前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。

◆● ／ ●◆《10秒戻し／ 15秒送り》

少し前に戻る、または先に進みます。

◀◀ ／ ▶▶《早戻し／早送り、スロー、コマ戻し／コマ送り》

- 再生中に押すと、早送り再生または早戻し再生します。ビデオ再生中は押すたびに速さが切り換わります。
- 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。
- 一時停止中に押すと、コマ送り再生します。

II《一時停止》

一時停止または再生を再開します。

3 **ポップアップ／メニュー**

BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示または閉じます。

字幕切換

視聴している映像（タイトル）に字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

音声切換

視聴している映像（タイトル）にセリフが複数の言語で記録されているときや、音声トラックに主音声／副音声が記録されているときに選べます。

ちょっと一言

- BD-ROM再生時にカラーボタン（《青》ボタン、《赤》ボタン、《緑》ボタン、《黄》ボタン）や数字ボタン、◆◆◆◆を使用する場合があります。

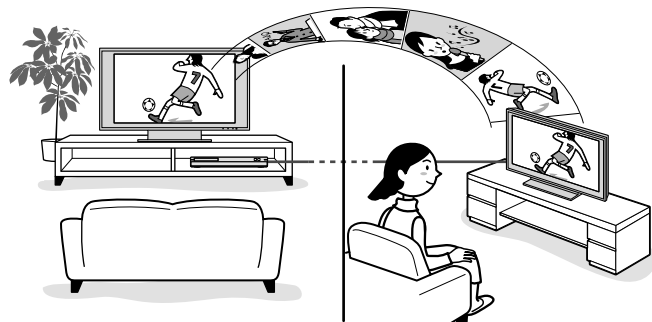
ご注意

- 再生するディスクやタイトルによって、利用できる機能が異なります。

別の部屋のテレビなどで再生する

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- **本機、ホームサーバー対応のテレビ、パソコンをネットワークにつなぎ、ソニールームリンクのための設定をする(110、111ページ)。**
- **テレビやパソコンなどのホームサーバーの設定をする(ファイアーウォールの設定は解除してください)。**

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

本機とDLNAまたはソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどをネットワークにつなぐと、本機のハードディスクに保存した映像(タイトル)や写真を、テレビやパソコンで再生できます(ホームサーバー機能)。
ホームサーバー機能を使えば、ホームネットワーク上でデジタルAV機器やパソコンなどをつないで、動画などを相互にやりとりできます。本機の映像や写真を別の部屋に設置されているテレビで再生できるようになるなど、大変便利な機能です。

動作推奨機器や再生対応コンテンツについて詳しくは、ソニー製品情報のホームページ(http://www.sony.jp/event/DLNA/)をご覧ください。

1 本機のタイトルや写真を他機器で再生する。

他機器を操作して本機のタイトルや写真を再生/停止します。本機や本機のリモコンで操作できません。操作方法については他機器の取扱説明書をご覧ください。

他機器で再生できるか確認するには

オプションメニューの[情報表示]で [アイコン] が表示されていれば他機器で表示できます。

ご注意

- 編集したタイトルを他機器で再生すると、映像が乱れたり再生できないことがあります。
- 他機器によっては、タイトルの名前が正しく表示されない場合があります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声が途切れる場合があります。
- 本機から出力される映像/写真を他機器で再生するときと、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 録画回数制限のあるデジタル放送の番組をホームサーバー機能に対応した他の機器で視聴するには、他の機器側がDTCP-IP*[1]規格に対応している必要があります。

以下のことはできません

- 次の映像や写真を他機器で再生すること。
  - プレイリスト
  - 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル
  - 録画中のタイトル
  - インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
- 次のような場合に、本機の映像や写真を他機器で再生すること。
  - 本機の設定を変更しているとき
  - BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生しているとき
  - 再生を伴うタイトル編集をしているとき*[2]
  - タイトルダビングをしているとき*[3]
  - まるごとDVDコピーをしているとき
  - x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中
  - x-Pict Story HDを作成しているとき
  - おでかけ/おかえり転送をしているとき(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)
  - 写真の取り込み中
  - インターネットサービスのビデオ映像を視聴しているとき
  - 「スカパー! HD」対応チューナーで録画しているとき

*[1] DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol)とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。
*[2] 再生を伴うタイトル編集とは、次の編集内容のことです。
サムネイル設定、チャプター編集、部分削除、タイトル分割、プレイリスト作成
*[3] HDV/DVダビングを利用しているときは、他機器で再生できます(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。

CDを再生する

1 CD(CD-R/CD-RWを含む)を挿入する。

自動的にMusic Player画面が表示されます。

1 再生状態、トラック番号、経過時間など
2 音声(ステレオ／モノラル)

2 再生する。

►《再生》ボタンを押します。

オプションボタンでできること

《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

オプション機能		できること
映像切換		アングルなど、切り換えが可能な映像がある場合に切り換えます。
おでかけ進行状況		おでかけ転送実行中に、おでかけ進捗画面を表示します(60ページ)。
おでかけ転送		
	選択転送	選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します(59ページ)。
	すべて転送	表示中のリストのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します(59ページ)。
	グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します(60ページ)。
	グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します(60ページ)。
思い出ディスクダビング		本機に取り込んだ映像や写真、スクラップブックなどをディスクに書き出します(74ページ)。
音声設定		音声を調整します(15ページ)。

オプション機能		できること
画質設定		
	モニター種類	● 液晶テレビ：液晶テレビに適した画質に設定します。 ● プロジェクター：プロジェクターに適した画質に設定します。 ● 有機ELテレビ：有機ELテレビに適した画質に設定します。 ● プラズマテレビ：プラズマテレビに適した画質に設定します。 ● 該当なし
	画質モード	● リビングおまかせ：リビングルームを想定し、モニター種類と映像素材に応じて自動で最適な画質に調整します。 ● シアターおまかせ：シアタールームを想定し、モニター種類と映像素材に応じて自動で最適な画質に調整します。 ● パワフルおまかせ：[リビングおまかせ]に比べてめりはりを効かせた設定です。モニター種類と映像素材に応じて自動で最適な画質に調整します。 ● カスタム：フラットな状態から画質をお好みで調整して登録します（対象機種：BDZ-AT900 / AT700 / AT500 / AT300S ）。 ● カスタム1 ／カスタム2：フラットな状態から画質をお好みで調整して登録します（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。カスタム1/2でそれぞれのHDMI端子に設定ができます。 ● ダイレクト：すべての画質処理を無効とし、映像をありのまま忠実に再現します。[画質設定]は無効になります。
	標準に戻す	[カスタム]（または、[カスタム1 ／カスタム2]）選択時のみ設定可能で、カスタムの画質設定値を初期値に戻します。
	おすすめカスタム値	[カスタム]（または、[カスタム1 ／カスタム2]）を選択すると選べます。お好みに合わせて調整してください。 ● BDシネマPJ：プロジェクターでBDの映画を見る画質設定 ● BDシネマPJn：BDシネマPJにエッジを自然にした画質設定 ● BDシネマFL：液晶テレビでBDの映画を適正距離で見る画質設定 ● BDシネマFLn：BDシネマFLにエッジを自然にした画質設定 ● BDシネマFPn：プラズマテレビでBDの映画を見る画質設定 ● BDアニメ：BDのアニメを見る画質設定 ● 放送シネマ：録画した映画を見る画質設定 ● 放送アニメ：録画したアニメを見る画質設定
	輪郭調整	輪郭の先鋭度を調整します（−6：ソフト、6：くっきり）。
	精細感調整	精細感を調整します（−6：ソフト、6：くっきり）。
	超解像	解像感を向上させます（0：切、3：強）（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。
	スムージング	平坦部の階調（表現）をなめらかにすることによって、画面上の擬似輪郭を低減します（0：切、3：強）。
	フィルムグレイン調整	● 画面上に現れる細かい粒子状のノイズを軽減または、付加して質感を向上させます（−6：低減、6：細粒感増）（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。 ● 画面上に現れる細かい粒子状のノイズを軽減します（−3：低減、0：切）（対象機種：BDZ-AT900 / AT700 / AT500 / AT300S）。
	アニメ・CGリマスター	放送波に含まれるノイズを取り除き、市販の映像ソフトの品質に近づけます（0：切、4：強）（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。
	コントラストリマスター	黒レベル、白レベルを自動的に整え、黒浮きしない、メリハリのある画像にします（0：切、3：強）（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。
	フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。
	ブロックノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。
	モスキートノイズ除去	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ（モスキートノイズ）を低減します。
	クリアブラック	映像の黒い部分の表現をお好みの状態に調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます（−6：明るい黒、6：沈んだ黒）。
	コントラスト	コントラストを調整します（−3：弱、3：強）。
	ブライトネス	全体の明るさを調整します（−3：暗、3：明）。
	色の濃さ	色の濃さを調整します（−3：薄、3：濃）。
	色あい	全体の色のバランスを調整します（−3：赤、3：緑）。
	すべて標準	画質設定を、お買い上げ時の設定に戻します。
画質モード		お好みの画質モードに切り換えます。[画質設定]の[画質モード]で設定します。
気になる人名		タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索します（20ページ）。
気になるワード		タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索します（20ページ）。
グループ表示		グループごとに分類されます（33ページ）。

オプション機能	できること
再生	前回停止したところから再生します（32ページ）。
再生停止	再生を停止します。
削除	タイトルなどを削除します（40ページ）。
1タイトル削除	1つのタイトルを削除します（41ページ）。
選択削除	複数のタイトルを選んで削除します（41ページ）。
すべて削除	表示中のリストのすべてのタイトルを削除します（41ページ）。
グループ削除	グループのタイトルを一括して削除します（41ページ）。
グループ内選択	グループ内の複数のタイトルを選んで削除します。
シーンサーチ	見たい場面をすばやく探します（34ページ）。
次回予約	録画したタイトルの次回の予約をします。
視聴制限一時解除／視聴制限再設定	視聴年齢制限を一時的に解除したり、再び設定したりします。
情報表示	詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、↑↓で画面をスクロールしてください。
初期化	BD-REを初期化します（55ページ）。
進行状況	インターネットサービスからダウンロード中に、ダウンロード進行状況画面を表示します（28ページ）。
設定／編集	
名前変更	名前を変更します（44ページ）。
マーク設定	タイトルにマークを設定します（44ページ）。
サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します（44ページ）。
チャプター編集	チャプターを結合･分割したり、削除したりします（46ページ）。
部分削除	タイトル内の一部分を選んで削除します（46ページ）。
タイトル分割	タイトルを2つに分割します（47ページ）。
タイトル結合	複数のタイトルを結合します（47ページ）。
プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します（47ページ）。
全タイトル表示	すべてのタイトルを表示します。
ダイジェスト／ダイジェスト解除	タイトルの見どころ場面（盛り上がり場面）のみを再生したり、ダイジェスト再生を解除したりします（33ページ）。
ダイジェスト時間	ダイジェスト再生の時間を変更します（33ページ）。
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします（34ページ）。

オプション機能	できること
ダビング	
選択ダビング	選んだタイトルをディスクにダビングします（52ページ）。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします（52ページ）。
グループ内選択	グループ内の選んだタイトルをディスクにダビングします（53ページ）。
グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします（53ページ）。
ダビング進行状況	タイトルダビング実行中に、ダビング進捗画面を表示します（52ページ）。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします（34ページ）。
トップメニュー	ディスクのメニュー画面を表示します。
並び替え	タイトルの並び順を変更します。
はじめから再生	始めから再生します。
早見／早見解除	タイトルを早見再生したり、早見再生を解除したりします。
ファイナライズ	DVDをファイナライズします（53ページ）。
プロテクト／プロテクト解除	ハードディスクやディスクのタイトルが削除、編集されないよう保護したり、解除したりします（45ページ）。
メニュー／ポップアップ	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。
録画停止	録画を停止します。
ロック／ロック解除	ディスクをロックしたり、解除したりします（55ページ）。
BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします（55ページ）。
BD情報	BDの情報を表示します（55ページ）。
DVD情報	DVDの情報を表示します（55ページ）。
HDD情報	ハードディスクの情報を表示します（55ページ）。
HDDへダビング	ディスクから映像を取り込みます。

ご注意

- 映像や写真によっては画質設定の一部が効かない場合があります。
- 映像の輪郭がぼやけるときは、フレームノイズ除去、ブロックノイズ除去、モスキートノイズ除去の設定を[切]にしてください。
- HDMI出力端子以外にも効果があるのは、フレームノイズ除去、ブロックノイズ除去、モスキートノイズ除去、コントラスト、ブライトネス、色の濃さ、色あいです。

削除する

ひとつ削除する

ハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像(タイトル)を1つずつ削除できます。写真やアルバムは、ハードディスクに記録した場合のみ削除できます。

1 削除したいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>タイトルを選びます。
写真やアルバムを削除するときは、[フォト]>写真やアルバムを選びます。

2 削除する。

《削除》ボタンを押します。
[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを削除したいときは、先にプレイリストを削除してください。

ご注意

- BD-Rはタイトルを削除しても空き容量は増えません。

複数削除する

ハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像(タイトル)を一度に削除できます。写真は、ハードディスクに記録した場合のみ削除できます。

1 タイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
写真を削除するときは、[フォト]>写真を選び、《オプション》ボタンを押します。

2 削除方法を選ぶ。

映像(タイトル)を削除するときは、[削除]>[選択削除]または[すべて削除]を選び、《決定》ボタンを押します。
写真を削除するときは、[削除]>[選択削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 削除したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
[すべて削除]を選んだ場合はこの手順は不要です。

4 削除する。

[確定]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

グループごと削除するには

1 グループごとの表示にする。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]を選び、《黄/フォルダ整理》ボタンを押します。

2 削除したいグループを選ぶ。

3 削除する。

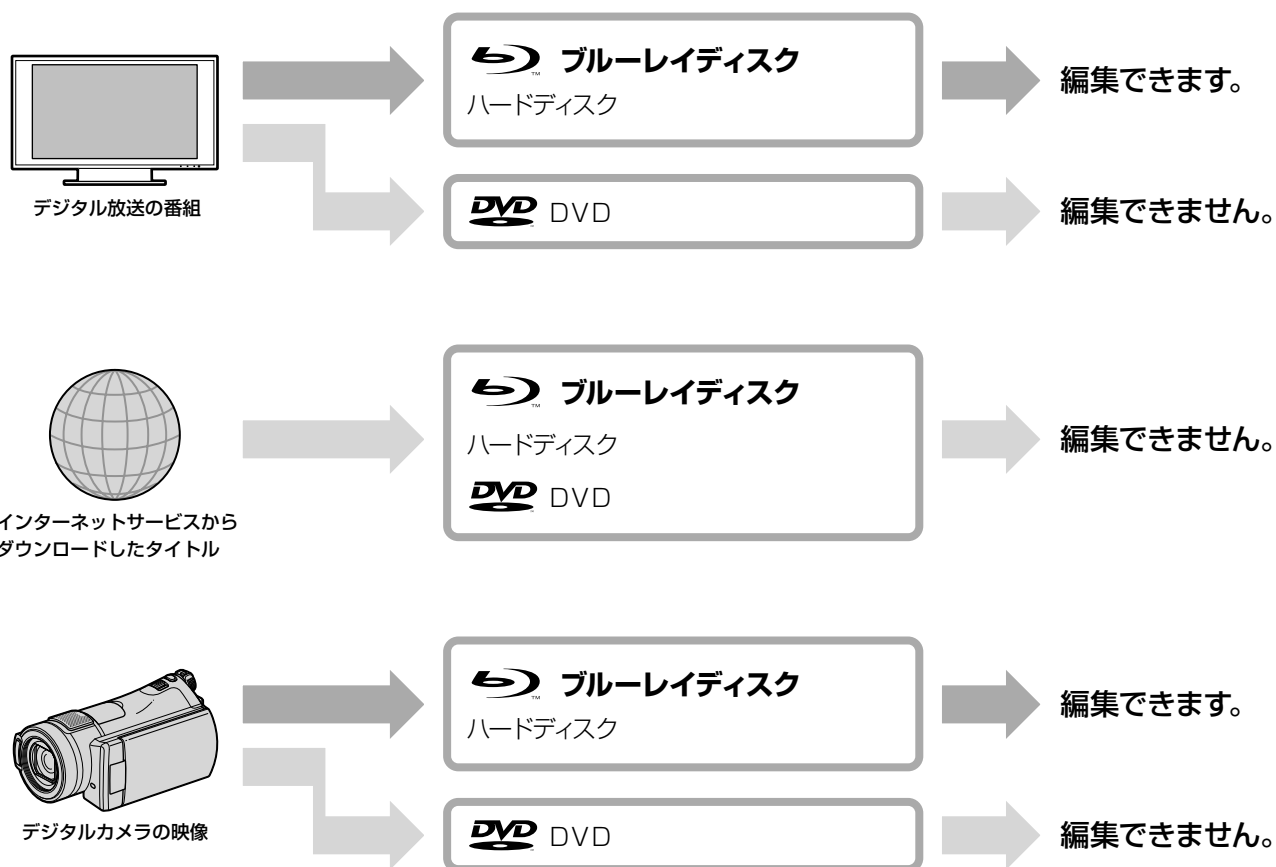
《削除》ボタンを押します。
[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルリストに表示されていない視聴年齢制限されたタイトルを削除するときは、あらかじめタイトルを選んでオプションメニューから[視聴制限一時解除]で視聴年齢制限を解除してから行ってください。

編集する

編集ガイド

本機で編集できるかどうかは、映像(タイトル)や記録先によって異なります。

ご注意

- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まると、編集内容が取り消されることがあります。
- チャプター削除やチャプター編集、部分削除で削除した場所の映像や音声が途切れることがあります。
- 視聴年齢制限されたタイトルを編集する場合、タイトルリストからタイトルを選び、オプションの[視聴制限一時解除](39ページ)で一時的に解除してから行ってください。暗証番号(90ページ)を入力します。
  編集が終わったら、オプションの[視聴制限再設定](39ページ)で制限を再設定してください。本機の電源を切っても、自動的に制限が再設定されます。

名前・マーク・サムネイルを変更する

ハードディスクに記録した映像(タイトル)を変更できます。

1 変更したいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 タイトルの名前・マーク・サムネイルを変更する。

[設定／編集]>項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
名前変更	タイトルの名前を変更します。
マーク設定	タイトルにマークを設定します。
サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します。

ご注意

- BD/DVDに記録したタイトルは変更できません。

マークの名前を変更する

1 グループごとの表示にする。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]を選び、《黄／フォルダ整理》ボタンを押します。

2 変更したいマークを選ぶ。

[マーク]>グループを選び、《オプション》ボタンを押します。

3 変更方法を選ぶ。

[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 マーク名を入力する。

文字入力画面(139ページ)でマーク名を入力します。

ちょっと一言

- [マーク名設定](86ページ)でも、マーク名を変更できます。

プロテクト(保護)する

ハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像(タイトル)を削除・編集できないようにプロテクト(保護)設定できます。

1 プロテクトしたいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 プロテクトする。

[プロテクト]を選び、《決定》ボタンを押します。
解除するには、[プロテクト解除]を選びます。

お気に入りの場面を写真にする

以下の映像(タイトル)でできます。

- AVCHDダビングしたタイトル
- HDV1080i/DV入力端子から取り込んだタイトル(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)
- 8cm DVDから取り込んだタイトル
- x-Pict Story HDで作成したタイトル

1 タイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]>[フォト切り出し]>タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
画面に従って操作してください。

ちょっと一言

- HDV1080i/DV入力端子から取り込んだタイトルからフォト切り出ししたファイルは、ファイルによって本機に取り込んだ日付になることがあります(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。

編集する

ハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像（タイトル）の分割·結合などの編集ができます。

チャプターを編集する

ハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像（タイトル）のチャプターを削除／編集できます。

1 編集したいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 編集画面を表示する。

[設定／編集]＞[チャプター編集]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 チャプターを選び、編集する。

1 **分割**
現在の再生位置にチャプターマークを付け、チャプターを2つに分けます。チャプターを再生して、◀◀ / ▶▶《早戻し／早送り》ボタンなどで分けたい場面を選んでから《決定》ボタンを押します。

2 **前と結合**
チャプターマークを削除して、現在のチャプターと前のチャプターをつなぎます。

3 **削除実行**
選んだ複数のチャプターを一度に削除します。チャプターを選んで《決定》ボタンを押し、削除したいチャプターをすべて選んでおきます。削除確認画面が表示されたら、[はい]を選びます。

4 終了する。

[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- チャプターの時間が短いと、削除できないことがあります。

タイトルの一部を削除する

オリジナルタイトルの場面を削除すると元に戻せないのでご注意ください。プレイリストを利用すると便利です。

1 編集したい映像（タイトル）を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 削除方法を選ぶ。

[設定／編集]＞[部分削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 削除する部分を選ぶ。

1 **開始点設定**
削除開始場面で選びます。

2 **終了点設定**
削除終了場面で選びます。

4 確定する。

[確定]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
続けて他の場面を削除するときは、手順3と4をくり返します。

5 画面を終了する。

[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- [部分削除]で場面を削除した場所にはチャプターマークが入り、前後の場面はそれぞれ別のチャプターになります。

タイトルを分割する

画質を落とさずにディスクへダビングしたいときに便利です。

1 分割したい映像(タイトル)を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 分割方法を選ぶ。

[設定/編集]>[タイトル分割]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 タイトルを分割する。

1 **確定**
分割する場面で選びます。

画面に従って操作してください。
分割したあとにタイトル名を変更するには、[はい]を選び、文字入力画面(139ページ)で入力します。

タイトルを結合する

ハードディスク内や同一ディスク内で以下の映像(タイトル)を結合できます。

- プレイリストタイトル同士
- オリジナルタイトル同士

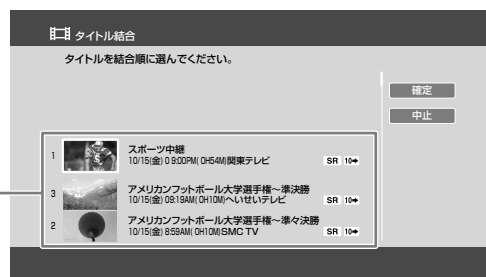
1 結合したいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 結合方法を選ぶ。

[設定/編集]>[タイトル結合]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 結合するタイトルを選ぶ。

タイトルは複数選べます。

1 **タイトル**
結合するタイトルを選びます。

4 確定する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

5 結合する。

タイトル名を選び、《決定》ボタンを押します。
[名前入力]を選ぶと新しくタイトル名を入力できます(139ページ)。

ご注意

- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- コピー制限のないタイトルを、ダビング10に対応したタイトルと結合すると、ダビング10対応タイトルに付いていた回数制限が付きます。

プレイリストを作成する

何度でも作成できるため、編集に失敗してもやり直しが可能です。「プレイリストについて」(48ページ)もご覧ください。

1 プレイリスト作成方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>映像(タイトル)を選び、《オプション》ボタンを押します。
[設定/編集]>[プレイリスト作成]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 プレイリストに入れるシーンを選ぶ。

1 **開始点設定**
開始場面で選びます。

2 **終了点設定**
終了場面で選びます。

4 確定する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
続けて同じタイトルからシーンを追加する場合は、手順3と4をくり返します。

5 シーン選びを終了する。

[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 選んだシーンを確認する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

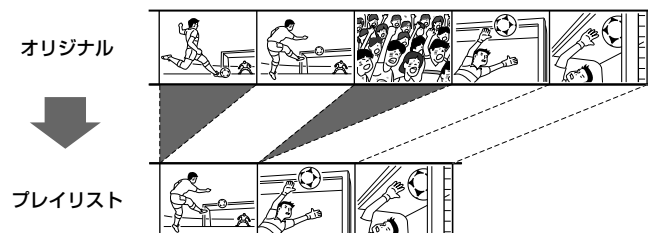
1 **確定**
シーンリストで選ばれたシーンでプレイリストを作成します。

7 プレイリスト名を入力する。

文字入力画面(139ページ)でプレイリスト名を入力します。

ご注意

- プレイリストを作成すると、編集した場面を再生するとき、映像が一時停止することがあります。

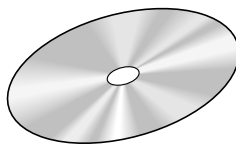
プレイリストについて

プレイリストはオリジナルの映像(タイトル)を変更せずに、お好みの場面のみを集めたタイトルです。何度でも編集でき、いくつでも作成できます。ただ、プレイリストから参照されているオリジナルのタイトルは編集や削除ができなくなります。

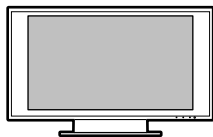
BDやDVDにコピーする

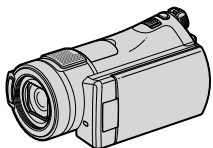
ダビングガイド

目的を選ぶ*		ディスクを選ぶ	ダビングする
ハードディスクの映像(タイトル)をBDやDVDにコピーしたい	録画した**テレビ番組**やインターネットサービスからダウンロードした映像をコピーしたい	「ディスク選択ガイド」(51ページ)でディスクを選んでください。	「ハードディスクからBDやDVDにコピーする」 ➡ 52ページ
	連続ドラマをまとめてBDにコピーしたい	**くり返し**使いたいときは ➡ BD-RE **保存版**にしたいときは ➡ BD-R	「グループ内の映像をまとめてコピーする(連ドラ一括ダビング)」 ➡ 53ページ
	デジタルカメラからハードディスクに取り込んだ映像をディスクにコピーしたい	「ディスク選択ガイド」(51ページ)でディスクを選んでください。	「ハードディスクからBDやDVDにコピーする」 ➡ 52ページ
8cm/12cm DVDを**DVDにコピー**したい		**くり返し**使いたいときは ➡ DVD-RW **保存版**にしたいときは ➡ DVD-R	「DVDをそのままコピーする」 ➡ 77ページ
デジタルハイビジョンビデオカメラの映像(タイトル)をBDにコピーしたい		**くり返し**使いたいときは ➡ BD-RE **保存版**にしたいときは ➡ BD-R	「ワンタッチでデジタルカメラからBDを作る」 ➡ 76 ページ
個人で撮影した映像(タイトル)や写真をBDやDVDにコピーしたい		「ディスク選択ガイド」(51ページ)でディスクを選んでください。	「ハードディスクからBDやDVDを作る」 ➡ 74ページ

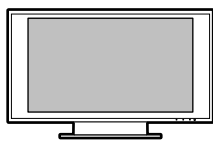
* 本機の入力端子(音声/映像/ S映像、HDV1080i/DV)につないだ機器から、本機のハードディスクやBDにダビング(録画)するには、「外部入力映像を録画するには」(27ページ)、「USBケーブルやi.LINKケーブルで映像を取り込む」(70ページ)、「S映像ケーブルや映像ケーブルで映像を取り込む」(72ページ)をご覧ください。

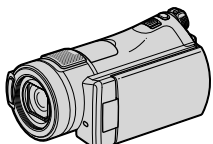
ディスク選択ガイド

* デジタル放送はダビングできません。

ディスクはくり返し使いたい

録画したデジタル放送の番組(タイトル)、インターネットからダウンロードした映像(タイトル)

DVD-RW(CPRM対応)にもコピーできます。
- 高速ダビングできません。
- VRモードでダビングしてください。

デジタルカメラの映像

DVD-RWにもコピーできます。
- 高速ダビングできません。
- 他機器で再生するときはビデオモードでダビングしてください。

ディスクは保存版にしたい

録画したデジタル放送の番組(タイトル)、インターネットからダウンロードした映像(タイトル)

DVD-R(CPRM対応)にもコピーできます。
- 高速ダビングできません。
- VRモードでダビングしてください。

デジタルカメラの映像

DVD-Rにもコピーできます。
- 高速ダビングできません。
- 他機器で再生するときはビデオモードでダビングしてください。

ハードディスクからBDやDVDにコピーする

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- **DRモードで録画した字幕付きデジタル放送の番組をDRモード以外で字幕を付けてコピーするときは、[字幕焼きこみ]を[入]にする(86ページ)。**
- **インターネットサービスからダウンロードした映像(タイトル)をダビングするときは、本機をネットワークにつなぐ(28、110ページ)。**

ハードディスクにたまったタイトルをBDやDVDにコピーして保存できます。

1 ディスクを本機に挿入する。

2 ダビング方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞[ディスクダビング]＞[HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

初期化するモードを選ぶ画面が表示されたときは

[VR]
デジタル放送をダビングするときに選びます。

[ビデオ]
ダビングしたタイトルをより多くのDVD機器で再生できます。
デジタル放送はダビングできません。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
選んだ順に番号が付きます。

1 **タイトル**
ダビングするタイトルを30個まで選べます。

2 **全選択**
選択可能なタイトルをリストの上から順に30個まで選べます。

3 **自動調整**
ディスクの残量が不足しているときに選べます。少ないディスク容量でたくさん保存できます(録画モード変換ダビング)。
編集したタイトルで行うと、タイトル間のつなぎ目がなめらかになります。

ちょっと一言
- オプションメニューからダビングモードを変換できます(56ページ)。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ファイナライズを選ぶ画面が表示されたときは

[しないで実行]
ダビングが始まります。ダビング終了後、必要に応じてファイナライズしてください。

[ファイナライズする]
ダビング終了後、自動的にファイナライズします。映像の記録時間が短いと、ファイナライズにかかる時間は長くなります。

DVDメニューを選ぶ画面が表示されたときは
24種類のDVDメニューの中から選びます。
《黄》ボタンを押すと、背景画面が拡大表示されます。

名前変更を選ぶ画面が表示されたときは

[ダビング実行]
ダビングが始まります。ダビング終了後、自動的にファイナライズします。

[名前変更]
ディスクの名前を変更できます(139ページ)。

ちょっと一言
- DVDにコピーする場合、自動的に録画モードが設定されてダビングします。詳しくは、「ハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間」(144ページ)をご覧ください。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできる場合があります。
- DVDにダビングしたタイトルは、チャプター編集などの編集はできません。あらかじめハードディスクで編集してから、ダビングしてください。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。

ダビングを止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
DVDの場合、ファイナライズされずにダビングは中止します。必要に応じてファイナライズを行ってください(53ページ)。

ご注意
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのダビングを中断した場合は、必ず同じメディアで再開してください。

高速ダビング中に他の操作を行うには

[閉じる]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
ホームメニューから選んで、テレビ放送を見たり、ハードディスクに録画した番組(タイトル)を再生したりできます。
高速ダビング所要時間が長くなりますのでご注意ください。
ダビング進捗画面に戻るには、ホームメニューから[ビデオ]＞[ディスクダビング]＞[HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 編集したタイトルを高速ダビングすると、削除した映像が残ることがあります。

グループ内の映像をまとめてコピーする(連ドラ一括ダビング)

1 ディスクを本機に挿入する。

2 グループごとの表示にする。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]を選び、《黄/フォルダ整理》ボタンを押します。

3 コピーしたいグループを選ぶ。

グループ>グループ(フォルダ)を選び、《オプション》ボタンを押します。

4 映像(タイトル)を選ぶ。

[ダビング]>[グループ内すべて]を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルダビング画面が表示され、グループ内で録画日などの古い順にタイトルが並びます。上から順に30個まで選ばれます。

ちょっと一言

- [グループ内選択]を選ぶと、タイトルを選んでダビングできます。

5 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

複数の映像/音声が記録されているタイトルをダビングする

ディスクやダビングモードによって、ダビングできる映像/音声が異なります。

DRモード(ハードディスク)→DRモード(BDのみ)(高速ダビング)の場合

すべての映像/音声をダビングします。ダビングしたBDの再生時に、映像/音声を切り換えられます。

DRモード(ハードディスク)→DRモード以外(BD/DVD)(録画モード変換ダビング)の場合

[二重音声記録](86ページ)で選んだ音声([主音声]/[副音声])と、次の「記録する映像/音声を選んでダビングするには」の信号選択画面で選んだ映像/音声のみをダビングします。

記録する映像/音声を選んでダビングするには

1 設定画面を表示する。

「ハードディスクからBDやDVDにコピーする」(52ページ)の手順3で《オプション》ボタンを押します。
[ダビングモード設定]>[高速]以外のダビングモード>[設定]を選び、《決定》ボタンを押します。
《オプション》ボタンを押します。
[信号選択]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 記録したい映像/音声を選ぶ。

映像/音声を選び、《決定》ボタンを押します。

3 設定を確定する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ファイナライズについて

本機でダビングしたDVDを他のDVD機器で再生できるようにします。
ダビング時にファイナライズしなかったDVDは以下の手順でファイナライズのみを行えます。

1 ファイナライズするディスクを本機に挿入する。

2 ディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

3 ファイナライズを開始する。

[ファイナライズ]を選び、《決定》ボタンを押します。
映像(タイトル)の記録時間が短いほど、ファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。

ちょっと一言

- ハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- デジタル放送の 1回 が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動（ムーブ）してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、ハードディスクからは削除されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 下記の文字を使用したタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は削除されます。
「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」
その他特殊文字は削除される場合があります。
- 16:9と4:3の映像が混在しているタイトルを、録画モードを変えてダビングする場合、タイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされますので混在できません。BDに高速ダビングした場合、元の映像サイズのままダビングされます。
- インターネットサービスからダウンロードしたり、「スカパー！HD」対応チューナーから録画したタイトルが視聴年齢制限されている場合は、画面にしたがって[暗証番号設定]（90ページ）で設定した暗証番号を入力してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、ダビング期限や有効期限が指定されているものがあります。ダビング期限などを確認するには、オプションメニューから[情報表示]を選んでください（39ページ）。
- ホームサーバー機能対応のクライアント機器で再生中にダビングをしようとすると、再生が停止します。
- インターネットサービスからダウンロード中にダビングを開始すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング直後に開始する録画予約やBDへの録画予約が実行されない場合があります。
- 録画モードを変えてダビングする場合、複数のタイトルを選んで合計12時間を超える場合はダビングできません。
- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。録画モードを変えるとダビングが可能となる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます（52ページ）。
- 「スカパー！ HD録画」で録画したタイトルはBDにダビングしても他機器で再生できない場合があります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

以下のことはできません

- DVD-R/-RW（VRモード）でDVDメニューを作成すること。
- 全角32文字、半角64文字を超えた文字数を、DVDのディスク名として入力すること。
他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送の番組の録画タイトルを、5.1chの音声のままDVDにダビングすること。
DVDにダビングしたタイトルは2chの音声になります。
- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすること。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをDVDにダビングしたり、録画モードを変えてダビングしたりすること。
BD-RE/BD-Rにのみ高速ダビングできます。

ディスクの情報を変更する

BD-REを初期化する

BD-REの内容をすべて消去して空きディスクにします。

1 ディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]>ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 初期化する。

[初期化]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- DVDの初期化はダビングの手順の中で行います(52ページ)。

ご注意

- BD-REの自動初期化以外の方法で初期化したディスクは、「BD-REを初期化する」の手順では初期化できない場合があります。

ディスクに名前を付ける

1 ディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]>ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 方法を選ぶ。

[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 ディスク名を入力する。

文字入力画面(139ページ)でディスク名を入力します。

ちょっと一言

- DVDに名前を付ける場合は、ダビングの手順の中で行います(52ページ)。

ディスクの情報を確認する

1 タイトルまたはディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]>タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
BDやDVDの場合は、ディスクアイコンを選びます。

2 情報を表示させる。

[HDD情報]または[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押します。
BDの場合は[BD情報]を、DVDの場合は[DVD情報]を選びます。

BDをプロテクト(保護)する

記録した映像(タイトル)を削除・編集できないようにBDをプロテクト(保護)設定できます。

1 ディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]>ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 プロテクトする。

[プロテクト]を選び、《決定》ボタンを押します。
解除するには、[プロテクト解除]を選びます。

暗証番号でBDをロックする

BDに暗証番号を設定して、再生などをできないようにします。

1 ディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]>ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 ロックする。

[ロック]を選び、《決定》ボタンを押します。
解除するには、[ロック解除]を選びます。

3 暗証番号を設定する。

数字ボタンで暗証番号を入力し、[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
ロックを解除するときにも暗証番号が必要になります。

BDをクローズする

追加記録や編集ができないようにBD-Rをクローズ設定できます。一度クローズすると解除できません。

1 ディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]>ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 クローズする。

[BDクローズ]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

オプションボタンでできること

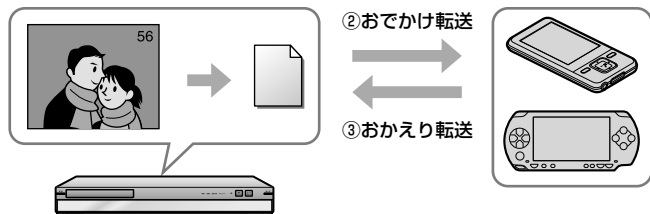
《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

オプション機能	できること
信号選択	録画モードをDRモードから変換するときに、ダビングする映像／音声信号を設定します。
選択	タイトルを選びます。
選択解除	タイトルの選択を解除し、ダビング選択リストから削除します。
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します。

PSP®や“ウォークマン”などに持ち出す

おでかけ転送ガイド

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

ハードディスクに録画した映像（タイトル）をおでかけ転送機器に転送して持ち出せます（おでかけ転送）。機器によっては、持ち出したタイトルを本機に戻せます（おかえり転送）。

おでかけ転送用動画ファイルについて

おでかけ転送では、おでかけ転送用動画ファイルを本機で作成し、対応機器に転送します。番組を録画するときに動画ファイルを作成（[高速転送録画]を[入]、87ページ）しておくと、高速転送で手軽に持ち出すことができます。
高速転送できるタイトルは、オプションメニューの[情報表示]（39ページ）でアイコンが表示されます。

：“ウォークマン”、“nav-u”
：PSP®「プレイステーション・ポータブル」
：携帯電話

録画時に同時作成されないタイトルについて

以下の映像（タイトル）の高速転送はできません（録画時におでかけ転送用動画ファイルが同時に作成されないため）。

- 外部入力からデジタル放送の番組を録画したタイトル
- [おでかけ転送機器]で設定した転送先の機器と異なる機器に転送するタイトル
- デジタルハイビジョンビデオカメラやDVDからAVCHDダビングしたタイトル
- HDV入力で録画したタイトル
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
- 「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトル
- BDからハードディスクにダビングしたタイトル

おでかけ転送用動画ファイルがないタイトルは、転送と同時におでかけ転送用動画ファイルを作成するため、転送時間は再生時間と同じくらいかかります。

おでかけ転送できる機器について

本機では“ウォークマン”、PSP®、携帯電話、“nav-u”におでかけ転送できます。録画時におでかけ転送用動画ファイルを同時作成するには、[おでかけ転送機器]で対象機器を設定してください（87ページ）。
対応機種や機能について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ちょっと一言

- お買い上げの状態では録画時の録画モードに合った画質を自動で調整し、おでかけ転送用動画ファイルを作成しますが、画質や容量などお客様の好みや機器に応じて4種類の録画モードを設定することもできます（63、87ページ）。転送する機器が対応していない録画モードを設定して転送した場合は、画面のメッセージにしたがってモードを変更してください。
- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、[再生位置同期]を[入]（88ページ）にすると、そのタイトルの再生位置の同期を行うことができます。
  再生位置の同期はおでかけ転送やおかえり転送時に行われ、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。
- 字幕を録画した状態で転送するには、[高速転送録画]（87ページ）を[切]にして字幕付きの番組をDRモードで録画し、[字幕焼きこみ]（86ページ）を[入]にして転送します。インターネットサービスからダウンロードしたタイトルの場合は、オプションメニューから[信号選択]（63ページ）で選んだ字幕設定が優先されます。
- 二か国語放送を録画して転送するには、[二重音声記録]を設定してください（86ページ）。

以下のことはできません

- 以下の状況やタイトルの場合に高速転送すること。
  - 録画したタイトルを編集したとき
  - 録画モード、映像や音声の信号を転送時に変更したとき、または録画時に設定したおでかけ転送機器と異なる機器に転送するとき
- メモリーカードスロットに挿入した“メモリースティック デュオ”やSDメモリーカードに転送すること（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。

おでかけ転送で対応機器に転送する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **インターネットサービスからダウンロードした映像(タイトル)を転送するときは、ネットワークにつなぐ(110ページ)。**

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

1 おでかけ転送する機器を本機に接続し、電源を入れる。

おでかけ転送対応機器をUSBケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。

ちょっと一言
- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(USB接続モードなど)。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 転送方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[おでかけ·おかえり転送]>[おでかけ転送]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 転送したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
選んだ順に番号が付きます。

1 **タイトル**
転送するタイトルを30個まで選べます。
高速:高速転送できるタイトル。

2 **全選択**
選択可能なタイトルを、リストの上から順に30個まで選びます。

4 転送を開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。
転送している間は、転送先機器の電源を切らないでください。

ちょっと一言
- おでかけ転送用動画ファイルの転送中や作成(変換)中に本機を「切」にしても、転送や作成(変換)は継続されます。
- [ワンタッチ転送 更新転送](88ページ)を[切]に設定したときに、転送したタイトルを転送先機器から削除したいときは、以下の方法で削除してください。
  コピー制御信号を含まないタイトル:転送先機器でタイトルを削除してください。タイトルの削除方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
  1→ または 1→ ~ 10→ のコピー制御信号を含むタイトル:おかえり転送で本機に戻してください。
- 転送先機器によって、再生映像の映りかたが異なる場合があります。

ご注意
- ホームサーバー機能を利用して、本機のタイトルを他機器が再生しているときにおでかけ転送を行うと、他機器の再生が停止します。
- "ウォークマン"や"メモリースティック PRO デュオ"にパソコンなどを使って作成したファイルなどがあるときは、おでかけ転送用動画ファイルを"ウォークマン"や"メモリースティック PRO デュオ"に転送しても再生できない場合があります。
- タイトルの転送を途中でやめた場合は、おでかけ転送対応機器にはタイトルは残りません。
- 転送中に次の状態になった場合は、本機と転送先の両方から映像が削除される可能性があります。
  - 転送先機器の電源を切ったとき
  - USBケーブルを抜いたとき
  - 停電になったとき

  転送中に転送先機器の電源が切れないよう、あらかじめバッテリーの残量を確認してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのおでかけ転送を中止した場合は、必ず同じ機器やメディアで転送を再開してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、有効期限が指定されているものがあります。
- インターネットサービスからダウンロード中におでかけ/おかえり転送すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

つづきの場面から転送する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **[icon] の付いた映像(タイトル)で、転送先の機器では⇔が表示されるタイトルは、本機におかえり転送する(61ページ)。**

途中まで再生したタイトルや、途中まで転送したタイトルを続きから転送できます。

1 おでかけ転送する機器を本機に接続し、電源を入れる。

おでかけ転送対応機器をUSBケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。

ちょっと一言
- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(USB接続モードなど)。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 転送方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[おでかけ・おかえり転送]>[おでかけ転送]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 転送したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

4 転送を開始する。

[続きから]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

以下のことはできません
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルを続きから転送すること。

まとめて転送する

グループ内の映像(タイトル)を一括して転送できます。

1 おでかけ転送する機器を本機に接続し、電源を入れる。

おでかけ転送対応機器をUSBケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。

ちょっと一言
- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(USB接続モードなど)。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 グループごとの表示にする。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]を選び、《黄/フォルダ整理》ボタンを押します。

3 転送したいグループを選ぶ。

グループ(フォルダ)を選び、《オプション》ボタンを押します。

4 転送方法を選ぶ。

[おでかけ転送]>[グループ内すべて]を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルを選んで転送する場合は[グループ内選択]を選びます。

5 転送を開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

高速転送中に他の操作をするには

[閉じる]を選び、《決定》ボタンを押します。
ホームメニューから選んで、テレビ放送を見たり、ハードディスクに録画した映像(タイトル)を再生したりできます。
おでかけ転送進捗画面に戻るには、ホームメニューから[ビデオ]>[おでかけ・おかえり転送]>[おでかけ転送]を選び、《決定》ボタンを押します。

おかえり転送で本機に戻す

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

おでかけ転送(59ページ)で転送した映像(タイトル)を、本機に転送して戻します(おかえり転送)。おかえり転送したタイトルはおでかけ転送対応機器からは自動的に削除されます。

1 おかえり転送する機器を本機に接続し、電源を入れる。

おでかけ転送対応機器をUSBケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。

ちょっと一言

- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(USB接続モードなど)。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 転送方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[おでかけ･おかえり転送]>[おかえり転送]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 転送したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
複数選べます。

4 転送を開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 1→ ～ 10→ の付いたタイトルをおでかけ転送した場合、ダビング可能回数の数字は減りますが、おかえり転送すると、もとの数字に戻ります。
- 1⇒ の付いたタイトルを転送した場合、タイトルとおでかけ転送用動画ファイルは本機のハードディスクに残りますが、転送先のタイトルを本機に戻すまでタイトルリストから再生できなくなります。

ご注意

- 同じタイトルを同じ機器に複数回おでかけ転送した場合、おでかけ転送した日時が一番古いタイトルから、1つずつおかえり転送します。
- 更新転送(62ページ)で送ったタイトルをメニュー画面を使っておかえり転送すると、更新期間内でもワンタッチ転送リストからタイトルが削除されます。

以下のことはできません

- 以下の状況やタイトルの場合におかえり転送すること。
  - おでかけ転送先の機器で削除したタイトルは、本機のハードディスクに残っているおかえり待ちのタイトルで再生できなくなりますので、タイトルを削除してください。
  - おでかけ転送したタイトルを本機のハードディスクで削除したときや部分削除、タイトル分割などの編集をしたとき転送したタイトルが不要になった場合は、転送先機器でタイトルを削除してください。
  - インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
  - 携帯電話におでかけ転送したタイトル

ワンタッチで対応機器に転送する

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **録画予約時に[ワンタッチ転送]を[する]に設定する(18ページ)。**

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

番組表から録画予約するときにワンタッチ転送の設定をすると、本機前面の《番組おでかけ》ボタンを押すだけで、映像(タイトル)をおでかけ転送できます。

1 おでかけ転送する機器を本機に接続し、電源を入れる。

おでかけ転送対応機器をUSBケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。
本機が転送先の機器を認識すると、《番組おでかけ》ボタン/ランプが白く点灯します。

ちょっと一言
- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(USB接続モードなど)。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。
- 本機の電源が「切」の状態でも、《番組おでかけ》ボタンを押せば、本機の電源が自動的に入りワンタッチ転送できます。

2 転送を開始する。

本機前面の《番組おでかけ》ボタンを押します。
ワンタッチ転送リストに表示されている番組を転送します。
《番組おでかけ》ボタン/ランプがオレンジ色に点灯して転送が始まります。転送中に本機の電源を切っても転送は継続されます。転送できない場合はオレンジ色に点滅します。

ご注意
- 転送終了後も電源は自動的に切れません。

転送が終了すると

本機の電源が「入」になっている場合、転送が終了すると、《番組おでかけ》ボタン/ランプが白く点灯します。
本機の電源が「切」になっている場合、転送が終了すると、《番組おでかけ》ボタン/ランプが消灯します。

更新転送するには

[ワンタッチ転送 更新転送](88ページ)をすると、対象となる映像(タイトル)を本機が自動的に判別し、転送されます。
更新転送したタイトルを本機内で削除すると、次に更新転送したときに、転送先機器内からもそのタイトルは削除されます。

ワンタッチ転送するタイトルを確認する・取り消す

☞**あらかじめ、次のことをしてください。**
- **[ワンタッチ転送 更新転送]の設定を[おまかせ更新]にした場合、転送先機器をつなぐ(88、113ページ)。**

1 ワンタッチ転送リストを表示させる。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[おでかけ·おかえり転送]>[ワンタッチ転送リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。
つないだ機器によって表示される内容は異なります。

2 映像(タイトル)を選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

1 **タイトル**
ワンタッチ転送を取り消すタイトルを選びます。
複数の映像を選んで取り消すときは、オプションメニューから[転送選択取消]を選び、《決定》ボタンを押します(63ページ)。

以下の場合はワンタッチ転送できません

- 映像（タイトル）を削除したとき
- タイトルを編集（部分削除／タイトル分割／チャプター編集／タイトル結合）したとき
- x-おまかせ･まる録で録画されたタイトル
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
- 日時指定予約で録画したタイトル
- 「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトル
- 更新転送が［切］で（88ページ）、
  - ワンタッチ転送で転送済みのとき
  - メニュー画面を使っておでかけ転送したとき（59ページ）
  - 以前に更新転送を行ったことがあるタイトルで、録画の日から2週間以上経過したとき
- 更新転送が［最新3日間分］／［最新1週間分］／［最新2週間分］のどれかで（88ページ）、
  - メニュー画面からおかえり転送したとき（61ページ）
  - 更新転送（88ページ）で設定した期間を過ぎたとき
- 1⇒ の付いたタイトルで、
  - プレイリストが作成されているとき
  - タイトルがプロテクト（保護）されているとき
- 転送先が携帯電話で 1⇒ の付いたタイトルのとき
- 録画時点の［おでかけ転送機器］の設定とは異なる機器が接続されていたとき（PSP®転送用動画ファイルを“ウォークマン”や携帯電話へワンタッチ転送するなど）。
- デジタル放送の録画タイトルに対してコピー制御信号に対応しない機器や“メモリースティック”が転送先に使用されていたとき。

ちょっと一言

- 転送タイトルが31個以上あったときは、もう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます。

オプションボタンでできること

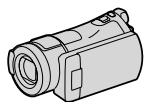
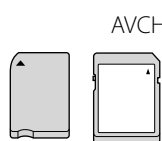
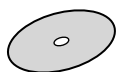
《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

オプション機能	できること
信号選択*	複数の映像または音声が記録されている映像を転送するときに設定します。［映像］または［音声］で転送する信号を選んでください。インターネットサービスからダウンロードしたタイトルでは［字幕］も選べます。
選択	タイトルを選びます。
選択解除	タイトルの選択を解除します。
転送選択取消	複数のタイトルを選んでワンタッチ転送を取り消します。
転送取消	1件のタイトルのワンタッチ転送を取り消します。
モード*	転送する映像の録画モードを設定します（87ページ）。
VGA2.0M	VGA2.0Mbpsの映像を転送します。
VGA1.0M	VGA1.0Mbpsの映像を転送します。
QVGA768k	QVGA 768kbpsの映像を転送します。
QVGA384k	QVGA 384kbpsの映像を転送します。

* ［信号選択］や［モード］の設定を変更すると、高速転送できなくなり、再生時間と同程度の転送時間がかかります。

デジタルカメラなどから取り込む

取り込みガイド

写真や映像を本機に取り込んで楽しめます。

* 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。

写真を取り込む

☞次のページも参考にしてください。
- **本機で取り込めるアルバムや写真について（141ページ）**

本機につないだ機器や挿入したメモリーカード（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）、ディスクから写真（JPEGのみ）を取り込むことができます。
本機では、フォルダのことをアルバム、ファイルのことを写真と呼びます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ご注意
- 本機に取り込んでいるときに、デジタルカメラやPSP®をつないでいるUSBケーブルや、メモリーカードを抜かないでください。

アルバムごと取り込む

1 写真を取り込みたい機器を本機に接続する。
デジタルカメラなどをUSBケーブルを使って本機に接続します（113ページ）。
メモリーカード（113ページ）やディスクの場合は本機に挿入します。

ちょっと一言
- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります（USB接続モードなど）。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 使用するメディアまたは接続機器を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[フォト] ＞メディアまたは接続機器を選び、《決定》ボタンを押します。

3 取り込むアルバムを選ぶ。
アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

4 取り込みを開始する。
[コピー] ＞ [1アルバムコピー] ＞ [はい] ＞ [このままコピー] を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- [次へ] を選ぶと [続きからコピー] や [分類して実行] などを選べます。

写真を選択して取り込む

1 写真を取り込みたい機器を本機に接続する。
デジタルカメラなどをUSBケーブルを使って本機に接続します（113ページ）。
メモリーカード（113ページ）やディスクの場合は本機に挿入します。

ちょっと一言
- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります（USB接続モードなど）。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 使用するメディアまたは接続機器を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[フォト] ＞メディアまたは接続機器を選び、《決定》ボタンを押します。

3 取り込む写真を選ぶ。
写真の入ったアルバムを選び、《決定》ボタン押します。
写真を選び、《オプション》ボタンを押します。

4 コピー方法を選ぶ。
[コピー] ＞ [1ファイルコピー] ＞ [確定] を選び、《決定》ボタンを押します。

5 取り込み先のアルバムを選んで取り込みを開始する。
取り込み先のアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
- アルバムごと取り込むときは、取り込もうとしているアルバムの中に入っている写真のみ取り込むことができます。取り込もうとしているアルバムの中に入っているアルバムは、取り込むことができません。

写真を見る

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で再生できるアルバムや写真について(141ページ)

本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 見たい写真が入っている機器を本機に接続する。

デジタルカメラなどをUSBケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。
メモリーカード(113ページ)(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)やディスクの場合は本機に挿入します。
ハードディスクの場合はこの手順は不要です。

ちょっと一言
- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(USB接続モードなど)。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 使用するメディアまたは接続機器を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]>メディアまたは接続機器を選び、《決定》ボタンを押します。
ハードディスクの場合は[フォト]を選んだあと手順3へ進んでください。

3 見たい写真を選ぶ。

写真を選び、《決定》ボタンを押します。
アルバムの場合はアルバムを選んでから写真を選びます。

ちょっと一言
- 16:9(HDTVサイズ)で撮影した写真を本機で再生すると、上下、または上下左右に黒帯が表示されることがあります。[テレビタイプ]を[16:9]に設定してください(81ページ)。また、ワイドテレビ側のワイド切換で16:9に設定してください。切り換え方法について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- 写真を表示しているときに、デジタルカメラやPSP®をつないでいるUSBケーブルや、メモリーカード(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)を抜かないでください。
- 写真以外のファイルが複数記録されているUSB機器の場合、写真(JPEG)を表示できない場合があります。
- 写真や写真の枚数によってはサムネイルの表示*やスライドショーの再生で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

* 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかる場合があります。

スライドショーを楽しむ

1 アルバムを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]>アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 スライドショーを開始する。

[スライドショー]を選び、《決定》ボタンを押します。
アルバム内のすべての写真の表示が終わると、アルバムの先頭からくり返し再生されます。
スライドショーを再生中に⏮《前》ボタンを押すと前の写真を、⏭《次》ボタンを押すと次の写真を表示します。
スライドショーをやめるには、■《停止》ボタンを押します。
スライドショーを一時停止するには、⏸《一時停止》ボタンを押します。⏸《一時停止》ボタンか▶《再生》ボタンを押すとスライドショーを再開します。

ブラビアで高画質な写真を楽しむ

「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビをお使いの場合、よりよい画質で写真を見ることができます。

1 「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機をHDMIケーブル(別売り)で接続する。

対応機種について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravia/support/
お使いのテレビによってはテレビの設定が必要な場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

別の部屋のテレビなどで再生する

本機に取り込んだ写真を、別の部屋のテレビなどで再生できます。詳しくは「別の部屋のテレビなどで再生する」(36ページ)をご覧ください。

フォト作品（x-Pict Story HD）で見る

☞次のページも参考にしてください。
• 思い出ディスクダビングをするには（74ページ）

本機のハードディスクのアルバムに保存されている写真を、30種類のオリジナルサウンドの中から好みの音楽を選ぶだけの簡単操作で、音楽と顔の位置を捉えたエフェクト（映像処理）が付いたハイビジョン画質のフォト作品を自動作成します。

1 アルバムを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
［フォト］＞［x-Pict Story HD］＞［新規作成］＞アルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

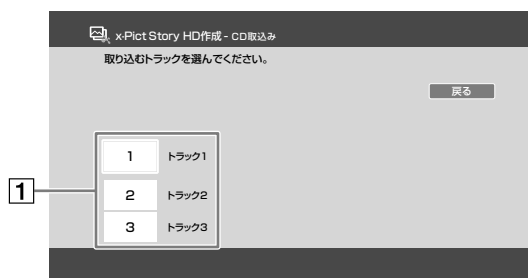
2 曲を選ぶ。

お好みの曲を選びます。
選んだ曲によりエフェクトが変わります。

本機に登録されている曲を選ぶときは

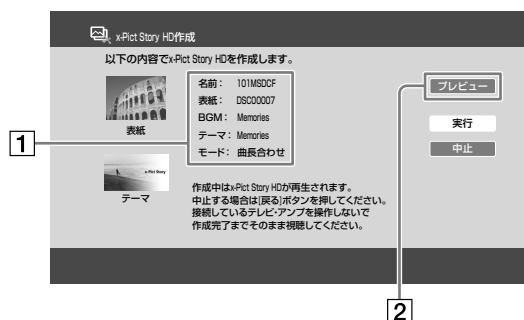
曲を選び、《決定》ボタンを押します。

CDから曲を選ぶときは

CDを本機に挿入します。［CD取込み］＞曲を選び、取り込みます。取り込んだ曲＞テーマを選び、《決定》ボタンを押します。

1 **トラック**
曲を選びます。

1 **テーマ**
（亀）から（うさぎ）に向かう●の数が多いほど、エフェクトのテンポが速くなります。

3 作成を開始する。

［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

1 **変更できる項目**

項目	できること
名前	フォト作品の名前を変更します。
表紙	表紙の写真を変更します。
BGM	曲を変更します。
テーマ	テーマを変更します（CDから取り込んだ曲のみ変更できます）。
モード	**おまかせ**：曲長と使用する写真の枚数を自動的に設定します（CDから取り込んだ曲のみ変更できます）。 **曲長合わせ**：取り込んだ曲を最後まで使い切ります。 **静止画枚数合わせ**：すべての写真を使って作成したい場合に選びます。

2 **プレビュー**
フォト作品を見て確認します。

4 フォト作品を再生する。

《ホーム》ボタンを押します。
［フォト］＞［x-Pict Story HD］＞フォト作品を選び、《決定》ボタンを押します。
［ビデオ］からもフォト作品を選べます。

ちょっと一言

- x-Pict Story HD映像作成を途中で止めるには、《戻る》ボタンを押します。
- フォト作品に表示される日時を削除するときは、［x-Pict Story HD日時情報表示］を設定します（88ページ）。
- 本機に取り込んだアルバムからx-Pict Story HDで映像を作成すると、BDやDVDにダビングできるようになります（52ページ）。

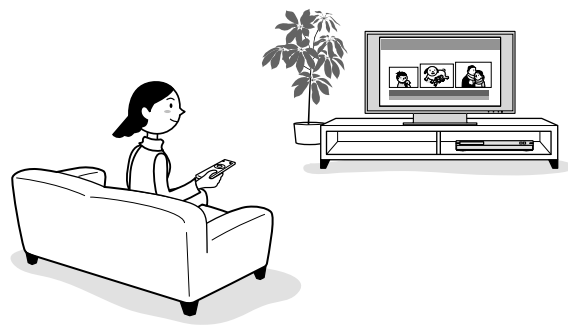
ご注意

- BDおよびDVDにダビングしたx-Pict Story HD映像を第三者にプレゼントする場合は内蔵BGMをお使いください。あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数が利用できる家庭外ネットワークに送信すること、また他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数からアクセスできる状態におくことは著作権法上禁止されていますのでご注意ください。
- CDによっては、完全に取り込めない場合があります。
- 再生中に次のものを本機から抜き差しすると、フォト作品が正しく再生されないことがあります。
  - B-CASカード
  - USB機器
  - アンテナケーブル
  - HDV/DV接続機器
  - HDMI接続機器
- 出力解像度、x-Pict Story HDで使う写真の絵柄、x-Pict Story HDのエフェクトによっては、フォト作品の一部分が震えて見える場合があります。
- [モード設定]で[おまかせ]や[曲長合わせ]を選んだ場合は、曲の長さによってはすべての写真が表示されないことがあります。
- x-Pict Story HDの作成や再生中はx-おまかせ・まる録による録画は実行されません。
- インターネットサービスからダウンロード中にx-Pict Story HDの作成や再生をすると、ダウンロードの速度が遅くなったり、一時停止したりします。
- x-Pict Story HDの作成中やプレビュー中にご使用のテレビによっては、出力解像度の関係で、HDMIまたはD映像ケーブルに対して映像が出力できずにテレビの画面が映らない場合があります。その場合は、本機とテレビを付属の映像／音声ケーブルでつないでご確認ください。

以下のことはできません

- 録画予約の開始時間と重なっているときに、フォト作品を作成すること。
- 取り込んだ音楽のタイトル名を変更すること。
- 取り込んだ音楽を自分で削除すること（11曲目を取り込むと最も古い曲が削除されます）。

スクラップブック（x-ScrapBook）で見る

写真を取り込んでアルバムが作成されると、本機はその中に含まれるすべての写真をレイアウトしたオリジナルのスクラップブックを自動作成します。また、壁紙を変更したり、デジタルカメラ映像やx-Pict Story HDで作成した映像の追加もでき、写真とビデオを一緒に楽しめます。

1 スクラップブックを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]＞[x-ScrapBook]＞スクラップブックを選び、《決定》ボタンを押します。

2 ページを送る。

アルバム名やページ番号を表示するには、《画面表示》ボタンを押します。
ページを送るモードを切り換えるには、《黄》ボタンを押します。

ページモード

アルバムをめくるように全体を再生できます。←→でページを送ります。

選択モード

写真やビデオを個別に選んで、拡大表示や再生ができます。右端や左端の写真／ビデオを選び、←→を押すとページを送ります。ビデオには、ビデオであることを示すアイコンが表示されます。↑↓←→で写真やビデオを選び、《決定》ボタンを押すと、個別に全画面で再生します。
再生を停止するには■《停止》ボタンを押します。

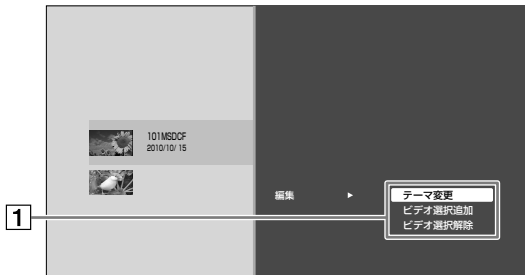
スクラップブックを編集するには

ビデオの追加や選択解除、壁紙のテーマ変更ができます。写真の追加や削除はできません。スクラップブックの表紙に表示されるタイトル名はホームメニュー上のアルバム名がそのまま入力されます。表紙のタイトル名を変更したいときは、アルバム名を変更することで表紙のタイトル名も変更されます。

1 スクラップブックを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]＞[x-ScrapBook]＞スクラップブックを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 編集する。

[編集]>項目を選び、《決定》ボタンを押します。

1 設定項目

項目	できること
テーマ変更	テーマを変更できます。テーマを選び《決定》ボタンを押します。《黄》ボタンを押すと拡大表示されます。
ビデオ選択追加	ビデオを追加できます。追加したいビデオ>[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。ビデオのサムネイル画像は表示されない場合があります。撮影日を持たないビデオは、後ろに追加されます。
ビデオ選択解除	解除したいビデオ>[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- スクラップブック再生画面をページごとに静止画像としてBDやDVDに書き出せます(74ページ)。

ご注意

- 元になるフォトアルバムや、そのフォトアルバム内のすべての写真がハードディスクから削除されると、スクラップブックも削除されます。

以下のことはできません

- 1つのスクラップブックに同じビデオを複数回追加すること。

☞次のページも参考にしてください。

- 取り込んだ映像をスクラップブックに入れるには(69ページ)
- お気に入りの場面を静止画にするには(45ページ)
- HDV1080i/DV入力端子やS映像／映像端子から取り込む場合、[ビデオ設定]で取り込むときのサイズを設定できます(86ページ)。

USBケーブルやi.LINKケーブルで映像を取り込む

デジタルカメラなどに記録されている映像によって2種類の方法から選びます。

AVCHDダビング

AVCHD方式の映像が記録されている外部機器をUSBケーブルで本機のUSB端子につないだり、メモリーカード(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)を本機に挿入すると、AVCHD方式の映像を取り込むことができます。

HDV/DVダビング

HDV/DV方式の映像が記録されている外部機器をi.LINKケーブルで本機のHDV1080i/DV入力端子につなぐと、HDV/DV方式の映像を取り込むことができます(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。

本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/
i.LINKについて詳しくは、147ページをご覧ください。

1 映像を取り込みたい機器を本機に接続し、電源を入れる。

デジタルカメラなどをUSBケーブルやi.LINKケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。

ちょっと一言

- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(USB接続モードなど)。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]を選び、さらにダビング方法を選び、《決定》ボタンを押します。
機種によってはダビング方法を選ぶ前に[ビデオカメラダビング]を選ぶ必要があります。

3 各項目を設定する。

AVCHDダビング画面

1 **マーク**

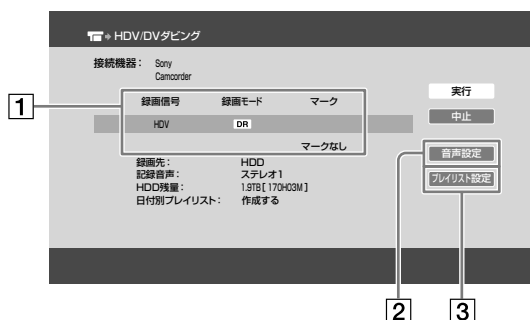
映像(タイトル)にマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

2 **自動選択**

一度に30個まで自動で取り込みます。

3 **タイトル選択**

取り込みたいタイトルを30個まで選べます。

HDV/DVダビング画面

1 **設定項目**

項目	できること
録画信号	DV機器につないだときは自動的に[DV]に固定されます。HDV機器をつないだときは、取り込む信号に合わせて[HDV]または[DV]を選んでください。 ·HDV:ハイビジョン画質で記録されたHDV信号のみをダビングする場合。 ·DV:従来方式のDV信号のみをダビングする場合。
録画モード	[録画信号]に[HDV]を選んだときは、自動的に[DR]に固定され、ハイビジョン画質のまま録画できます。録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画/ダビング可能時間について」(144ページ)をご覧ください。
マーク	タイトルにマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

2 **音声設定**

·ステレオ1:最初から記録されている音声を取り込みます。

·ミックス:[ステレオ1]と[ステレオ2]の両方を取り込みます。

·ステレオ2:あとから追加された音声を取り込みます。

3 **プレイリスト設定**

デジタルカメラに録画した日付ごとにプレイリストを作成できます。[作成する]にしているときは、取り込みが止まるまでに5分以上かかることがあります。

4 取り込みを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを止めるには

[停止]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

HDV1080i/DV入力端子につないだときは、■《停止》ボタンを押します(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。

ちょっと一言

- 取り込みが中断してしまう場合は、「外部入力映像を録画するには」に記載されている方法で録画してください(27ページ)。

ご注意

- デジタルカメラで撮影した動画は、フォーマットによっては、本機に取り込むことはできません。
- デジタルカメラで記録した映像を本機に取り込んだ場合、表示される録画モードが元の録画モードと異なる場合がありますが、画質は劣化しません。
- テープに5分以上の無記録部分があると、取り込みは自動的に終了します。HDV機器から取り込む場合、無記録部分は本機に録画されません。DV機器から取り込む場合は録画されます。
- テープの途中に無記録部分があるときや、HDV信号とDV信号が混在しているときは、日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働かないことがあります。
- 次のときは、取り込まれた画像と音声が一瞬途切れることがあります。
  - 複数の録画モードで記録されているとき
  - 画像サイズが途中で切り換わっているとき
  - 無記録部分を含むとき
  - HDV信号とDV信号が混在しているとき
- 次の場合、HDV1080i/DV入力端子は使えません。
  - デジタルカメラと本機のHDV1080i/DV入力端子に互換性がない場合(MICROMV方式など)
    本機の音声/映像/ S映像入力端子につなぎ、「S映像ケーブルや映像ケーブルで映像を取り込む」(72ページ)の手順にしたがってください。
  - テープの記録画像がコピー制御信号を含んでいる場合
- AVCHDダビングでは、1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。デジタルカメラで編集されたタイトルは分割されません。

以下のことはできません

- デジタルカメラで記録された、撮影日時などの字幕を取り込むこと(取り込んだ映像を再生するとき、画面に撮影日時を表示することはできません)。
- デジタルカメラに記録されたAVCHD方式(ハイビジョン画質)以外の映像を取り込むこと。

S映像ケーブルや映像ケーブルで映像を取り込む

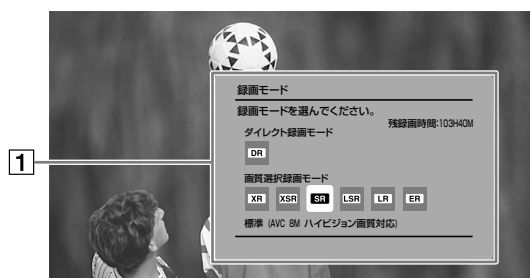
1 映像を取り込みたい機器を本機に接続し、電源を入れる。

8mmビデオカメラなどをS映像ケーブルや映像ケーブルを使って本機に接続します（112ページ）。

2 入力を切り換える。

《ホーム》ボタンを押します。
[外部入力]＞[入力]を選び、《決定》ボタンを押します。
画面が外部入力の映像に切り換わります。

3 録画モードを選ぶ。

《オプション》ボタンを押します。
[録画モード]＞録画モードを選び、《決定》ボタンを押します。

1 **録画モード**
録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」（144ページ）をご覧ください。

4 接続機器の再生を一時停止する。

5 本機の録画を開始する。

●《録画》ボタンを押して、本機に録画する時間を選び、録画を開始します。

6 取り込みを開始する。

接続機器の一時停止または再生ボタンを押して再生を開始します。

取り込みを止めるには

■《停止》ボタンを押します。

ご注意

- ●《録画》ボタンを押して録画時間を選んだ後、本機の表示窓に録画経過時間が表示されるのを確認してから接続機器の再生を開始してください。

メモリーカードの映像を取り込む

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000

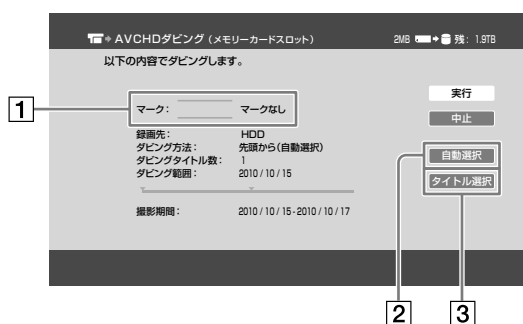
AVCHD方式の映像が記録されているメモリーカードを本機に挿入すると、AVCHD方式の映像を取り込むことができます。
本機能に対応しているメモリーカードについて詳しくは、「利用できるメモリーカード一覧」（143ページ）をご覧ください。

1 メモリーカードを本機に挿入する。

メモリーカードの挿入方法について詳しくは、「メモリーカードを差し込む」（113ページ）をご覧ください。

2 取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞[ビデオカメラダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。
挿入したメモリーカードに応じたダビング方法を選び、《決定》ボタンを押します。

3 各項目を設定する。

1 **マーク**
映像（タイトル）にマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

2 **自動選択**
一度に30個まで自動で取り込みます。

3 **タイトル選択**
取り込みたいタイトルを30個まで選べます。

4 取り込みを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。
読み込み中は、メモリーカードランプが点滅します。

ご注意

- マジックゲートで保護されたデータのように暗号化されているものは、本機へ取り込めません。
- 98シーン以上あるタイトルを取り込んだ場合、98シーン目以降のシーンは1つのチャプターとしてまとめられます。

ディスクの映像を取り込む

1 ディスクを本機に挿入する。

2 取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞[ディスクダビング]＞[BD/DVD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 取り込む映像（タイトル）を選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
選んだ順に番号が付きます。

1 **タイトル**
ダビングするタイトルを30個まで選べます。

2 **全選択**
選択可能なタイトルを、リストの上から順に30個まで選びます。

4 取り込みを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- DVD（AVCHD方式）からハードディスクへ取り込んだ場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとして取り込まれます。
- BDやDVDからハードディスクへ取り込む場合は、BDやDVDの映像サイズはそのまま取り込まれます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみ取り込まれることがあります。

ご注意

- DVD（AVCHD方式）からハードディスクへの取り込みでは、録画モードを変更できません。
- DVD（AVCHD方式以外）からハードディスクに取り込む場合は、高速ダビングできません。

以下のことはできません

- 市販のBD-ROMやDVDビデオから取り込むこと。
- コピー制御信号を含む映像を取り込むこと。
- 他機器で作成したディスクで、本機に挿入したときに「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。

ワンタッチで映像や写真を取り込む

☞次のページも参考にしてください。

- **録画モードやプレイリスト設定、音声設定、マーク設定などを設定して取り込むときは（70ページ）**
- **前回ワンタッチ取り込みを行った場合、その続きから取り込みます。先頭から取り込みたいときは（70ページ）**
- **写真を取り込むと自動分類して新しいアルバムとして保存します。写真を選択したい場合や、保存先を指定したい場合には、[1アルバムコピー]または[1ファイルコピー]から取り込んでください（66ページ）。**
- **本機で取り込めるアルバムや写真について（141ページ）**

本機につないだ機器や挿入したメモリーカード（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）、8cm DVDから、映像や写真をボタン一つで簡単に取り込むことができます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 映像を取り込みたい機器を本機に接続し、電源を入れる。

デジタルカメラなどをUSBケーブルやi.LINKケーブル（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）を使って本機に接続します（113ページ）。
メモリーカード（113ページ）や8cm DVDの場合は本機に挿入します。

ちょっと一言

- お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります（USB接続モードなど）。詳しくは各機器の取扱説明書をご確認ください。

2 取り込みを開始する。

本機前面の《カメラ取込み》ボタンを押します。
《カメラ取込み》ボタン／ランプが赤く点灯して取り込みが始まります。

取り込みを止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
HDV1080i/DV入力端子につないだときは、オプションメニューから[ダビング停止]を選び、《決定》ボタンを押します（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。

ちょっと一言

- 写真を取り込む場合でも、USB機器内にAVCHDフォーマットのビデオファイルが記録されているときには、ビデオファイルも同時に取り込まれます。

デジタルカメラなどから取り込む

ご注意

- HDV1080i/DV入力端子につないだ場合、HDV機器からHDVとDVの信号が出力可能な状態のときは、HDV信号を取り込みます。DV信号を取り込みたいときは、「USBケーブルやi.LINKケーブルで映像を取り込む」(70ページ)をご覧ください(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。
- 取り込まれたタイトルは、日付単位で分割されて本機に保存されます。

映像や写真を取り込む優先順位について

- 次の優先順位で映像や写真を取り込みます。
  ① HDV1080i/DV入力端子につないだデジタルカメラ*
  ② USB端子につないだUSB機器(デジタルカメラを含む)
  ③ メモリーカード*
  ④ ディスク

* 対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000。

- 8cm DVDで記録するデジタルカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。ディスクを本機に挿入して取り込んでください。

ハードディスクからBDやDVDを作る

☞次のページも参考にしてください。
- タイトルディスクダビングについて(52ページ)

取り込んだ映像や写真、x-ScrapBook、x-Pict Story HD作品をまとめて1枚のBDやDVDに書き出せます(思い出ディスクダビング)。以下はBDに書き出した場合の画面例です。

1 ディスクを本機に挿入する。

2 コピー方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

映像をコピーする場合
[ビデオ]>[ディスクダビング]>[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

写真をコピーする場合
[フォト]>[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクによっては、メニュー作成やディスク追記などを選ぶ画面が表示されます。画面にしたがって、操作してください。

3 タイトルやアルバムを選ぶ。

タイトルまたはアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。
選んだ順に番号が付きます。

例:ビデオ選択

1 **タイトル名、タイトルの種類、マークなど**
ダビングするタイトルを30個まで選べます。

2 **切り換え**
[ビデオ]/[アルバム]/[x-ScrapBook]でタイトルやアルバムの一覧を切り換えます。

3 **全選択**
選択可能なタイトルを、リストの上から順に30個まで選びます。

4 書き出しを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

BD-Jメニュー付きで書き出す場合は

BD-Jメニューの背景を選び、《決定》ボタンを押します。x-Pict Story HDで作成した映像を書き出す場合は、その映像を背景に指定できます。

名前を変更する場合は

[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。ディスクの名前を変更できます。

DVDに書き出す場合は

ファイナライズやDVDメニュー作成、ディスクの名前変更などの画面が表示されます。画面にしたがって操作してください。詳しくは、「ハードディスクからBDやDVDにコピーする」(52ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできる場合があります。

ご注意

- 写真やx-ScrapBookをDVDに書き出すときは、新品で未初期化のDVDを使用してください。DVD-RWの場合は初期化して書き出せますが、記録済みの内容は削除され、上書きされますのでご注意ください。
- 写真やx-ScrapBook、映像を混在してDVDに書き出すときは、DVD-R/DVD-RWのみ使用できます。
- メニュー付きBDに追記する場合は、本機で作成したディスクのみ利用できます。
- 1タイトルが12時間以上の映像タイトルや、選んだ映像タイトルの合計が12時間以上の場合は、書き出せません。その他、映像タイトルの制限事項について詳しくは、「ハードディスクからBDやDVDにコピーする」(52ページ)をご覧ください。
- BDへ書き出すときは、すでにBDに記録されている写真/x-ScrapBookやアルバムと、新たに書き出す写真/x-ScrapBookやアルバムの合計が、6,000個以下の場合に書き出せます。
- 書き出し先のディスクやアルバム内に同じ名前のファイルがある場合は、書き出したファイル名の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。
- DVDへ写真/x-ScrapBookを含む書き出しが終わると、自動的にディスクがファイナライズされ、追記できなくなります。BD-RE、BD-Rの場合は追記できます。
- x-ScrapBookを書き出すと、x-ScrapBook再生画面をページごとに静止画像として保存します。x-ScrapBookに取り込んだ元の写真や映像は保存されません。その場合は、別途、写真や映像を書き出してください。
- インターネットサービスからダウンロード中にBDやDVDに書き出すと、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

以下のことはできません

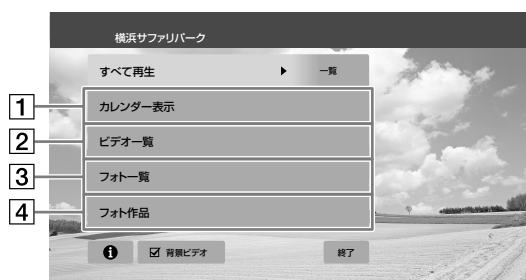
- 本機以外で作成した「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。
- 記録済みのDVDに写真やx-ScrapBookを追記すること。
- ファイナライズ済みのDVDに映像を追記すること。
- データディスク、およびビデオとデータのフォーマットが混在したディスクに追記すること。
- フォーマットが不明なDVDに追記すること(DVD-RWの場合は初期化して書き出せますが、記録済みの内容は削除され、上書きされますのでご注意ください)。

BD-Jメニュー付きディスクを再生する

思い出ディスクダビング(74ページ)でBD-Jメニュー付きでBDを作ると、映像や写真、x-ScrapBookなどを便利に再生できます。

1 BD-Jメニュー付きディスクを本機に挿入する。

2 再生する。

画面に従って操作してください。

1 **カレンダー表示**
ディスク内のコンテンツを、撮影した年月日で分類して表示します([フォト作品]のコンテンツを除く)。

2 **ビデオ一覧**
映像(x-Pict Story HDから作成した映像を除く)のみを表示します。

3 **フォト一覧**
写真のみを表示します。

4 **フォト作品**
本機のハードディスクから書き出したx-ScrapBookの静止画像とx-Pict Story HDから作成した映像のみを表示します。

ちょっと一言

- 再生メニュー画面からx-ScrapBookを再生中に、《ポップアップ／メニュー》ボタンを押して[テーマ変更]を選ぶと、x-ScrapBookのテーマを変更できます。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクの映像を取り込むには、ホームメニューの[ビデオ]からディスクアイコンを選び、オプションメニューから[HDDへダビング]を選びます(39ページ)。また、BD-Jメニュー付きディスクから写真を取り込むには、「写真を取り込む」(66ページ)をご覧ください。

ご注意

- 映像や写真に撮影日のデータが無い場合は、カレンダー表示画面には表示されません。その場合は、トップメニュー画面から[カレンダー表示]以外を選んで再生してください。

ワンタッチでデジタルカメラからBDを作る

ワンタッチディスクダビング機能のあるソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラを簡単にBDにダビングすることができます。ワンタッチディスクダビング機能がないときは、取り込んでから(70ページ)ダビングしてください。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 書き込み可能なBD-RE/BD-Rを本機に挿入する。

2 映像を取り込みたい機器を本機に接続し、電源を入れる。

デジタルハイビジョンビデオカメラをUSBケーブルを使って本機に接続します(113ページ)。

3 ダビングを開始する。

デジタルハイビジョンビデオカメラでワンタッチディスクダビングを始めます。

ちょっと一言

- ワンタッチディスクダビング中に本機を「切」にしても、ダビングは継続されます。
- ワンタッチディスクダビング後にデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影を追加した場合は、再度ワンタッチディスクダビングを行うと、追加した映像だけダビングされます。

ダビングを止めるには

[停止]を選び、《決定》ボタンを押します。
ダビングが止まるまでに数十秒かかることがあります。
ダビングを途中でやめると、ダビングしていた映像(タイトル)はディスクに残りません。また、BD-Rの場合はディスクの残量が減ります。

ご注意

- ダビングすると、日付ごとに場面をまとめたタイトルとして記録されます。各撮影場面はチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影場面の数が多い場合、ダビング時に複数のタイトルに分割される場合があります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで多数の編集点を追加した場合、ダビング時に編集点の一部が失われることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した映像をダビングすると、表示される録画モードが元の録画モードと異なる場合がありますが、画質は劣化しません。
- ダビング直後に開始するBDへの録画予約が実行されない場合があります。

以下のことはできません

- 最初にダビングするタイトルが、記録するディスクの残量よりも大きい場合にダビングすること。
- 未記録ディスクの容量よりも大きいタイトルをダビングすること。複数のタイトルをダビングする場合、そのタイトルはダビングされません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した字幕をBDに記録すること。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD方式以外の映像をダビングすること。

DVDをそのままコピーする

本機で記録したDVDやソニー製DVDデジタルビデオカメラで記録した8cm DVD、12cm DVDを、高速で簡単に12cm DVDにコピーできます(まるごとDVDコピー)。
他の機器で記録したDVDで本機能が動作しない場合は、タイトルダビングを行ってください。

1 コピーしたい映像が入っているDVDを本機に挿入する。

ファイナライズ済みのディスクを挿入してください。

2 読み込みを開始する。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>[ディスクダビング]>[まるごとDVDコピー]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 読み込み元のDVDを取り出し、書き込み先のDVDを本機に挿入する。

DVD-Rの場合は必ず未フォーマットのディスクをお使いください。

4 書き込みを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。
2枚目以上のDVDにコピーするには、[継続]を選んでください。

本機でコピーできるDVDについて

コピー元のディスクのフォーマットにより、読み込み(コピー元)や書き出し(コピー先)可能なディスクの種類が異なります。

ダビングした映像(タイトル)(ビデオモードまたはVRモードで記録)

読み込み可能なディスク:DVD-R、DVD-R DL(8cmのみ)、DVD-RW
書き出し可能なディスク:DVD-R、DVD-RW(DVD-RWから読み込んだ場合のみ)

デジタルカメラの映像(AVCHDまたは写真などのデータ)

読み込み可能なディスク:DVD-R、DVD-R DL(8cmのみ)、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL(8cmのみ)、DVD+RW
書き出し可能なディスク:DVD-R、DVD-RW

ご注意

- インターネットサービスからダウンロード中に「まるごとDVDコピー」を開始すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。
- コピー先のDVDがDVD-Rの場合、書き出しを途中で中止すると、そのディスクは使えなくなります。
- コピーするDVDのメディアの種類が異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります。

以下のことはできません

- DVD-R DL、DVD+R/+RW、DVD+R DL、DVD-RAMへコピーすること。

ビデオテープの映像を取り込む

☞次のページも参考にしてください。
- **[外部入力録画横縦比]で取り込む映像の縦横比を変更するには(86ページ)**

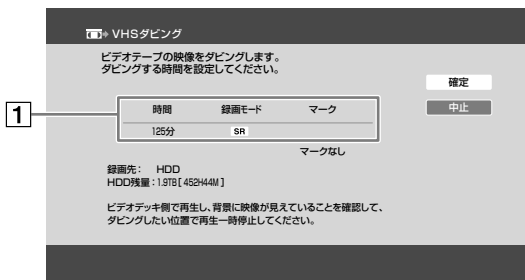
VHS、8ミリ、ベータなどのビデオテープに記録されている映像をビデオデッキを経由して本機のハードディスクに取り込むことができます。

1 ビデオデッキを本機に接続して電源を入れ、再生一時停止状態にする。

ビデオデッキなどをS映像ケーブルや映像ケーブルを使って本機に接続します(112ページ)。

2 取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞[VHSダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 各項目を設定する。

1 設定項目

項目	できること
時間	録画する時間を選びます。
録画モード	録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(144ページ)をご覧ください。
マーク	映像(タイトル)にマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

4 実行する。

[確定]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

5 ダビング開始のメッセージが表示されたら、ビデオデッキで再生を始める。

取り込みを止めるには

オプションメニューから[ダビング停止]を選び、《決定》ボタンを押します(78ページ)。

オプションボタンでできること

《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

オプション機能	できること
思い出ディスクダビング	本機に取り込んだ映像や写真、スクラップブックなどをディスクに書き出します(74ページ)。
回転(左)	写真ファイルを左回りに90度回転させます。
回転(右)	写真ファイルを右回りに90度回転させます。
画質設定	お好みの画質に調整します(38ページ)。
画質モード	お好みの画質モードに設定します(38ページ)。
コピー	アルバムや写真をコピーします。
1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします(66ページ)。
1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします(66ページ)。
選択コピー	選択した複数のアルバムまたは写真をコピーします。
再生	前回停止したところから再生します。
再生停止	再生を停止します。
削除	アルバムや写真、x-Pict Story HDのフォト作品を削除します(41ページ)。
1ファイル削除	1ファイルの写真を削除します(41ページ)。
選択削除	選択した複数の写真を削除します(41ページ)。
情報表示	アルバムや写真の情報を表示します。
初期化	BD-REのディスクを初期化します(55ページ)。
新規作成	x-Pict Story HDを作成します。
スライドショー	スライドショーで表示します(67ページ)。
スライドショーの速さ	スライドショー表示の速さ(速い／標準／遅い)を設定します。
選択モード	選択モードに切り換えます。
ダビング停止	ダビング実行中にダビングを停止します。
停止	スライドショーやx-ScrapBookの再生を停止します。
テーマ変更	壁紙のテーマを変更します(69ページ)。
名前変更	アルバムやx-Pict Story HDのフォト作品の名前を変更します。文字入力については139ページをご覧ください。
はじめから再生	タイトルを始めから再生します。
ビデオ解除	ビデオの参照を解除します。
表示	x-ScrapBookを表示します(69ページ)。

オプション機能		できること
表紙へ		表紙ページを表示します。
表示モード		
	ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
	ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[ノーマル]と同様に表示します。
ファイナライズ		DVDをファイナライズします(53ページ)。
ファイルサーチ		指定した写真ファイルを表示します。
プロテクト／プロテクト解除		ディスクの内容が誤って削除されないよう保護します(55ページ)。
ページサーチ		入力した番号のページを表示します。
ページモード		ページモードに切り換えます。
編集		x-ScrapBookを編集します(69ページ)。
	テーマ変更	壁紙のテーマを変更します。
	ビデオ選択解除	ビデオの参照を複数選択して解除します。
	ビデオ選択追加	x-ScrapBookにビデオを追加します。
ロック／ロック解除		ディスクをロックしたり、ロックを解除します(55ページ)。
BDクローズ		BD-Rを録画できないようにします(55ページ)。
BD情報		BDの情報を表示します(55ページ)。
DVD情報		DVDの情報を表示します(55ページ)。
HDD情報		ハードディスクの情報を表示します(55ページ)。
x-Pict Story作成		x-Pict Story HDを作成します(68ページ)。
x-ScrapBook再生		x-ScrapBookを再生します(69ページ)。

設定を変更する

本機の設定を変更する

設定画面でチャンネルや画質･音質などのさまざまな設定ができます。
お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

1 **ホームメニューから［設定］を選ぶ。**
《ホーム》ボタンを押し、［設定］を選びます。

2 **項目を選ぶ。**
設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

設定カテゴリー 機能一覧

アイコン	説明
	お問い合わせ(81ページ) 商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。
	使いかたを知りたい 本機で使える少し便利な機能を紹介します。
	お知らせ(81ページ) 本機や放送局からのお知らせメールなどをご確認いただけます。
	映像設定(81ページ) つないだ端子にあわせた映像設定などを行います。
	音声設定(83ページ) つないだ端子にあわせた音声設定などを行います。
	放送受信設定(84ページ) 受信設定やチャンネル設定などを行います。
	ビデオ設定(86ページ) 録画の詳細設定を行います。
	BD/DVD視聴設定(87ページ) BDやDVDを視聴するときの詳細設定を行います。
	おでかけ転送設定(87ページ) おでかけ転送のさまざまな設定ができます。
	フォト設定(88ページ) スライドショーの効果などを設定します。
	本体設定(89ページ) 本体全般の設定を行います。
	HDMI機器制御設定(90ページ) HDMI機器制御の設定ができます。
	年齢制限設定(90ページ) 暗証番号と制限レベルを設定します。
	通信設定(91ページ) ネットワークなど通信の詳細設定を行います。
	かんたん設定(92ページ) 基本的な設定を順に行います。
	設定初期化(93ページ) お買い上げ時の状態に戻します。

お問い合わせ

お問い合わせ
商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

お知らせ

メールはお客様自身で削除できません。

メール　放送メール
放送局からお客様へのお知らせのメールを見ることができます。受信してから14日以上経つと、まだ読んでいなくても(165ページ)自動的に削除されます。

メール　自己メール
予約や録画、ダビングの結果、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。30通を超えると、まだ読んでいなくても(165ページ)古いメールから自動的に削除されます。

ボード
110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。

ルートCA証明書
見たいルートCA証明書を選び、《決定》ボタンを押すと、詳細が表示されます。
選んだルートCA証明書を削除するには、［削除］を選び、《決定》ボタンを押します。

映像設定

映像出力設定
テレビをつないだ端子を選び、解像度を設定します。
接続を変更した際などにご利用ください。

テレビタイプ

16:9	画面サイズが16:9のテレビとつなぐときに選びます。
4:3	画面サイズが4:3のテレビとつなぐときに選びます。

画面モード

フル	画面いっぱいに表示したいときに選びます（放送や映像によっては、できない場合があります）。
ノーマル	映像の横縦比は維持したまま、映像サイズを変更します。

DVDワイド映像表示

レターボックス	画面サイズが4：3（［テレビタイプ］（81ページ）が［4：3］、［画面モード］（82ページ）が［ノーマル］）の場合に、16：9サイズのDVDを再生するとき、映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
パンスキャン	画面サイズが4：3の場合に、16：9サイズのDVDを再生するとき、映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

ご注意

- DVDによっては［レターボックス］または［パンスキャン］に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

映像入力

映像	映像の外部からの入力で、映像端子でつなぐときに選びます。
S映像	映像の外部からの入力で、S映像端子でつなぐときに選びます。

BD-ROM 3D出力

自動	通常はこの設定にします。HDMI出力端子に接続した機器が3Dに対応している場合に、3D映像の信号を出力します。
切	3D映像の信号を出力しません。

BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ

3D映像を効果的に再現するために、お使いのテレビのサイズを選びます。［テレビタイプ］を［16:9］に設定してください。

BD-ROM 1080/24p出力

自動	HDMI出力端子に接続した機器が1080/24pの映像信号に対応している場合に、1080/24pの映像信号を出力します。
切	1080/24pの映像信号を出力しません。

HDMI映像出力フォーマット

自動	通常はこの設定にします。
Y Cb Cr（4：2：2）	Y Cb Cr を 4：2：2 の比率で色変換を行います。
Y Cb Cr（4：4：4）	Y Cb Cr を 4：4：4 の比率で色変換を行います。
RGB（16-235）	出力信号を RGB 16 ～ 235 の範囲で色変換を行います。
RGB（0-255）	出力信号を RGB 0 ～ 255 の範囲で色変換を行います。

HDMI Deep Color出力

自動	HDMI出力端子からの映像信号Deep Color（色深度）を自動的に設定します。
切	映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。

BD-ROM専用画質モード

入	再生時の画質設定（38ページ）で、BD-ROMとそれ以外で別々に画質設定が可能になります。
切	再生時の画質設定は共通になります。

スーパービットマッピング

入	HDMI出力端子から出力される映像信号の階調をなめらかに表現できます。
切	映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。

シネマ変換モード

自動	通常はこの設定にします。ビデオ素材（テレビドラマやアニメーション）とフィルム素材（映画フィルム）の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。
ビデオ	ビデオ素材、フィルム素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

一時停止モード

自動	通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
フレーム	動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声設定

「音声設定と有効な出力端子について」（147ページ）も合わせてご覧ください。

音声出力設定

HDMI	HDMI出力端子から音声を聞く場合に最適な音声信号を出力します。
デジタル音声	デジタル音声出力端子から音声を聞く場合に最適な音声信号を出力します。
音声端子（赤・白）	音声出力 赤／白端子から音声を聞く場合に最適な音声信号を出力します。

ちょっと一言

- 選択した音声端子以外の音声出力端子からは、2チャンネルPCMで音声信号を出力します。

HDMI音声出力

自動	テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。
マルチチャンネルPCM	音声信号をマルチチャンネルのPCM信号に変換して出力します。
2チャンネルPCM	音声信号を常に2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。

ちょっと一言

- AVアンプ経由でドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD MA/HRを楽しむには、本設定を［自動］、［BD音声出力］（84ページ）を［ダイレクト］に設定してください。

ドルビーデジタル

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
ドルビーデジタル	デジタル音声出力端子にドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。

AAC

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にAACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
AAC	デジタル音声出力端子にAACデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。

DTS

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にDTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
DTS	デジタル音声出力端子にDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。

48kHz/96kHz PCM

48kHz/16bit	デジタル音声出力端子から96kHzPCMの音声を48kHz16bitで出力します。96kHzに対応していないアンプとつなぐときに選びます。
96kHz/24bit	デジタル音声出力端子から96kHzPCMの音声を96kHz24bitで出力します。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは、48kHz16bitで出力されます。

オーディオDRC（BD/DVDのみ）

自動	通常はこの設定にします。
スタンダード	［テレビ］と［ワイドレンジ］の中間の音になります。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。
ワイドレンジ	迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。

ご注意

- オーディオDRC機能のないBDやDVDを再生しているときは効果がありません。
- ［ドルビーデジタル］が［ドルビーデジタル］に設定されている場合（83ページ）、デジタル音声出力端子から出力される音声には効果ありません。ただし、BDの場合［BD音声出力］を［ミックス］に設定してある場合は除きます（84ページ）。

ダウンミックス

ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応しているオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。
ノーマル	ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかっていない音声信号を出力します。

ご注意

- ［ドルビーデジタル］が［ドルビーデジタル］に設定されている場合（83ページ）、デジタル音声出力端子から出力される音声には効果はありません。

BD音声出力

ダイレクト	セカンダリーオーディオ（映画の解説など）・インタラクティブオーディオ（効果音など）が含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずにプライマリオーディオのみを出力します。
ミックス	セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。

ちょっと一言

- HDMI出力端子からドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD MA/HRを楽しむには、本設定を［ダイレクト］、［HDMI音声出力］（83ページ）を［自動］に設定してください。

放送受信設定

地上デジタルチャンネル登録

＋／－選局	**必ず選局**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。［プリセット選局］が選ばれているときに設定されます。 **選局する**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。番組を共有しているチャンネルを［選局する］に設定しても、番組表に表示されないことがあります。 **選局しない**：《チャンネル＋／－》ボタンや番組表で選局できません。 ［全選局］を選ぶとすべてのチャンネルが［選局する］または［必ず選局］になり、［プリセット選局］は初期スキャンのときの状態に戻ります。［全選局解除］を選ぶと、［プリセット選局］の設定もすべて解除されます。
プリセット選局	リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。

地上デジタル自動チャンネル設定

初期スキャン	全チャンネルを再設定します。県域が変わった場合は[県域]を設定してから行ってください。
再スキャン	新しく受信できたチャンネルが追加されます。県域を変更した場合は選べません。

地上デジタル自動再スキャン

入	地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信時に、本機が自動的にチャンネルの再設定を行います。通常はこの設定にします。
切	チャンネルの再設定を自動で行いません。

地上デジタルアンテナレベル

チャンネルを選んで、地上デジタル放送の受信状態を確認できます。

地上デジタルアッテネーター

入	電波の送信元付近の地域などで、電波が強くて近隣チャンネルなどの干渉を受ける場合に選びます。
切	通常はこの設定にしてください。

BSデジタルチャンネル登録

+/-選局	**必ず選局**:《チャンネル+/-》ボタンで選局できます。[プリセット選局]が選ばれているときに設定されます。 **選局する**:《チャンネル+/-》ボタンで選局できます。番組を共有しているチャンネルを[選局する]に設定しても、番組表に表示されないことがあります。 **選局しない**:《チャンネル+/-》ボタンや番組表で選局できません。 [全選局]を選ぶとすべてのチャンネルが[選局する]または[必ず選局]になり、[プリセット選局]は初期設定に戻ります。[全選局解除]を選ぶと、[プリセット選局]の設定もすべて解除されます。
プリセット選局	リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。

CSデジタルチャンネル登録

+/-選局	**必ず選局**:《チャンネル+/-》ボタンで選局できます。[プリセット選局]が選ばれているときに設定されます。 **選局する**:《チャンネル+/-》ボタンで選局できます。番組を共有しているチャンネルを[選局する]に設定しても、番組表に表示されないことがあります。 **選局しない**:《チャンネル+/-》ボタンや番組表で選局できません。 [全選局]を選ぶとすべてのチャンネルが[選局する]または[必ず選局]になり、[プリセット選局]は初期設定に戻ります。[全選局解除]を選ぶと、[プリセット選局]の設定もすべて解除されます。
プリセット選局	リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。

BS/CSデジタルアンテナレベル

BS/110度CSデジタル放送の映像がテレビに映った状態で、必要に応じて[最大値]の数字がより大きくなるようにBS/110度CSアンテナを動かして固定します。

ちょっと一言

- 《BS》ボタン、《CS》ボタンを押して、BS/CSのアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

BS/CSデジタルアンテナ電源

自動	本機の電源を入れたときに、本機がBS/110度CSアンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。
切	電源を供給しません。

BS/CSデジタルアンテナ出力

入	本機の電源の入/切にかかわらず、つないだテレビなどにデジタルアンテナ信号を出力します。
切	本機の電源が切れているときは、デジタルアンテナ信号を出力しません。 BS/110度CSアンテナから本機を通してテレビなどにつないでいる場合は、本機の電源「切」時にテレビなどでBS/110度CSデジタル放送を受信できません。

デジタル放送地域設定

郵便番号	数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号7ケタを正しく入力します。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信してしまいます。
県域	お住まいの地域を選びます。

文字スーパー表示

切	文字スーパーを表示しません。 放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
第1言語	文字スーパー放送が行われているときに、第1言語の文字スーパーを表示します。
第2言語	文字スーパー放送が行われているときに、第2言語の文字スーパーを表示します。

ビデオ設定

自動チャプターマーク

入	録画時に、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。
切	録画時に、自動でチャプターを区切りません。

ちょっと一言

- 「スカパー！ HD」録画したタイトルは、おまかせチャプター機能は働きません。[入]では約6分間隔でチャプターを区切ります。

スポーツ延長対応

30分	延長時間の情報が番組表にない場合、30分延長します。
60分	延長時間を60分にします。
120分	延長時間を120分にします。
切	録画時間を延長しません。

番組追跡録画

入	番組放送の開始時刻や終了時刻が変更になったときに、録画時間を自動的に修正します。
切	録画時間を自動的に修正しません。

ダイジェスト設定

長め	ダイジェストをじっくり見たいときに設定します。
標準	標準的な長さのダイジェストで再生されます。
短め	短時間でダイジェストを再生したいときに設定します。

マーク名設定

マークをお好きな名前に変更できます。

二重音声記録

主音声	DRモード以外で録画やダビングするときに主音声で録音します。
副音声	DRモード以外で録画やダビングするときに副音声で録音します。

ちょっと一言

- DRモードでは、主音声、副音声とも録音されます。

外部入力録画横縦比

16:9	外部入力端子から録画やダビングするとき、画面サイズを16:9の横縦比にします。
4:3	画面サイズを4:3の横縦比にします。

DV入力録画横縦比

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000

16:9	HDV1080i/DV入力端子からの録画時の画面サイズを16:9の横縦比にします。
4:3	画面サイズを4:3の横縦比にします。

字幕焼きこみ

入	以下の場合に、DRモードで録画した字幕付きの番組に字幕を焼きこみます。焼きこんだ映像からは字幕を削除できません。 • DR以外のモードでダビングするとき • [高速転送録画](87ページ)を[切]にして、おでかけ転送時に転送用動画ファイルを作成したとき(対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)
切	字幕を焼きこみません。

ご注意

- 録画中におでかけ転送用動画ファイルを同時作成する場合、転送用動画ファイルに字幕は焼きこまれません。

BD/DVD視聴設定

BD/ DVDメニュー言語

言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(149ページ)を参照して、言語コードを入力します。

音声言語

オリジナル	ディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(149ページ)を参照して、言語コードを入力します。

字幕言語

言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(149ページ)を参照して、言語コードを入力します。

BDインターネット接続

許可する	BD-LIVE機能によるインターネット接続を許可します。
許可しない	BDからのインターネット接続を許可しません。

おでかけ転送設定

おでかけ転送機器

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

ウォークマン／nav-u	録画時に、"ウォークマン"や"nav-u"へ転送できるファイルを作成します。AVC Baseline Profile形式で作成されます。
PSP	録画時に、PSP®へ転送できるファイルを作成します。AVC Main Profile形式で作成されます。
携帯電話	録画時に、携帯電話へ転送できるファイルを作成します。AVC Baseline Profile形式で作成されます。

高速転送録画

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

入	録画時に、おでかけ転送用動画ファイルを自動的に作成します。
切	おでかけ転送用動画ファイルを自動的に作成しません。 録画予約設定画面の[ワンタッチ転送](18ページ)で[する]を選ぶと作成します。

録画モード

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

自動	録画時の録画モードに合った画質を自動で調整し、おでかけ転送用動画ファイルを作成します。 **[PSP]設定の場合は** DR/XR/XSRモード:VGA1.0M、 SR/LSRモード:QVGA768k、 LR/ERモード:QVGA384k **[ウォークマン/nav-u]／[携帯電話]設定の場合は** DR/XR/XSR/SR/LSRモード:QVGA768k、 LR/ERモード:QVGA384k
VGA2.0M	約30万画素の最高画質で作成します。対応機種が限られ、ファイルサイズは大きくなります。また、およそ4時間30分を超える映像の作成はできません。
VGA1.0M	約30万画素の高画質で作成します。
QVGA768k	約7.5万画素の高画質で作成します。
QVGA384k	約7.5万画素の画質で作成します。データサイズを抑えた画質ですが、ほとんどの機種が対応します。

ちょっと一言

- お使いの機器によっては対応していない録画モードがあります。対応していない録画モードを設定して転送した場合は、画面のメッセージにしたがってモードを変更してください。

再生位置同期

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

入	お使いの転送先機器によっては、再生したタイトルをおでかけ／おかえり転送すると、前回再生を停止した位置から再生を開始します。転送時に、本機と転送先機器に同じタイトルが存在するときは、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。
切	再生位置は同期されません。つづき再生の再生位置は本機と転送先機器で、それぞれ別の位置になります。

ワンタッチ転送 更新転送

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

切	更新転送を行いません。ワンタッチ転送をすると、対象タイトルを録画日の古いものから順番に転送します。
最新3日間分	ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）を最新3日間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは削除またはおかえり転送されます。
最新1週間分	ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）を最新1週間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは削除またはおかえり転送されます。
最新2週間分	ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）を最新2週間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは削除またはおかえり転送されます。
おまかせ更新	ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）を各転送先機器での再生状況や本機のおでかけ転送の使用状況からお客様の好みを学習して選び、これに合わせて転送先を更新します。再生済みと本機に認識されたタイトルなどは自動でおかえり転送されます。対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。 http://www.sony.jp/support/bd/

フォト設定

表示モード

ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[ノーマル]と同様に表示します。

スライドショーの速さ

速い	[標準]より速い再生速度です。
標準	基本の再生速度です。
遅い	[標準]より遅い再生速度です。

スライドショーの効果

入	効果を付けて次の写真に切り換わります。
切	効果を付けずに、スライドショーを再生します。

x-Pict Story HD 日時情報表示

入	フォト作品の効果として日時情報を表示します。
切	フォト作品の効果として日時情報を表示しません。

サンプル表示

入	ホームメニューの[フォト]の列にサンプルアルバムを表示します。
切	ホームメニューの[フォト]の列にサンプルアルバムを表示しません。

本体設定

現在時刻／時刻設定

地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定を行います。

本体表示の明るさ

明	表示窓とランプは明るく点灯します。
暗	表示窓とランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。
消灯	電源「入」時に表示窓が暗く点灯します。ただし、映像や写真の再生時には表示窓は消灯します。ランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。

自動画面表示

入	番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示できます。
切	画面表示を自動で表示しません。

スタンバイモード

瞬間起動	最大1日6時間の時間帯限定で、すぐに起動できる待機状態にします。起動後は、すばやくチャンネル切り換えや入力切り換えなどができます。 さらに、電源「切」のときでもUSB端子からUSB機器を充電できます。 **学習**：よく使う時間帯を本機が自動的に選びます。学習効果が反映されるのに1週間程度かかります。 **時間帯**：すぐに起動したい時間帯を2時間ごとに最大6時間まで手動で設定できます。
標準	お買い上げ時に設定されているモードです。
低消費待機	待機状態のときの消費電力を抑えます。リモート録画予約やHDMI機器制御の高速連動はできません。

ご注意

- ［瞬間起動］で、すぐに起動できる待機状態のときはファンが回ることがあります。また、本機内のハードディスクが動作することもありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- ［瞬間起動］に設定した場合、［標準］よりも消費電力は増加します。

自動電源オフ

入	操作しない状態が3時間つづくと、自動で待機状態になります。
切	自動で待機状態になりません。

HDMI AV独立ピュア出力

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000

使用する	HDMI AV独立ピュア出力機能を使用します。
使用しない	HDMI AV独立ピュア出力機能を使用しません。

リモコンモード

「本機のリモコンモードを変更する」（99ページ）をご覧ください。

ソフトウェアアップデート

自動	デジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを受信し、自動的に本機のソフトウェアを更新します。
切	アップデートデータを自動で更新しません。

カード情報

カードID番号などを表示します。カードを本体から取り出さなくても、カードID番号を確かめることができます。

本体情報

本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

HDMI機器制御設定

HDMI機器制御

入	ブラビアリンクを使うときに選びます。
切	ブラビアリンクを使わないときに選びます。

高速連動

入	本機の電源が「切」のとき、テレビの電源を「入」にすると、本機が起動待機状態になります。テレビの電源を「切」にすると、本機の起動待機状態は解除されます。
切	本機の電源が「切」のとき、テレビの電源を「入」にしても本機は起動待機状態になりません。

ちょっと一言

- [スタンバイモード](89ページ)が[低消費待機]の場合、[高速連動]を[入]にすると、[スタンバイモード]は自動的に[標準]に設定されます。

ご注意

- 起動待機状態では、電源が入っている状態と同等の消費電力になり、同時にファンが回り続けます。

レコーダー→テレビ電源連動

入	本機の電源を入れると、テレビの電源も「入」になり、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。
切	本機の電源を入れると、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。

ちょっと一言

- [HDMI機器制御]を[入]にすると[レコーダー→テレビ電源連動]も自動的に[入]になります。

年齢制限設定

暗証番号設定

視聴制限のある番組やタイトルの場合に、視聴や再生を制限できます。

暗証番号を変更するには

[暗証番号設定]を選んだときに表示される画面で現在の暗証番号を入力し、その後で新しい暗証番号を入力します。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは

[設定初期化]＞[お買い上げ時の状態に設定]＞[年齢制限設定]＞[はい]を選ぶと以前の暗証番号が削除されます(93ページ)。

BS/CSデジタル 視聴年齢制限

視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、[暗証番号設定](90ページ)で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

BD視聴年齢制限

BD-ROMには、見る人の年齢によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えて再生します。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。[年齢指定]を選ぶと、0歳から255歳までの年齢を入力できます。

DVD視聴年齢制限

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えて再生します。レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

HDDタイトル視聴年齢制限

インターネットサービスからダウンロードしたり「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトルを、見る人の年齢によって、再生などができないように制限できます。タイトルの制限レベルによって、制限方法が異なります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。
視聴年齢制限を一時的に解除するには、タイトルリストに表示されているタイトルを選び、オプションメニューから[視聴制限一時解除]（39ページ）を選びます。

- 20歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 19歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で[19歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 18歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で[19歳]や[18歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 上記以外の制限付きタイトルの場合
  タイトルリストなどには表示されますが、本機の設定年齢以上の制限付きタイトルは、暗証番号を入力しないと再生、ダビング、おでかけ転送*などができません。
- 制限のないタイトルの場合
  本機で視聴年齢制限を設定しても、制限できません。

* 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。

インターネットサービス利用制限

入	暗証番号（90ページ）を入力しないと、インターネットサービスのページが表示できなくなります。
切	暗証番号による制限を行いません。

通信設定

データ放送通信設定

セキュリティサイト自動接続	入：確認ダイアログを表示しないで、セキュリティサイト接続や、セキュリティサイトから移動します。 切：セキュリティサイト接続の確認ダイアログを表示します。
証明書のダウンロード確認	入：放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 切：確認ダイアログを表示しません。
証明書の自動ダウンロード	入：[証明書のダウンロード確認]が[切]の場合に、放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 切：自動ダウンロードしません。

ネットワーク設定

IPアドレス設定	自動取得：ルーターやプロバイダーのDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。通常は、こちらの設定にしておくことで、ネットワーク設定が行われます。 手動：ルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。次の項目にプロバイダー指定の値を手動で入力してください。 • IPアドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • DNS設定*1 • プライマリDNS ／セカンダリDNS*2 *1 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。 *2 [DNS設定]を[切]にすると、プライマリDNSとセカンダリDNSのアドレスを手動で設定できます。この場合、必ずプライマリDNSは入力してください。入力しない場合ネットワークが正しく設定されません。
プロキシサーバー設定	プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときに設定します。
ネットワーク接続診断	ネットワークが正しく接続されているか診断します。

ご注意

- LAN ケーブルを別のネットワークに切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、切り換えたときは[ネットワーク接続診断]を行ってください。

リモート機器設定

リモート機器登録	リモート録画予約で利用する携帯電話やパソコンを本機に登録します。登録パスワードの入力方法には、携帯電話の赤外線を利用した入力(携帯電話の赤外線発光部を本機のリモコン受光部に向けて発信する)と、本機の画面を見ながらリモコンのボタン操作により入力する方法とがあります。 登録パスワードは携帯電話やパソコンからアクセスしたサービス事業者の画面に表示されます。詳しくは、リモート録画予約サービス事業者にご確認ください(132ページ)。
登録リモート機器一覧	本機に登録されている携帯電話やパソコンを一覧で確認できます。登録した携帯電話やパソコンの削除なども行えます。

ちょっと一言

- [スタンバイモード] が[低消費待機]の場合、リモート機器登録すると、[スタンバイモード]は自動的に[標準]に設定されます。

ホームサーバー設定

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

サーバー機能	**入**:本機のホームサーバー機能を有効にします。 **切**:本機のホームサーバー機能を無効にします。
サーバー名	本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。
クライアント機器登録方法	クライアント機器とは、本機のホームサーバー機能を利用して、ネットワーク経由で映像を再生したり本機に録画や予約できる機器のことです。本機にクライアント機器が登録されていないと、ホームサーバー機能を利用できません。 **自動**:本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。[未登録機器一覧]に表示されているホームサーバー機能対応機器があるときは、[自動]を選ぶと、[未登録機器一覧]で表示されている未登録機器を削除できます。 **手動**:本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。
登録機器一覧	本機に登録されているクライアント機器を一覧で表示します。機器の詳細を確認したり機器を一覧から削除したりできます。
未登録機器一覧	本機に登録されていないホームネットワーク上のホームサーバー機能対応機器を一覧で表示し、本機のクライアント機器として登録できます。機器の詳細を確認したり機器を一覧から削除したりできます。

かんたん設定

かんたん初期設定

本機を使用するうえで必要な設定です。引越しやテレビの買い替え時などに再設定します。

かんたん機能設定

My !番組表、おでかけ転送する機器*、おでかけ転送 高速転送録画*、瞬間起動の設定、モニター別画質設定を行います。

* 対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。

設定初期化

お買い上げ時の状態に設定

設定ごとに、お買い上げ時の設定に戻すことができます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

学習情報の初期化

おまかせ･まる録や、おでかけ転送などで本機が学習した情報を初期化します。

個人情報の初期化

本機を廃棄したり譲渡したりするときは、次の個人情報などのデータを本機から削除することを強くおすすめします。

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 視聴年齢制限レベルと暗証番号
- 語句登録した単語
- キーワード履歴
- 検索履歴
- メール
- すべてのルートCA証明書
- インターネットサービスに機器を登録した際に発行される機器登録（識別）情報など

暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が表示されます。

ご注意

- 個人情報などの登録･設定データは項目ごとに削除できません。一度初期化すると、すべての登録･設定データが削除されます。
- ［通信設定］（91ページ）で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、［放送受信設定］（84ページ）で入力した県域、郵便番号などの情報は、削除されません。［お買い上げ時の状態に設定］（93ページ）でそれぞれの設定を選んで削除してください。

HDD初期化

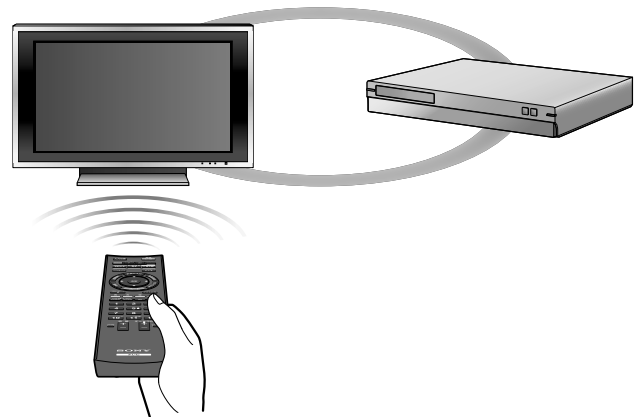
ハードディスクを初期化します。初期化すると以下が削除され、元に戻すことができません。

- 録画したタイトル
- 写真
- x-Pict Story HDで作成したフォト作品と映像
- x-ScrapBook作品
- BONUSVIEWやBD-LIVEで使用するBDデータ（ローカルストレージ）（32ページ）
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル

ブラビアリンクを設定する

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- **本機とテレビをHDMIケーブルでつなぐ（104ページ）。**
- **HDMI機器制御を設定する（90ページ）。**

「ブラビアリンク」は、HDMIケーブルでさまざまな機器をつなぎ、＜ブラビア＞のリモコンで簡単操作ができます。見るボタンや予約するボタンを押すだけで、本機の再生方法選択画面や録画予約方法選択画面を表示できます。見て録ボタンを押せば、テレビで見ている番組を本機で録画します。

ブラビアリンクに対応している機器

リンクメニュー対応

左のロゴが表記されている機器で、ブラビアリンクを使えます。

このロゴが表記されていても、2009年以前に発売の一部の＜ブラビア＞のマルチリモコンの組み合わせでは、「見る」「見て録」「予約する」ボタンはご利用いただけないことがあります。本機付属のリモコンを使って操作してください。

ブラビアリンク対応機器や接続･設定について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

ちょっと一言

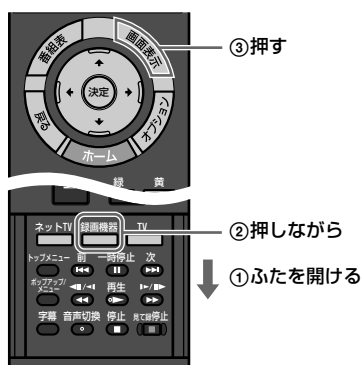
- 本機、＜ブラビア＞およびシアタースタンドシステムを組み合わせてつなぐと、より迫力のあるサラウンド音声を楽しめます。
- 接続する機器側の設定については、その取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。
- ブラビアリンクに対応した他社製品については、その取扱説明書をご覧ください。

テレビに付属のリモコンに本機の登録が必要な場合

以下の機種をお使いのときは次の手順でテレビのリモコンに本機を登録してください。
＜ブラビア＞KDL-32J5 / 26J5 / 22J5 / 19J5 / 26J1 / 20J1 / 46V3000 / 40V3000

1 テレビのリモコンのふたを開け(①)、録画機器ボタンを先に押しながら(②)、画面表示ボタンを押して(③)、登録を開始する。

2 本機の本体側で設定したリモコンモードに対応する、テレビのリモコンのリモコンモード(3桁)を数字ボタンを使って入力する。

本機の本体側のリモコンモード	手順2で入力するテレビのリモコンのリモコンモード
BD1	101
BD2	102
BD3(お買い上げ時の設定)	103

本機のリモコンモードを変更していないときは「103」を入力してください。
「103」と入力するときは、数字ボタンの「1」、「10」、「3」を順番に押してください。
リモコンモードの入力が完了すると、テレビのリモコンの録画機器ボタンが点灯します。

3 決定ボタンを押して、録画機器ボタンに本機を登録する。

登録されたときは、録画機器ボタンが2回点滅して消灯します。
登録されなかったときは、録画機器ボタンが5回点滅します。手順1からもう一度やり直してください。

ちょっと一言

- テレビのリモコンの使いかたについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- リモコンの登録がうまくいかない場合は、[HDMI機器制御]の設定が[入]になっているか(90ページ)ご確認ください。[切]にすると、ブラビアリンクやテレビに付属のリモコンが利用できなくなります。
- テレビのリモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定した内容や登録したリモコンモードが消えることがあります。その場合は、もう一度設定し直してください。

以下のことはできません

- ＜ブラビア＞に付属しているRFマークの付いたリモコンに本機を登録すること。

かんたんに操作する

本機で以下の操作をすると、自動的にテレビの電源が入り本機の映像に切り換わります。

- 《電源》ボタン
- 《ホーム》ボタン
- ►《再生》ボタン
- 《番組表》ボタン
- 《らくらくスタート》ボタン
- 《My ！番組表》ボタン

またテレビのリモコンで下記の操作ができます。

ボタン	できること
見る	テレビの入力が切り換わり、本機に録画したタイトルを再生できます。
予約する	テレビの入力が切り換わり、本機で録画予約できます。
見て録	テレビで見ている番組を本機で録画できます。

ちょっと一言

- 使用できるリモコンのボタンについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 「見て録」開始時に本機のハードディスクの残量を算出します。ハードディスクの残量が不足しているときは「見て録」を開始できません。ハードディスクに録画したタイトルを削除してください。
- 「見て録」中に番組情報が変更されても、番組を追跡することはできません。
- 「見て録」を開始した時点で、番組の残り時間が3分以下の場合は、「見て録」の終了時間は次の番組の終了時間になります。
- 本機の以下の機能を利用しているとき「見て録」を行うと、利用中の機能は停止します。
  - まるごとDVDコピーの読み込み
  - タイトルの再生
  - タイトルの編集

以下のことはできません

- 「見て録」を利用して以下の放送や番組を録画すること。
  - 地上アナログ放送
  - デジタル放送のラジオ放送
  - データ放送
  - コピー制御信号により録画できない番組
  - 本機で受信できない番組
  - 未購入の番組
  - 視聴年齢制限を越えた番組
- 番組情報が取得できない場合に「見て録」を利用すること。アンテナの接続を確認してください。
- 本機の以下の機能を利用しているときに「見て録」を利用すること。
  - 2番組同時録画（BDZ-AT300Sでは録画）
  - ダビング
  - おでかけ／おかえり転送*[1]
  - HDV/DVダビング*[2]
  - x-Pict Story HD作成
  - 思い出ディスクダビング
  - まるごとDVDコピーの書き込み
  - HDMI AV独立ピュア出力機能の利用時*[2]

*[1] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。
*[2] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。

その他ブラビアリンクでできること

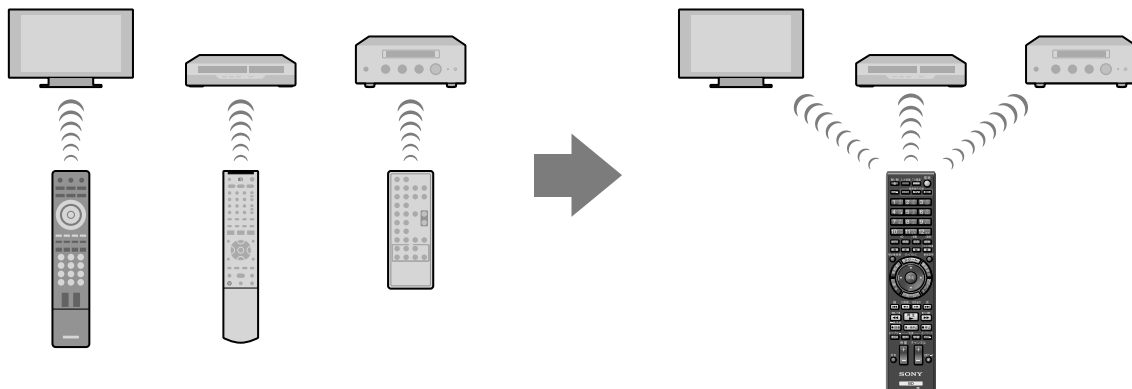
- ＜ブラビア＞のホームメニューの外部入力から本機を選ぶと本機の電源が入り、テレビの入力が切り換わります。
- テレビCH設定連動機能に対応した＜ブラビア＞をつないでいる場合、かんたん設定をするとテレビのチャンネル設定をそのまま本機のチャンネル設定に反映できます。「BRAVIAチャンネル設定連動についてのご注意」（95ページ）をご覧ください。
- オートジャンルセレクター機能に対応したAVアンプをつないでいる場合、最適なサウンドフィールドを自動的に選びます。詳しくはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- ＜ブラビア＞につないでいる場合、テレビの電源状態に同期して本機の起動時間を短縮することができます。詳しくは［高速連動］（90ページ）をご覧ください。
- シーンセレクトに対応した＜ブラビア＞をつないでいる場合は、最適な画質を自動的に選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- ＜ブラビア＞の一部の機種では、テレビの番組表から録画予約することができます。

BRAVIAチャンネル設定連動についてのご注意

- 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、HDMI出力を連動する＜ブラビア＞側に合わせてください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。
- BRAVIAチャンネル設定連動を行った後に＜ブラビア＞で設定を変更した場合、変更した内容は本機に反映されません。
- 本機と＜ブラビア＞を、AVアンプやセレクターを経由してつないだ場合、AVアンプやセレクターの機種や状態によっては、BRAVIAチャンネル設定連動が働かない場合があります。詳しくはAVアンプやセレクターの取扱説明書をご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動は、本機の自動チャンネル設定で検出されたチャンネル情報を＜ブラビア＞のチャンネル情報を使って最適化する機能です。このため、＜ブラビア＞と本機で受信状況が異なる場合は、設定されるチャンネルが異なることがあります。
- 本機の［プリセット選局］で登録したチャンネルは、［＋／－選局］の設定が［必ず選局］になります。詳しくは、「放送受信設定」（84ページ）をご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動対応の＜ブラビア＞について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/bravialink/

本機のリモコンの設定を変更する

テレビや「スカパー！ HD」対応チューナーなどを操作する

本機のリモコンの機器操作切換ボタンを使うと、リモコンの設定が変更され、本機のリモコンでテレビやAVアンプなどの他機器を操作できるようになります。

1 《STB》ボタンまたは《TV》ボタンのうち、操作したい機器が登録されているボタンを押す。

リモコンが他機器モードに切り換わります。

お買い上げ時は、《STB》ボタン、《TV》ボタンに以下の機器が登録されています。

ボタン	お買い上げ時の設定	登録できる機器
STB	701	各社の「スカパー！ HD」対応チューナー／ビデオ機器やその他のソニー製機器（98ページ）、ソニー製BD機器（100ページ）
TV	901	各社のテレビ（97ページ）

機器操作切換ボタンには各ボタンに1台ずつ、さまざまなメーカーの機器を登録することができます（97 ～ 100ページ）。

2 選んだ機器操作切換ボタンが点灯している間に、他機器を操作する。

機器操作切換ボタンは、30秒間点灯します。

ご注意

- 本機のリモコンで他機器の基本的な操作ができますが、機器によっては操作できないことがあります。その場合は他機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が他機器にない場合は、そのボタンでは操作できません。

自動でBDモードに戻らないようにするには

次の設定を行うと、機器操作切換ボタンで選んだ機器の設定に固定することができます。

1 《TV電源》ボタンを押しながら、《音量－》ボタン、《チャンネル－》ボタンの順番で3つのボタンを同時に押す。

3つの機器操作切換ボタンがすべて点灯します。手を離してボタンが消灯すると設定が完了します。
もう一度上記手順を行うと、《BD》ボタンのみ点灯し、30秒後に自動的にBDモードに戻るように設定されます。

テレビや「スカパー！ HD」対応チューナーの操作に利用できる主なボタン

登録した機器のリモコンにないボタンは利用できません。機種によっては同じボタンがあっても操作できないことがあります。

ボタン	<ブラビア>	他社製デジタルテレビ*	左記以外のテレビ	「スカパー！ HD」対応チューナー
入力切換	○	○	○	×
TV電源	○	○	○	×
電源	○	○	○	○
数字ボタン	○	○	×	○
連動データ	○	○	×	○
番組説明	○	×	×	○
放送切換（地上デジタル／ BSデジタル／ 110度CSデジタル）	○	○	×	○
カラーボタン	○	○	×	○
番組表	○	○	×	○
画面表示	○	×	×	○
戻る	○	○	×	○
オプション	○	×	×	○
ホーム	○	○	×	○
↑↓←→ ／決定	○	○	×	○
音量＋／－	○	○	○	×
チャンネル＋／－	○	○	○	○
音声切換	○	○	×	○
字幕切換	○	○	×	○
消音	○	○	×	×

* メーカー番号が902/903/904/905/906/907/908/909のテレビのみ（97ページ）。

テレビを登録するには

1 《TV》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンから指を離すと《TV》ボタンが点滅します。

2 《TV》ボタンが点滅している間に、登録したいテレビのメーカー番号（3桁）を押す。

メーカー	メーカー番号
ソニー	901*　910
パナソニック	902　912
シャープ	903　916　917
東芝	904　905
日立	906
三菱	907
パイオニア	908　909
アイワ	911
ビクター	913
サンヨー	914　915
NEC	918
富士通ゼネラル	919
フナイ	920
三星電子（SAMSUNG）	921　922

* 《TV》ボタンのお買い上げ時の設定です。

3 《決定》ボタンを押す。

機器操作切換ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

操作方法については、96ページをご覧ください。

AV機器を登録するには

1 《STB》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンから指を離すと《STB》ボタンが点滅します。

2 《STB》ボタンが点滅している間に、登録したいAV機器の登録番号（3桁）を押す。

ソニー製AV機器の場合

機器	登録番号			
DVDレコーダー／プレーヤー	101*	102	103	
HDDレコーダー	301 308	302	303	304
フォトストレージ	351			
ホームシアターシステム	601	602	603	604
AVアンプ	651	652	653	
デジタルCSチューナー	701	702	703	704
PSX	801	802	803	

* DVDプレーヤーは「101」に設定してください。

「スカパー！ HD」対応チューナーの場合

メーカー	メーカー番号		
ソニー（DST-HD1）	701*	702	
スカパー！ブランドチューナー（SP-HR200H）	705	706	707

* 《STB》ボタンのお買い上げ時の設定です。

ビデオデッキの場合

メーカー	メーカー番号			
ソニー	001 005	002 006	003 201*	004
アイワ	037 049	038	039	040
パナソニック	010* 014	011*	012*	013
東芝	015*	016*	017	018
日立	019	020	021	022*
三菱	023*	024*	025	026
ビクター	027* 031	028* 032	029*	030*
サンヨー	033*	034	035	036
シャープ	041*	042	043	
NEC	045	046	047	048
フナイ	044*			

* DVD一体型ビデオ

3 《決定》ボタンを押す。

機器操作切換ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

操作方法については、96ページをご覧ください。

ちょっと一言

- メーカー番号901のソニー製テレビには、🅁マークが付いています。

ご注意

- メーカー番号や登録番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。メーカーの記載がない場合は使用できません。
- 10秒以内に次の操作を始めなかったときは、手順1からやり直してください。
- アイワのメーカー番号を設定しても操作できないときは、ソニーのメーカー番号で登録してください。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーを登録するときは、あらかじめチューナー側のリモコンモードをお買い上げ時の設定に戻してから行ってください。

テレビやAVアンプの音量だけを操作する

テレビの音量を調節するには

テレビを登録しておくと（97ページ）、BDモードのままでテレビの音量を調節できるように設定できます。

1 《BD》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンから指を離すと《BD》ボタンが点滅します。

2 《BD》ボタンが点滅している間に、本機に設定されているリモコンモードに対応する登録番号（3桁）を押す。

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3*	503

* お買い上げ時の設定です（99ページ）。

3 《決定》ボタンを押す。

機器操作切換ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

AVアンプの音量を調節するには

BDモードのままでAVアンプの音量を調節できるように設定できます。

1 《BD》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンから指を離すと《BD》ボタンが点滅します。

2 《BD》ボタンが点滅している間に、本機に設定されているリモコンモードに対応するメーカー番号（3桁）を押す。

リモコンモードを「BD3」に設定している場合*

メーカー	メーカー番号			
ソニー	551	552	553	554
オンキョー	555	556	557	
デノン	558	559	560	
サンスイ	561			
ケンウッド	562	563		
ヤマハ	564	565	566	
パナソニック	567	568		
パイオニア	569			

* お買い上げ時の設定です。

リモコンモードを変更したとき（99ページ）は、それぞれに対応するメーカー番号を設定してください。

リモコンモードを「BD1」に設定している場合

メーカー	メーカー番号			
ソニー	511	512	513	514
オンキョー	515	516	517	
デノン	518	519	520	
サンスイ	521			
ケンウッド	522	523		
ヤマハ	524	525	526	
パナソニック	527	528		
パイオニア	529			

リモコンモードを「BD2」に設定している場合

メーカー	メーカー番号			
ソニー	531	532	533	534
オンキョー	535	536	537	
デノン	538	539	540	
サンスイ	541			
ケンウッド	542	543		
ヤマハ	544	545	546	
パナソニック	547	548		
パイオニア	549			

3 《決定》ボタンを押す。

機器操作切換ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

ちょっと一言

- AVアンプの登録をリセットするには、「テレビの音量を調節するには」（98ページ）を行ってください。

ご注意

- 音声を出力する機器に対して設定を行ってください。

本機のリモコンモードを変更する

1 本体側のリモコンモードを変更する。

《ホーム》ボタンを押します。
[設定]＞[本体設定]＞[リモコンモード]を選び、《決定》ボタンを押します。
[リモコンモード]から設定したいリモコンモードを選びます。

2 リモコン側のリモコンモードを変更する。

画面に従い、《BD》ボタンを押しながら《画面表示》ボタンを押します。
《BD》ボタンが点滅している間に、登録番号を入力して《決定》ボタンを押します。

「501」を入力するときは、数字ボタンの《5》ボタン、《10》ボタン、《1》ボタンを順に押します。本体側に設定したリモコンモードに対応する数字を入力してください。

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3*	503

* お買い上げ時の設定です。

登録が完了すると《BD》ボタンが2回点滅します。登録できなかったときは5回すばやく点滅します。

ちょっと一言

- 《BD》ボタンのほかに、《STB》ボタンへの設定もできます（100ページ）。

ご注意

- 登録番号を入力してから10秒以内に《決定》ボタンを押さなかったときは、もう一度手順2を行ってください。

本体側とリモコン側のリモコンモードの設定が異なるときは

本機の表示窓に本体側のリモコンモードが次のように表示されます。

BD3

この場合は、「本機のリモコンモードを変更する」（99ページ）の手順2を行い、リモコン側のリモコンモードを表示窓に合わせて変更してください。

本体側のリモコンモードを誤って設定したときは

本体側のリモコンモードのみ変更すると、リモコンで本機を操作できなくなります。
この場合は、「本機のリモコンモードを変更する」（99ページ）の手順2を行い、リモコン側のリモコンモードを本体側のリモコンモードに合わせてください。

リモコン側のリモコンモードをお買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの《STB》ボタンや《TV》ボタンなどに登録した設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

1 d《連動データ》ボタンを押しながら、《TV電源》ボタン、《決定》ボタンの順番で3つのボタンを同時に押す。

3つの機器操作切換ボタンがすべて点灯します。
手を離してランプが消灯すると、リモコン側のリモコンモードが「BD3」に戻ります。

複数のソニー製BD機器を操作する

《STB》ボタンにも、ソニー製BD機器を登録できます。
登録する機器とリモコン側のリモコンモードは必ず同じモードを選んでください。

1 リモコン側のリモコンモードを変更する。

《STB》ボタンを押しながら《画面表示》ボタンを押します。
《STB》ボタンが点滅している間に、登録番号を入力して《決定》ボタンを押します。

「501」を入力するときは、数字ボタンの《5》ボタン、《10》ボタン、《1》ボタンを順に押します。本体側に設定したリモコンモードに対応する数字を入力してください。

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3	503

登録が完了すると《STB》ボタンが2回点滅します。登録できなかったときは5回すばやく点滅します。

ちょっと一言

- お使いのソニー製BD機器のリモコンモード変更方法については、ソニー製BD機器の取扱説明書をご覧ください。

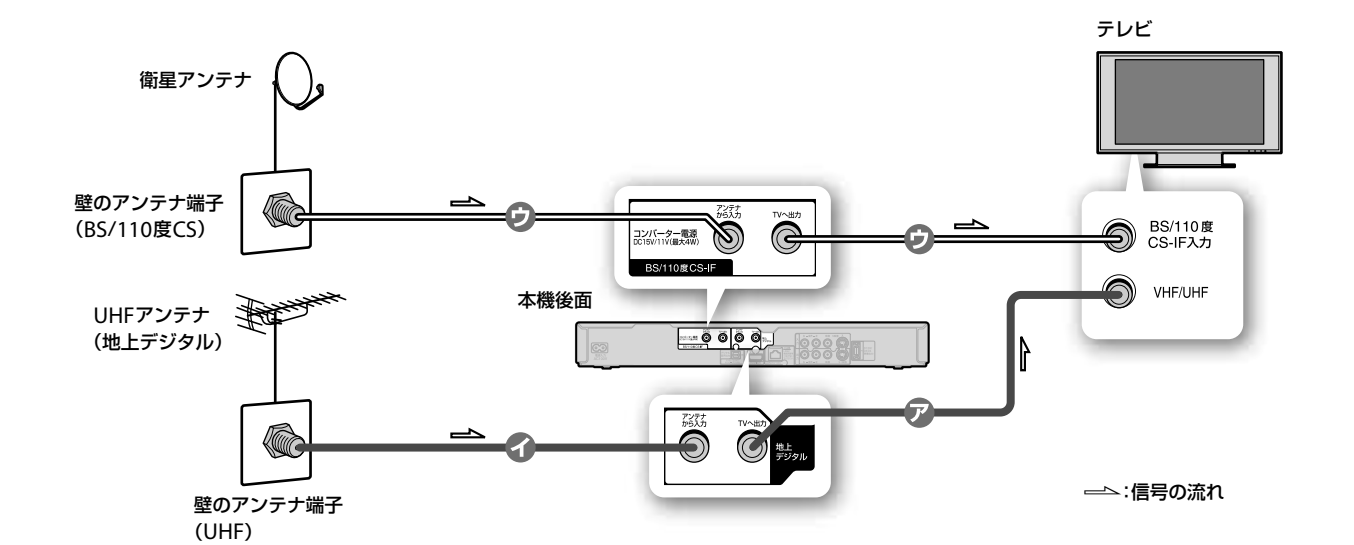
ご注意

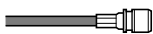
- 登録番号を入力してから10秒以内に《決定》ボタンを押さなかったときは、もう一度手順1を行ってください。

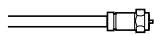
接続する

アンテナをつなぐ

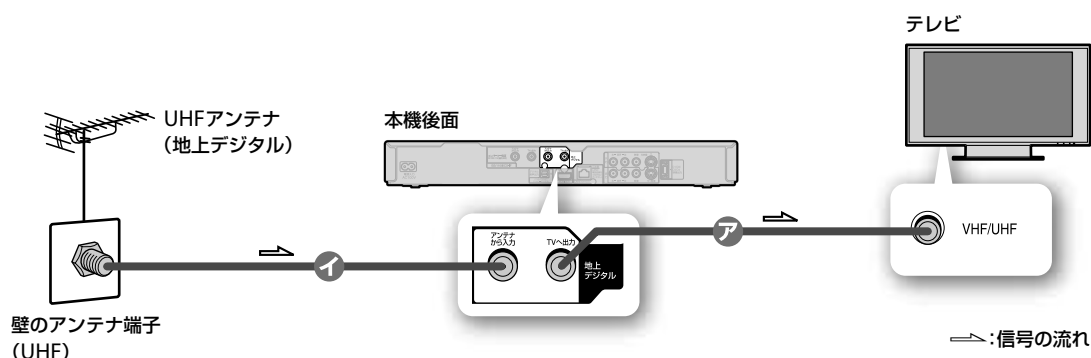
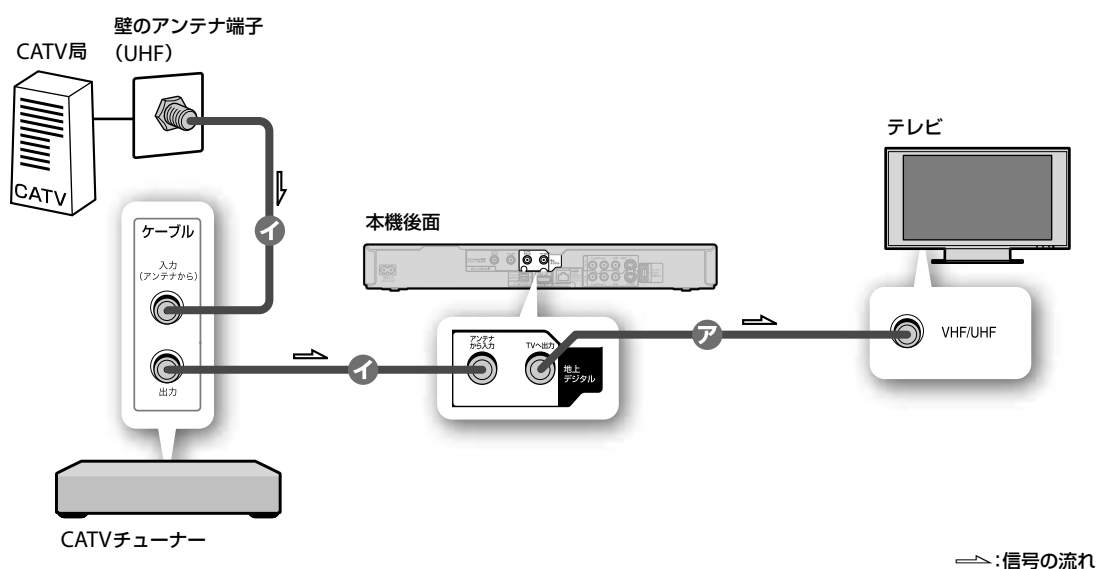
地上放送と衛星放送の信号が混合の場合

地上放送と衛星放送の信号が個別の場合

必要なケーブル類

ア UHF用同軸アンテナケーブル（付属）

イ UHF用同軸アンテナケーブル（別売り、EAC-DS15SSなど）

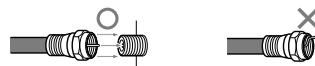
ウ 衛星用同軸アンテナケーブル（別売り）

エ 110度CSデジタルに対応したCS/BS ／地上波放送対応分波器（別売り、EAC-DSSM2など）

接続する

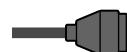
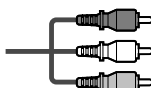
地上放送のみの場合

CATVを利用している場合

ちょっと一言

- 地上デジタル放送で画像や音声が乱れるときは、近隣チャンネルなどの電波が強くて干渉を受けている場合があります。[地上デジタルアッテネーター]を[入]にしてください(85ページ)。
- 地上デジタル放送や、BS/110度CSデジタル放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、別売りのアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- [BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]に設定した場合(85ページ)、CS/BS ／地上波放送対応分波器は「通電タイプ」を使用してください。

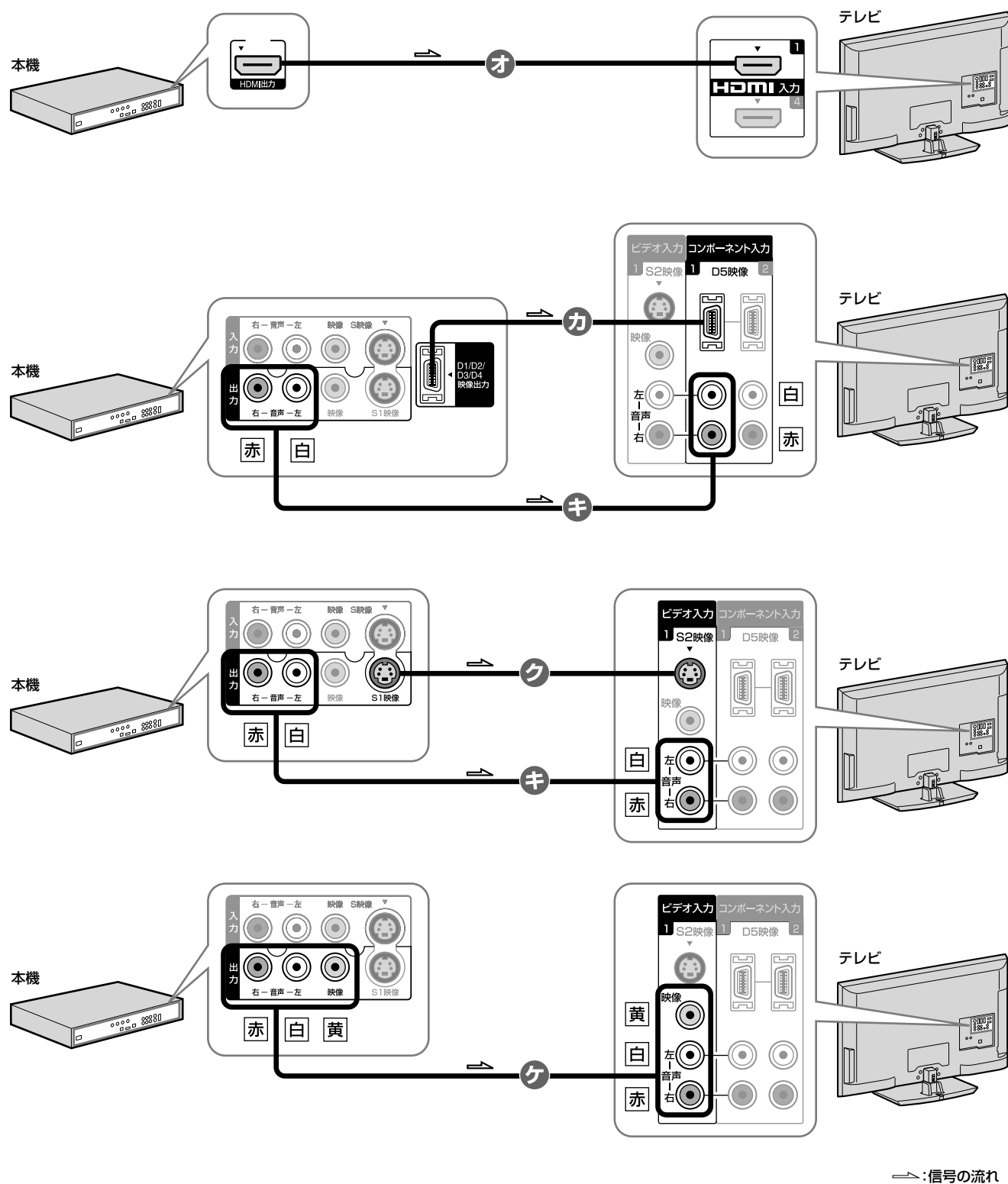
ご注意

- 混合アンテナ端子と分配器をつなぐと映像が乱れることがあります。その場合は分波器を使用してください。
- マンションなどの共同受信システムで110度CSデジタル放送やBSデジタル放送を視聴するには、対応した共同受信システムである必要があります。詳しくはマンション管理会社などの共同受信システム管理者へお問い合わせください。
- テレビなどでBSアンテナに電源を供給しているときは、[BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]に設定し(85ページ)、テレビのコンバーター用電源も「入」にしてください。
- アンテナケーブルの芯線が曲がると、外周部の金属部分に触れてショートの原因となります。

- CATVから配信されるBS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる信号方式と異なることがあります。詳しくは、ご利用のCATV局にお問い合せください。
- ケーブルテレビ事業者がトランスモジュレーション方式の場合は「CATVやスカパー！のチューナーをつなぐ」(109ページ)をご覧ください。
- CATV局と有料契約しているチャンネルなどを視聴または録画したいときは、CATVチューナーの音声／映像出力端子と本機の音声／映像入力端子をつないでください(109ページ)。

テレビをつなぐ

テレビにある映像端子と音声端子に応じて、以下のいずれかのケーブルでつないでください。

ちょっと一言

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

テレビに映像が映らない場合は、本機前面の■《停止》ボタンを10秒以上押してください。解像度を下げて表示します。
一番低い解像度に設定されるため、[映像出力設定](81ページ)で、最適な解像度に設定してください。

AVアンプをつなぐ

お使いのAVアンプの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。お使いの環境に合わせて[音声設定]を正しく設定してください(83ページ)。
HDMIケーブルでつないだ場合、テレビが3D対応のときは以下の図のように3D対応のAVアンプとつなぐと3D映像を楽しめます。

A

HDMI出力

HDMIケーブル(別売り)

HDMI IN

HDMI OUT

HDMIケーブル(別売り)

HDMI IN

B

デジタル音声出力 光

PCM/DTS/AAC/ドルビーデジタル

光デジタルケーブル(別売り)

光デジタル

C

出力 右 ー 音声 ー 左 映像 S1映像

音声ケーブル(別売り)

音声入力端子

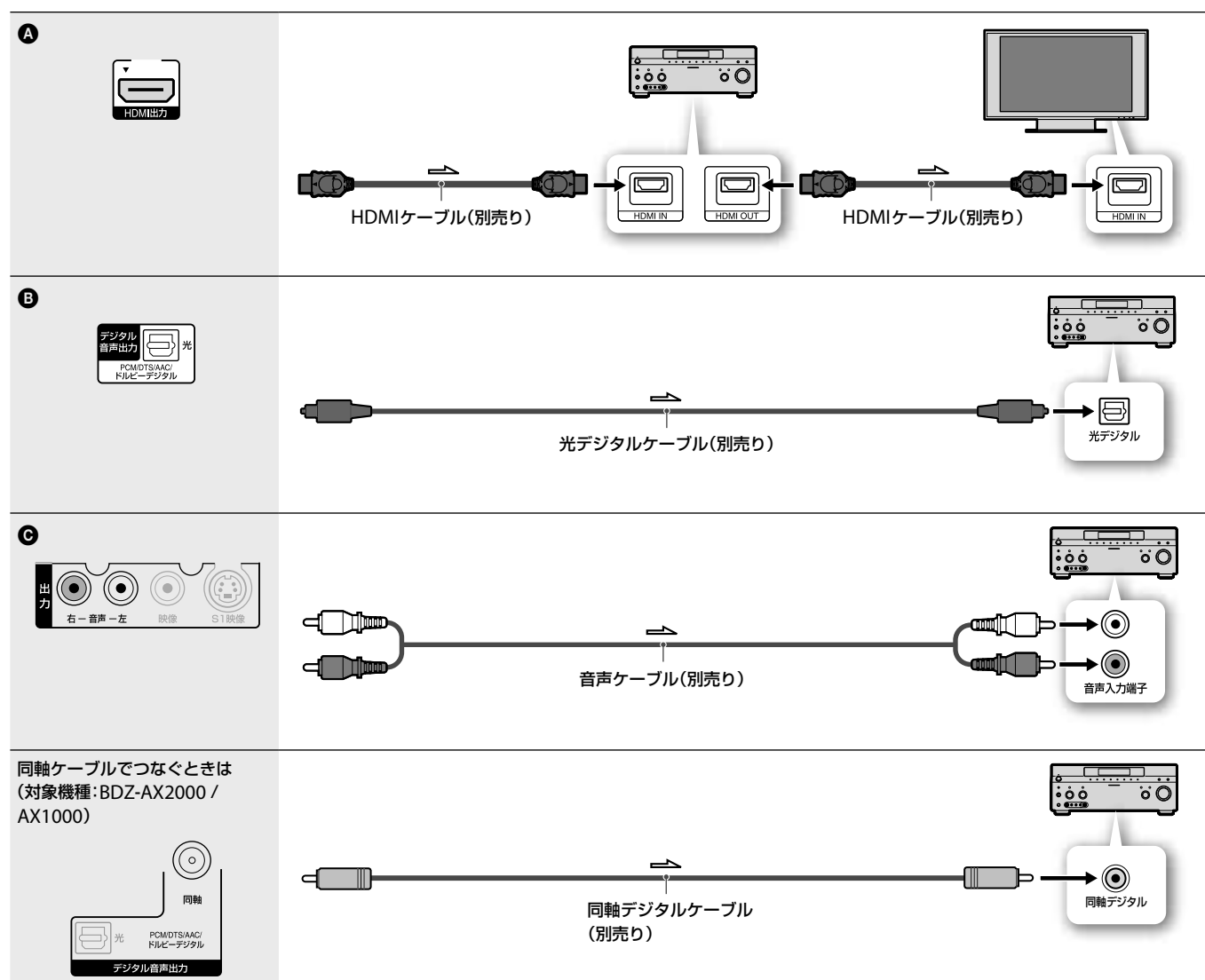
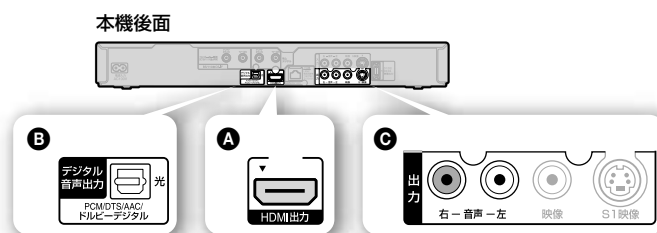
同軸ケーブルでつなぐときは
(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)

同軸

光 PCM/DTS/AAC/ドルビーデジタル

デジタル音声出力

同軸デジタルケーブル
(別売り)

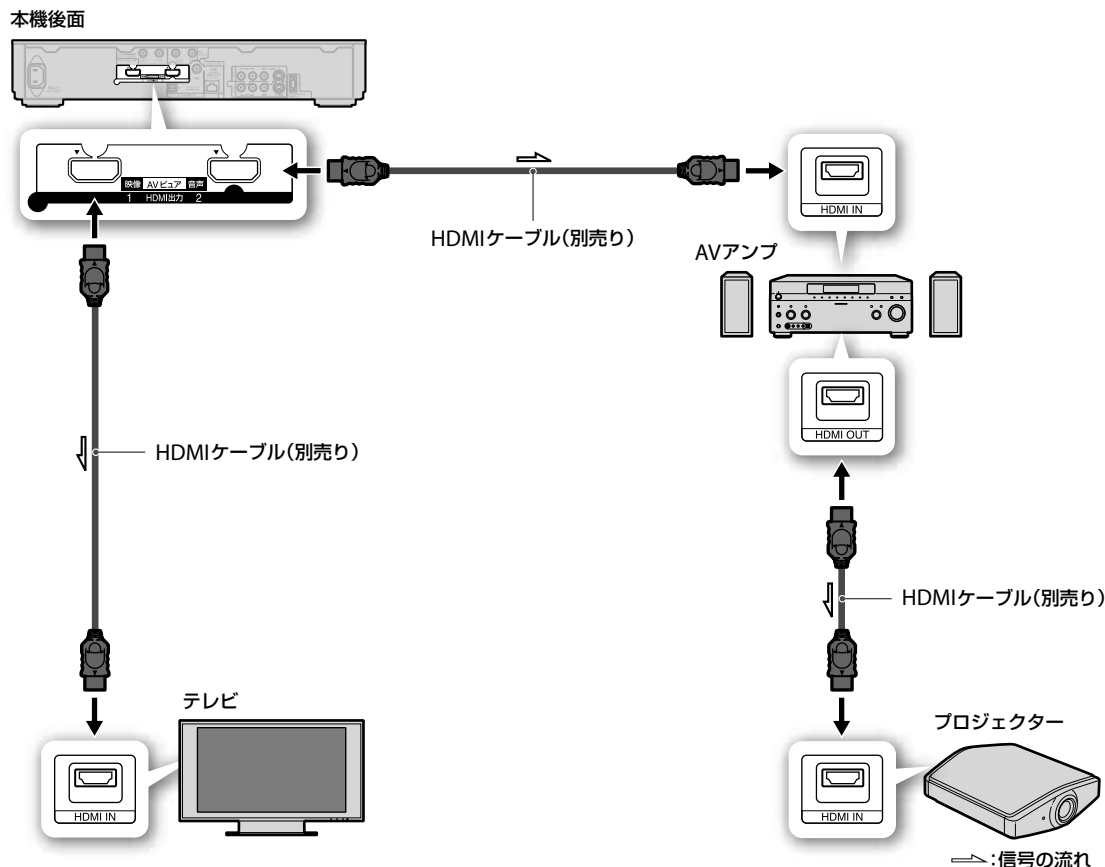
同軸デジタル

:信号の流れ

ちょっと一言

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

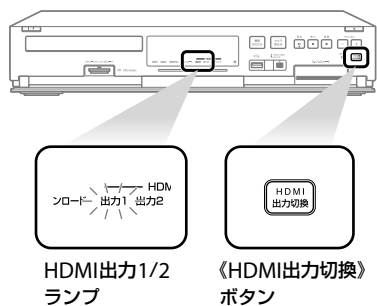
HDMI出力を切り換えて使う

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000

平日はテレビで録画した番組を見る、休日はプロジェクターとAVアンプでBD-ROMの映画を鑑賞するというような使いかたで、便利で快適なAVライフが実現できます。

HDMI出力を切り換えるには

HDMI出力1/2端子に2台のテレビやプロジェクターをつないだときは、本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、切り換えてください。出力中の端子に対応して、本機前面のHDMI出力1/2ランプが点灯します。

HDMI出力1/2ランプ

《HDMI出力切換》ボタン

映像音声およびHDMI機器制御の設定について

次の設定は、HDMI出力1/2端子に共通の設定です。
それぞれの設定について詳しくは、「本機の設定を変更する」（81ページ）をご覧ください。

- ［映像設定］
  ［映像出力設定］、［BD-ROM 3D出力］、［BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ］、［BD-ROM 1080/24p出力］、［HDMI映像出力フォーマット］、［HDMI Deep Color出力］、［BD-ROM専用画質モード］、［スーパービットマッピング］
- ［音声設定］
  ［音声出力設定］、［HDMI音声出力］
- ［HDMI機器制御設定］
  ［HDMI機器制御］、［高速連動］、［レコーダー→テレビ電源連動］

ちょっと一言

- 画質設定は、HDMI出力1/2端子ごとに設定可能です。

ご注意

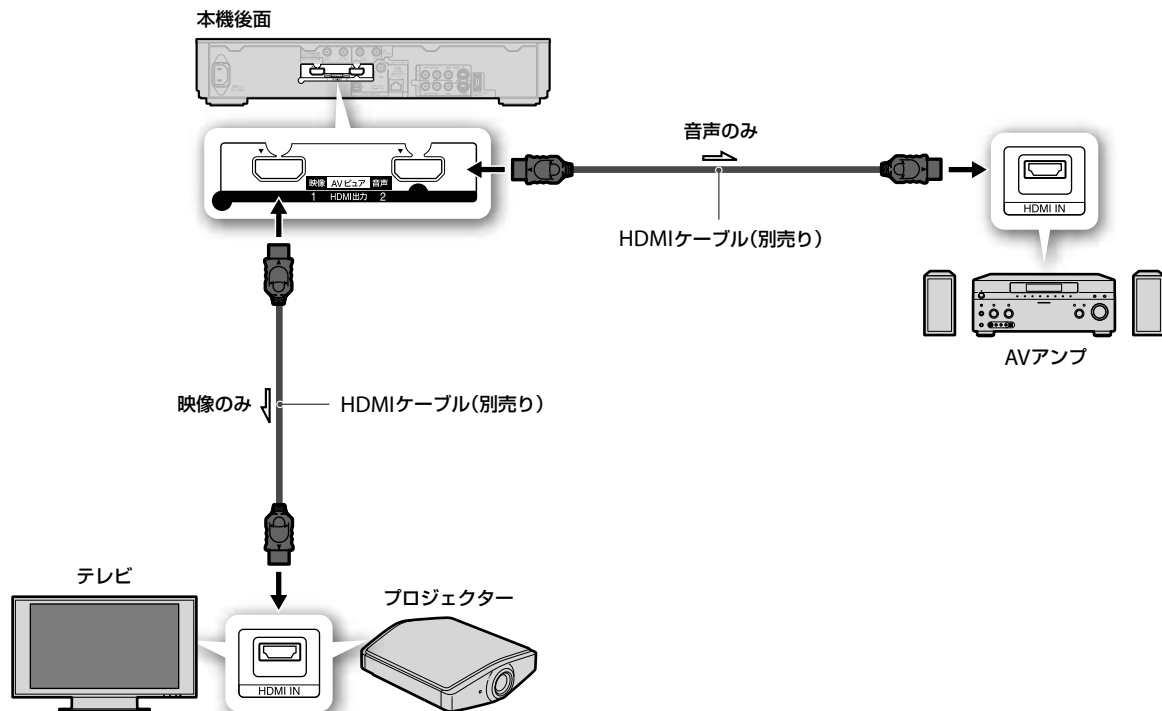
- ［HDMI機器制御設定］は出力中の端子にのみ有効です。
- 同時に2つのHDMI端子に映像／音声を出力することはできません。

接続する

AVピュア接続で映像と音声を別々につなぐ

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000

高画質・高音質で楽しむ

HDMI AV独立ピュア出力機能を使えば、HDMI出力1端子から高画質の映像を、HDMI出力2端子から高音質の音声を同時に出力できます。映像はHDMI出力1端子、音声はHDMI出力2端子に固定されます。
以下の図のようにつなぐと、テレビやプロジェクターが3D対応のときは、AVアンプが3D非対応でも3D映像を楽しめます。

⟶：信号の流れ

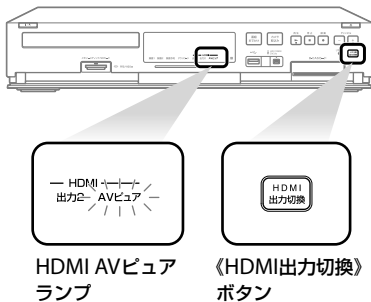
HDMI出力を切り換えるには

1 設定する。

［HDMI AV独立ピュア出力］＞［使用する］を選びます
（89ページ）。

2 切り換える。

本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、本機前面のHDMI AVピュアランプを点灯させます。

HDMI AVピュアランプ　《HDMI出力切換》ボタン

3 HDMI出力2端子の音声を設定する。

必要に応じて設定してください（83ページ）。

ご注意

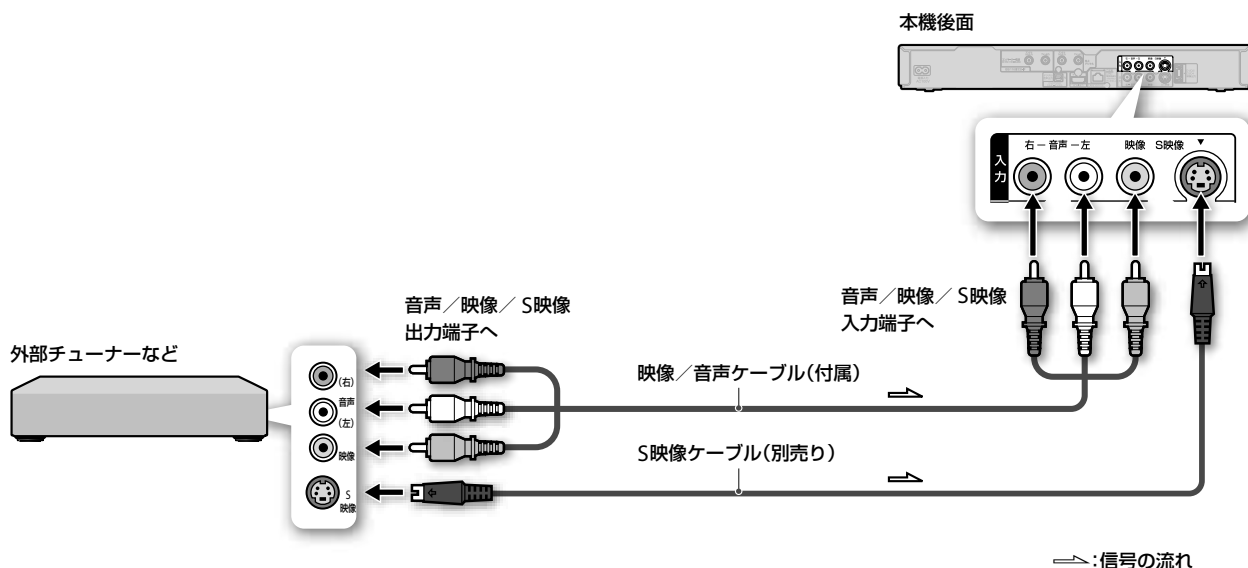
- DVI機器への接続は保障いたしません。
- 本機前面のHDMI AVピュアランプが点灯しているときは、HDMI機器制御機能は働きません。
- HDMI AV独立ピュア出力機能を利用するときは、HDMI出力2端子にテレビやプロジェクターをつながないでください。誤ってつなぐとプロジェクターやテレビの入力が切り換わり、映像が表示されなくなります。
- HDMI AV独立ピュア出力機能を利用しているときは、映像関連設定はHDMI出力1端子のみ、音声関連設定はHDMI出力2端子にのみ有効です。

以下のことはできません

- HDMI AV独立ピュア出力機能を使用しない場合に、同時に2つのHDMI端子に出力すること。
- HDMI AV独立ピュア出力時に、HDMI出力1端子から音声、HDMI出力2端子から映像を出力すること。
- 以下の場合にHDMI出力1/2/HDMI AVピュアを切り換えること。
  − BD-ROMを3Dで再生しているとき
  − BD-ROMを1080/24p（24p True Cinema）で再生しているとき
  − x-Pict Story HDを再生しているとき
  − x-ScrapBookを再生しているとき
  − 写真を表示したり、スライドショーを再生しているとき
  再生を停止してから切り換えてください。

接続する

CATVやスカパー！のチューナーをつなぐ

CATVやスカパー！チューナーの映像を外部入力から録画するための接続です。「スカパー！ HD」対応チューナーの番組を録画したいときは、ネットワーク接続による録画をおすすめします（23、110ページ）（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。

S映像ケーブルでつなぐときは

1 映像ケーブル（黄）をはずす。

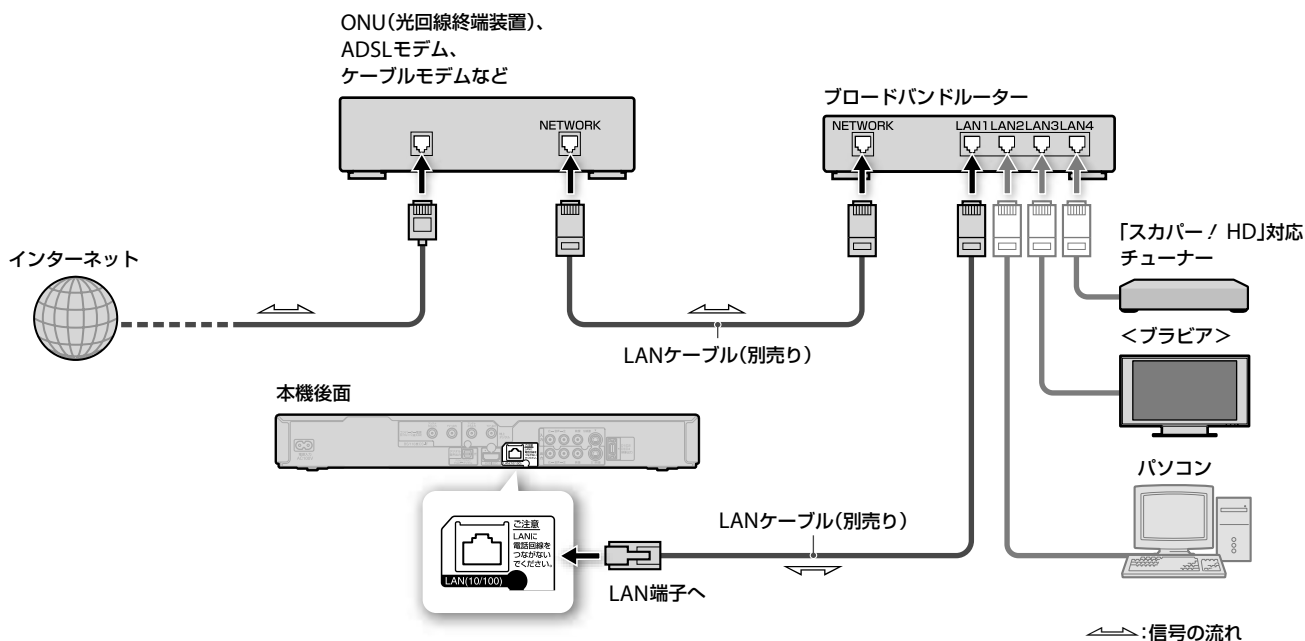
2 設定する。

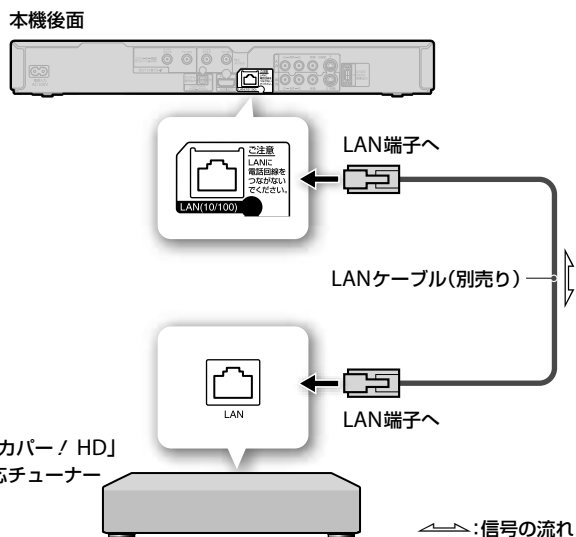
［映像入力］＞［S映像］を選びます（82ページ）。

ご注意

- 本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しているため、番組によっては録画できないことがあります。
- 外部チューナーの番組を本機につないで視聴する場合、映像が乱れることがあります。この場合、外部チューナーを直接テレビにつないで視聴してください。
- 本機には標準画質で映像が入力されるため、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画できません。
- i.LINK端子はHDV1080i/DVの入力専用端子です。ご利用のチューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合でも、i.LINK端子とつないでデジタル放送を録画することはできません（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。
- ケーブルテレビ事業者がパススルー方式の場合は、「アンテナをつなぐ」（102ページ）をご覧ください。

ネットワークにつなぐ(「スカパー！ HD」／ソニールームリンクなど)

ネットワークにつないでネットワーク設定をすると、以下の機能が使えるようになります。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーの番組を録画予約(23ページ)(対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)。
- ＜ブラビア＞の番組表を使って録画予約(25ページ)。
- 別の部屋のテレビやパソコンなどで本機のタイトルや写真を再生(36ページ)(対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)。
- インターネットサービスの視聴やダウンロード(28ページ)。
- インターネット経由で、放送局から配信されるデータ放送のコンテンツの視聴。
- 携帯電話やパソコンでのリモート予約(24ページ)。
- BD-LIVE(BDライブ)(32ページ)。

「スカパー！ HD」対応チューナーと直接LANケーブルでつなぐには

「スカパー！ HD」対応チューナーの番組を録画予約だけ行う場合、以下のようにつなぎます。

ちょっと一言
- 使用するケーブルの種類はモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- ネットワークにつなぎ、放送局などのサーバーからインターネット経由でデータ放送のコンテンツやインターネットサービスなどを楽しむためには、別途プロバイダー *との契約が必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)会社によっては、ルーターの接続を許可していない場合があります。あらかじめCATV(ケーブルテレビ)会社にご確認ください。
- リモート録画予約を利用するときは、常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のプロバイダー *にお問い合わせください。

* インターネットサービスプロバイダー(ISP)とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

ご注意
- モデムやルーターなどの設定にはパソコンなどが必要になります。

「スカパー! HD」録画のための設定

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

「スカパー! HD」対応チューナーと直接LANケーブルでつないでいるときは、手順2から行ってください。

1 ネットワークにつながっているか確認する。

[ネットワーク設定]>[ネットワーク接続診断]を選びます(91ページ)。
「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面のメッセージに従ってください。

2 ホームサーバー設定をする。

[サーバー機能]>[入]を選びます(92ページ)。
[クライアント機器登録方法]>[自動]を選びます(92ページ)。

3 ホームサーバーの登録を確認する。

[登録機器一覧]で接続したクライアント機器名が表示されているか、確認してください(92ページ)。ただし、クライアント機器が登録されるまでに数分かかる場合があります。

4 本機と「スカパー! HD」対応チューナーそれぞれの設定をする。

本機

地上デジタルアンテナまたは衛星アンテナをつなぎます(時計を合わせるため)(102ページ)。

「スカパー! HD」対応チューナー

ネットワークを設定します(23ページ)。

ブラビアネットワーク録画/ソニールームリンクのための設定

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

1 ネットワークにつながっているか確認する。

[ネットワーク設定]>[ネットワーク接続診断]を選びます(91ページ)。
「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面のメッセージに従ってください。

2 ホームサーバー設定をする。

[サーバー機能]>[入]を選びます(92ページ)。
[クライアント機器登録方法]>[自動]を選びます(92ページ)。

3 ホームサーバーの登録を確認する。

[登録機器一覧]で接続したクライアント機器名が表示されているか、確認してください(92ページ)。ただし、クライアント機器が登録されるまでに数分かかる場合があります。

インターネットサービス/データ放送視聴のための設定

1 ネットワークにつながっているか確認する。

[ネットワーク設定]>[ネットワーク接続診断]を選びます(91ページ)。
「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面のメッセージに従ってください。

BD-LIVE(BDライブ)視聴のための設定

1 ネットワークにつながっているか確認する。

[ネットワーク設定]>[ネットワーク接続診断]を選びます(91ページ)。
「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面のメッセージに従ってください。

2 BDのインターネット接続を許可する。

[BDインターネット接続]>[許可する]を選びます(87ページ)。

リモート予約のための設定

1 ネットワークにつながっているか確認する。

[ネットワーク設定]>[ネットワーク接続診断]を選びます(91ページ)。
「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面のメッセージに従ってください。

2 リモート機器を登録する。

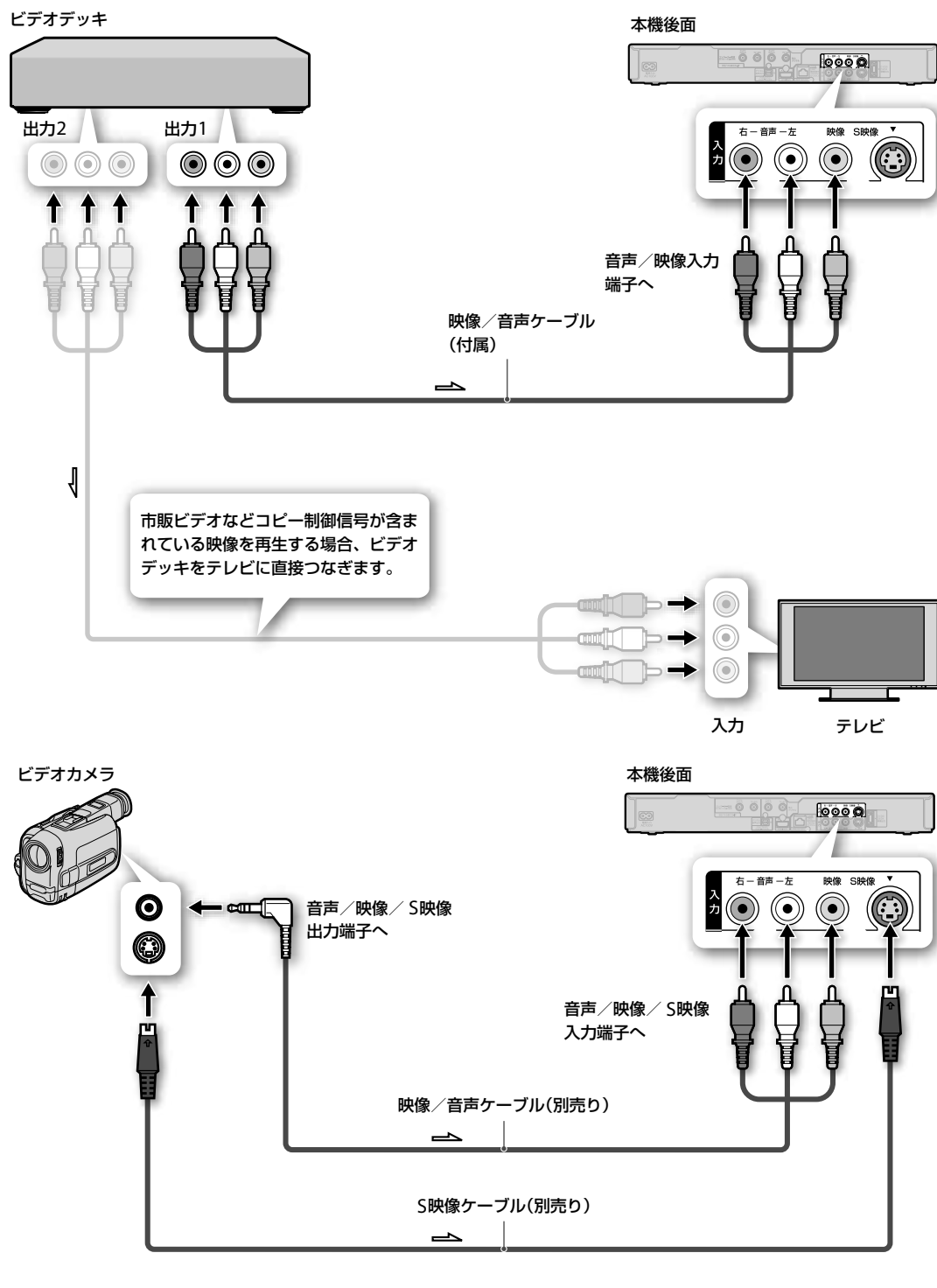
[リモート機器設定]>[リモート機器登録]を選びます(92ページ)。

3 リモート機器の登録を確認する。

[登録リモート機器一覧]で機器が登録されているか、確認してください(92ページ)。

ビデオデッキなどをつなぐ(取り込み)

ビデオデッキなどをつなぐと、ビデオテープの映像を本機のハードディスクやBDにダビングできます。

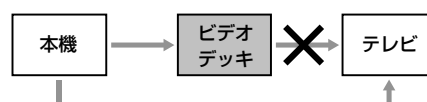
:信号の流れ

S映像ケーブルでつなぐときは

1 **映像ケーブル(黄)をはずす。**

2 **設定する。**

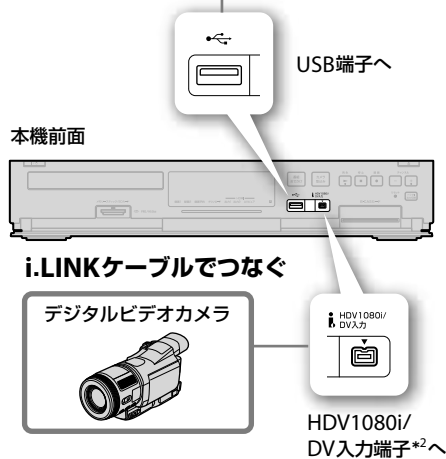
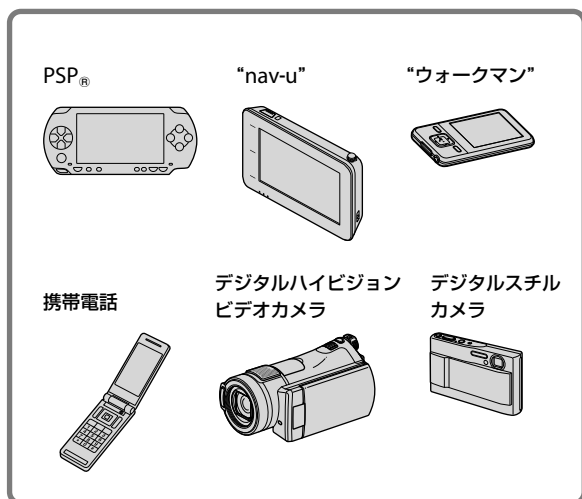
[映像入力]＞[S映像]を選びます(82ページ)。

ご注意

- ビデオデッキなどの映像記録機器を経由してつなぐと、メニュー画面や映像が乱れることがあります。

デジタルカメラ／USB機器をつなぐ（取り込み／おでかけ転送）

写真を取り込む
- デジタルスチルカメラ

映像を取り込む／おでかけ転送する*[1]
- デジタルビデオカメラ
- “ウォークマン”
- PSP®
- 携帯電話
- “nav-u”

*[1] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。

*[2] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。

ちょっと一言
- 各ケーブルについて詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ［スタンバイモード］を［瞬間起動］に設定すると（89ページ）、本機の電源が切れている場合でもUSB端子から一部の機器の充電ができます。

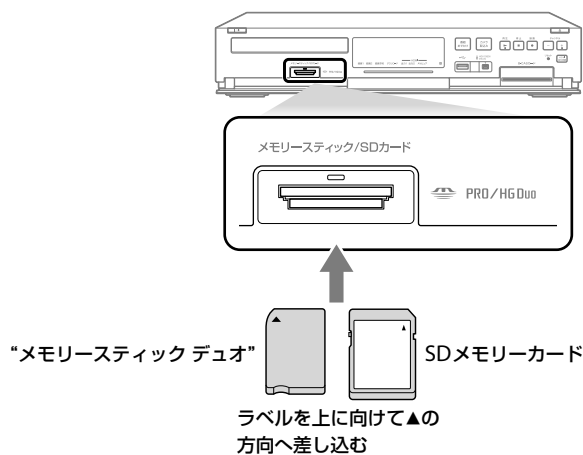
メモリーカードを差し込む

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で使用できるメモリーカードについて（143ページ）

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000

メモリーカードをスロット（挿入口）にしっかりと差し込みます。
メモリーカードのデータを読み込んでいる間は、メモリーカードランプが点滅します。

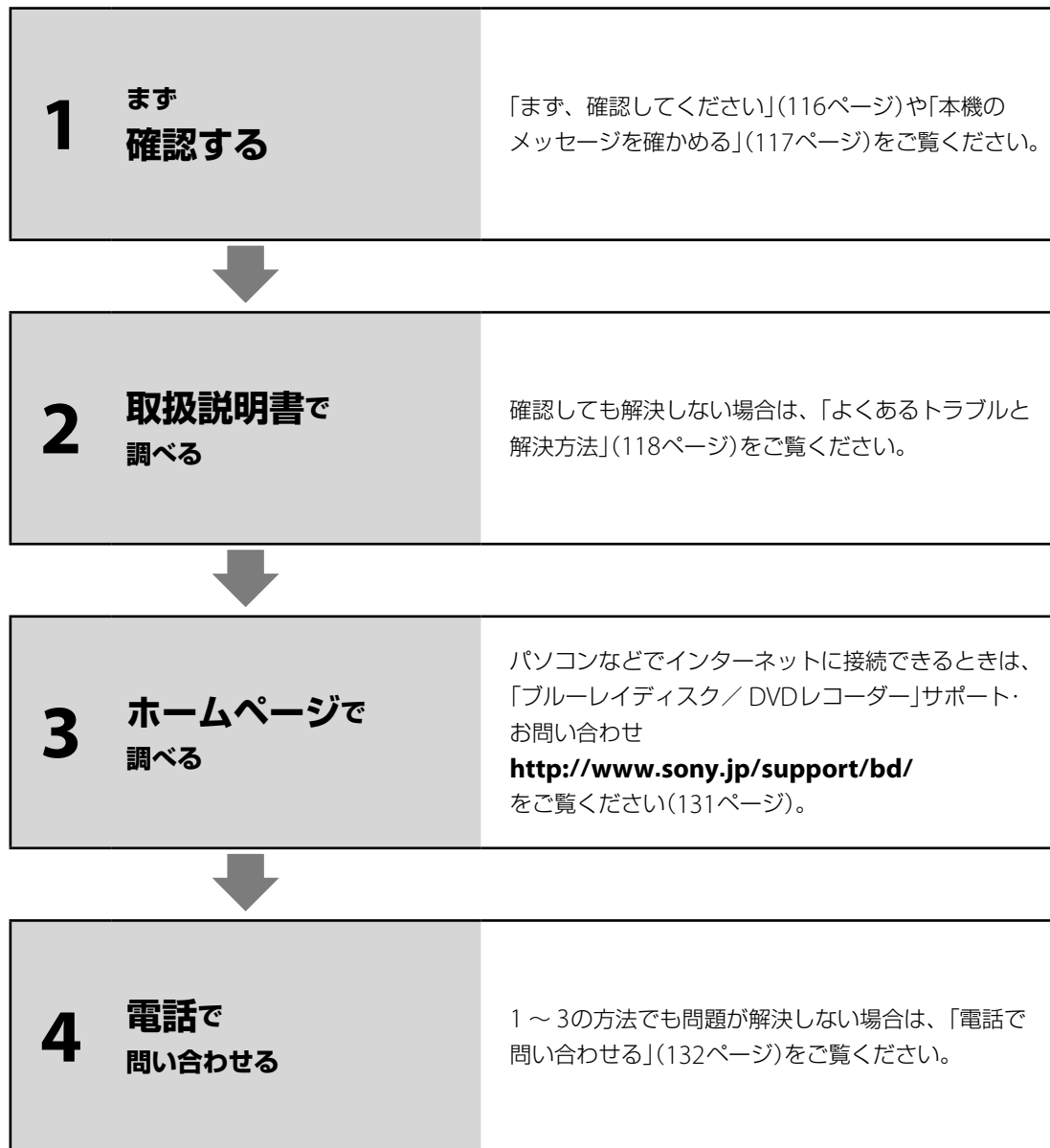
“メモリースティック デュオ”、またはSDメモリーカードの場合

“メモリースティック マイクロ”（“M2”）やminiSD/microSDカードをご使用のときは、別売りの“M2”やminiSD/microSD アダプターが必要です。

カードを取り出すときはカードを軽く押し、カードが少し出てきたらつまんで引き出してください。

ご注意
- 差し込まれているメモリーカードに強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- “メモリースティック マイクロ”、miniSD/microSD カードを“M2”またはSD アダプターなしで使用すると、取り出せなくなります。

困ったときは

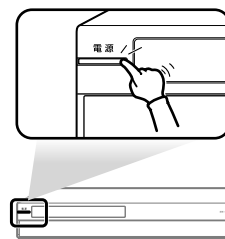
故障かな？と思ったら

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。

まず、確認してください

各種コード・ケーブル

テレビの入力切換

本機の映像が映るよう、テレビの入力は「本機をつないだ入力」に切り換わっていますか？

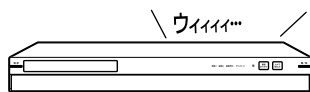
本機の電源

こんな場合は故障ではありません

電源を切っているのに ファンなどの動作音がする

電源が「切」でも、以下のような場合、本機が動作をすることがあります。

- 番組表データの取得時
- 録画中(録画予約、x-おまかせ･まる録など)
- ダビング中
- リモート録画予約機能使用時
- ホームサーバー機能使用時(対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)
- HDMI機器制御による高速連動機能使用時
- 瞬間起動の待機時
- ソフトウェアのアップデート時
- スカパー！ｅ２の無料視聴期間サービスの利用時

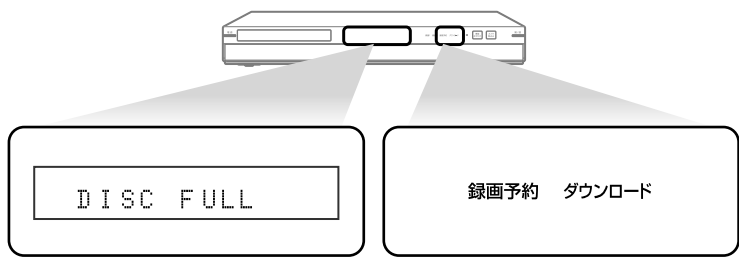
など

このような場合、本機のファンが動作します。

「PLEASE WAIT」と点滅表示され、なかなか起動しない

本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅表示されます。本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。
起動時間を短くするには、[瞬間起動]に設定してください(89ページ)。[瞬間起動]に設定すると、[標準]よりも消費電力は増えます。

操作を受け付けない／動いていない

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面の扉を開き、《リセット》ボタンを押してください。

本機のメッセージを確かめる

表示窓に表示される例	メッセージ
CAN'T USE	ディスクがエラーで読み込めないとき
DISC FULL	ディスクがいっぱいのとき
NO CARD	B-CASカードが入っていないとき
NO DISC	ディスクが入っていないとき
E5001	本機の内部温度が上昇しています。本機を涼しいところにおいてください。
EXXXX （Xは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いています。 →ソニーの相談窓口へお問い合わせください（132ページ）。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E6110
✉	録画されていない場合など、本機が発行した自己メールで状況をお知らせします（81ページ）。

ランプの状態	メッセージ
録画予約ランプが点滅している	• ハードディスクやBDの容量が不足していて、録画できません。 • 録画できないディスクが入っていて、BDへ録画できません。 • ディスクが入っていなくて、BDへ録画できません。
ダウンロードランプが点滅している	インターネットサービスからのダウンロードがエラーになっています。

本機を再起動するには

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面の扉を開き、《リセット》ボタンを押してください（135ページ）。

よくあるトラブルと解決方法

本書では以下の項目のよくあるトラブルと解決方法を記載しています。
解決方法がない場合は、「それでも困ったときは」をご覧ください(131ページ)。

電源

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が入らない。	• 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	らくらくスタートガイド

映像

症状	対処のしかた	参照ページ
映像が出ない、乱れる。	• 電源コードや接続ケーブルが正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	らくらくスタートガイド
	• 接続ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。	—
	• テレビのリモコンの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力(「ビデオ」や「HDMI」など)に切り換えてください。	—
	• 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビにつないだり、ビデオ一体型テレビにつないでいると、一部のDVDプログラムやデジタル放送に使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性があります。 本機をテレビに直接つないでいても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子に接続してください。	105
	• ハードディスクの特性上、ごくまれに映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	• 下記の場合には映像／音声が一瞬途切れたり、映像が乱れたりすることがあります。 – 2層以上のBD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるとき – DVD再生時などでプログレッシブ映像に切り換わるとき – 24p True Cinemaに対応したBD-ROMや、x-Pict Story HDやx-ScrapBookの再生をするとき	—
	• 本機前面の《リセット》ボタンを押してください。	135

症状	対処のしかた	参照ページ
D映像出力端子につないだとき、映像が出ない、乱れる。	• プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像ケーブルでつなぎ、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがあります。	—
	• BD-ROMの24p映像または3D映像を出力中は、D映像端子から出力されないことがあります。	—
	• テレビに映像が映らない場合は、本機前面の■《停止》ボタンを10秒以上押してください。解像度を下げて表示します。 一番低い解像度に設定されるため、[映像出力設定]で最適な解像度に設定してください。	81、135
HDMI出力端子につないだとき、映像が出ない、乱れる。	• 本機はDVI機器への接続に対応していません。	—
	• 本体表示窓のHDMI表示が点滅しているときは、HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。HDMIケーブルを差し直してください。	137
	• HDMIケーブルを差し直しても解決しないときは、付属の映像／音声ケーブルでつなぎ直し、テレビの入力を切り換えてください。画面が表示された場合、HDMIケーブルが断線している可能性があります。HDMIケーブルを交換してください。	105
	• 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、映像を出力するHDMI出力端子に切り換えてください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	107
	• HDMI AV独立ピュア出力機能を使用するときは、HDMI出力1端子にプロジェクターやテレビをつないでください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	108
	• テレビに映像が映らない場合は、本機前面の■《停止》ボタンを10秒以上押してください。解像度を下げて表示します。 一番低い解像度に設定されるため、[映像出力設定]で最適な解像度に設定してください。	81、135
本機の**入力端子**につないだ機器の映像が映らない。	• 《入力切換》ボタンを押して、つないでいる入力端子を本体表示窓に表示させてください。 例）音声／映像／ S映像入力端子のときは「LINE」	—
	• 本機のS映像入力端子につないだ場合は、[映像入力]を[S映像]に設定してください。	82
画面の**横縦比**がおかしい。	• テレビの横縦比に映像を合わせてください。	148
	• 録画する映像にあった映像サイズを設定してから録画してください。	86
	• 放送や映像によっては、設定に関わらず画面の左右や画面の上下に黒帯が入ることがあります。	—
サムネイルが表示されない。	• 録画内容によってはサムネイルを作成できない場合があります。	—
HDV1080i/DV入力端子にデジタルカメラをつないでも映像が表示されない（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	• デジタルカメラとの接続に使用しているi.LINKケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。	—
	• つないだデジタルカメラの電源を切り、もう一度入れ直してください。	—
	• 本機の電源を切り、もう一度入れ直してください。	—

テレビの受信

症状	対処のしかた	参照ページ
BRAVIAチャンネル設定連動を行ったのに、**＜ブラビア＞と本機のチャンネル設定が違う。**	• テレビで郵便番号設定をしているか確認してください。	—
	• テレビで地上デジタル放送のスキャンをしているか確認してください。	—
	• 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンの設定が連動したいテレビ側に設定されているか確認してください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	107
本機で受信しているテレビ放送が**映らない。**	• アンテナケーブルをアンテナ入力端子につないでください。	102
	• アンテナが地上デジタル放送を受信できるか確認してください。	—
	• テレビのリモコンの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力（「ビデオ」や「HDMI」など）に切り換えてください。または、本機の《チャンネル＋ ／－》ボタンで他のテレビ局を選んでください。	—
	• 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、［地上デジタル自動チャンネル設定］で［再スキャン］を選んで受信設定してください。	85
本機で受信しているテレビ放送の映像が**汚い。**	• 電波の送信元付近の地域にお住まいではありませんか？地上デジタル放送の電波が強くて近隣のチャンネルなどの干渉を受けているときは、［地上デジタルアッテネーター］を［入］にしてください。 それでも汚い場合は、［地上デジタルアッテネーター］を［切］に戻し、別売りのアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。	85
	• 電波が弱くありませんか？デジタル放送の映像が汚い場合、アンテナレベルを確認してください。アンテナレベルが低いときは、別売りのアンテナブースターで電波信号を増幅してください。	85
テレビチャンネルを**切り換えることができない。**	• 2番組同時録画中（BDZ-AT300Sでは録画中）は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。テレビ側でチャンネルが切り換えられない場合には、テレビの取扱説明書をご覧ください。	—
	• 本機の《入力切換》ボタンを押して、映像が映るように入力を地上放送またはBS/110度CSデジタル放送に合わせてください。	—
本機につないだ他機で再生・受信している映像が**ゆがむ。**	• 他機で再生や受信している映像に、著作権保護のための信号が含まれています。この場合は、プレーヤーやチューナーなどの機器をテレビに直接つないでください。	—
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が**映らない。**	• BS/110度CS対応アンテナを本機に正しくつないでください。	102
	• BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を見ながら、BS/110度CS対応アンテナの向きを調整してください。	85
	• BS/110度CS対応アンテナからゴミや雪を取り除いてください。	—
	• ［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］に設定していても番組が映らない場合は、BS/110度CS対応アンテナがショートしている可能性があります。本機とテレビの電源を入れ直してください。	85
	• マンションなどの共同受信システムで、BS/110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、BS/CSブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。	—
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組が**映らない。**	• CATVから配信されるBS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる信号方式と異なることがあります。CATVの信号方式については、ご利用のCATV局にお問い合わせください。	—

症状	対処のしかた	参照ページ
放送局のロゴが表示されない。	● お買い上げ時、本機には地上デジタル放送の各放送局のロゴデータは入っていないため表示されませんが、ロゴを表示したい放送局をしばらく受信していると、自動的にロゴデータが受信され、表示されるようになります。ロゴが表示されるまでの時間は、放送局により異なります。	—

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表が表示されない。	● 地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送のアンテナケーブルが正しく接続されているか確認してください。	102
	● ［地上デジタル自動チャンネル設定］でチャンネル設定をやり直してください。	85
番組表に**表示されない放送局**がある。	● ［地上デジタルチャンネル登録］や［BSデジタルチャンネル登録］、［CSデジタルチャンネル登録］の［＋／－選局］を［選局する］に設定してください。	84、85
	● 番組表データに含まれない放送局は表示されません。	—
番組表に**表示されない**番組がある。	● 本機にアンテナを接続して初期設定を終えた直後や、数日以上本機の電源コードを抜いていた場合は、地上デジタル放送の番組表の一部が表示されません。電源コードを抜かないで1日程度お待ちください。 ● 地上デジタル放送の番組表データは放送局ごとに受信します。本機では各放送局の番組表データを自動的に順次取得していきますが、お急ぎの場合は表示させたい放送局をしばらく視聴してから番組表を表示してください。	—
	● 受信状態が悪いと、一部の番組表データを受信できない場合があります。	—
	● 1時間に複数の番組があると、番組名が表示されず、番組の開始時刻のみ表示されます。《黄》ボタンを押して番組表を拡大表示すると番組名が表示される場合があります。また、開始時刻のみ表示されている欄を選び、↑↓を押すと、番組名を見ることができます。	—
間違った放送局名が表示される。	● ［お買い上げ時の状態に設定］の［放送受信設定］を選び、実行すると削除できます。削除後は［地上デジタル自動チャンネル設定］をしてください。	85、93

録画・予約・ダビング・おでかけ転送

症状	対処のしかた	参照ページ
録画中、テレビのチャンネルを**変えられない。**	● 2番組同時録画中（BDZ-AT300Sでは録画中）は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。テレビ側でチャンネルが切り換えられない場合には、テレビの取扱説明書をご覧ください。	—
録画中に■《停止》ボタンを押してもすぐに**録画が止まらない。**	● 録画が止まる前にハードディスクやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。	—
「見て録」開始時に「カードエラー」と表示される。	● B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	らくらくスタートガイド

症状	対処のしかた	参照ページ
予約したのに録画されていない。	• 自己メールを確認してください。	81
	• お使いのテレビの番組表から録画予約した可能性があります。本機の番組表から録画予約してください。	18
	• ネットワーク録画予約（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）や、ブラビアリンクを利用して<ブラビア>の番組表から録画予約した場合は、日時指定予約となるため番組の時間変更に追従しません。追従したい場合は本機の番組表から録画予約してください。	25
	• 停電などにより時計が合っていないときは、時計を合わせ直してください。	89
	• デジタル放送の場合、番組が中止になったり、変更になった可能性があります。	—
	• 地上デジタル放送のチャンネルを再設定した後は、録画予約が正しく行われないことがあります。予約を設定し直してください。	—
	• 番組名で毎回録画するように録画予約しても、番組表に表示される番組名と類似していないと思いどおりの番組が録画されない場合があります。番組表で検索されやすいように番組名を変更してください。確実に録画したいときは、番組表からの録画予約をおすすめします。	30
	• おでかけ転送中（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）は、x-おまかせ･まる録は実行されません。また、複数の録画予約があっても、録画されるのは1番組のみです。	—
	• おでかけ転送用動画ファイルの作成中は、録画予約があっても録画は開始されません。作成終了後に録画が開始されます（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	—
	• x-Pict Story HD作成中は、録画されません。	—
	• 「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワーク録画予約が正しく設定されたか確認したいときは、チューナーを操作して確認します。詳しくはお使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	—
	• B-CASカードが入っているか確認してください。	らくらくスタートガイド
予約した内容の**先頭が切れている。**	• 「スカパー！ HD」対応チューナーで予約した番組をネットワーク経由で録画する場合、[スタンバイモード]を[瞬間起動]または[標準]に設定してください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	89
本機前面の**録画予約ランプ**が点滅している。	• ハードディスクやBDの残量が足りない場合、本機前面の録画予約ランプが点滅し、録画できません。ハードディスクやBD内の不要なタイトルを削除し、残量を増やしてください。	40、117
以前録画した内容が**なくなっている。**	• 上書き録画されているときは、録画予約設定画面の[上書き]を[しない]にしてください。	18
	• ハードディスクの容量がなくなると、x-おまかせ･まる録で録画されたタイトルが自動的に削除されます。	22

症状	対処のしかた	参照ページ
映像や写真の**取り込みができない。**	• ビデオデッキから映像が取り込めない場合、ビデオデッキをつないだ端子に応じて、映像入力を設定してください。	82
	• HDV/DVダビングする場合、デジタルカメラがビデオ再生モードになっているか確認してください(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。	—
	• HDV1080i/DV入力端子は、MICROMV方式のデジタルカメラのi.LINK端子(MICROMV信号)とは信号が異なるため、接続できません。S映像端子または映像・音声端子を使って接続してください(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。	112
	• HDV/DVダビングする場合、デジタルカメラのテープに5分以上の無記録部分があると、取り込みは自動的に終了します。HDV機器から取り込む場合、無記録部分は本機に記録されません。DV機器から取り込む場合は記録されます。取り込みをやめるには、■《停止》ボタンを押してください(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。	70
	• HDV/DVダビングが中断してしまう場合は、「外部入力映像を録画するには」に記載されている方法で録画してください(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。	27
	• AVCHDダビングする場合、デジタルハイビジョンビデオカメラがUSBモードになっているか確認してください(ワンタッチディスクダビングの場合を除く)。	70
	• デジタルハイビジョンビデオカメラからUSB接続で取り込む場合、AVCHD方式以外の映像は、本機のハードディスクに取り込めません。	70、73
	• BDやDVDに入っているコピー制御信号が付いた場面は取り込めません。	—
勝手に録画されている。	• 本機には、お客様の好みを学習し、おすすめの番組を自動で録画する機能があります(自動で録画したタイトルには、★が付きます)。この機能を解除するには、「おすすめ番組の自動録画をやめるには」をご覧になり、[自動録画]を[切]に設定してください。	22
	• あらかじめ設定したキーワードをもとに自動録画する機能(x-おまかせ・まる録)があります。自動で録画したタイトルには、◎ が付きます。この機能を解除するには、「おまかせ条件を変更・取り消すには」をご覧になり、x-おまかせ・まる録の録画条件を削除してください。	22
ディスクを**コピーできない。**	• 「1回だけ録画可能」な映像(デジタル放送)が録画されているディスクは、コピーできません。	164
携帯電話やパソコンで**リモート録画予約**できない。	• リモート録画予約の設定をしてください。	24
	• x-Pict Story HD作成中は、リモート録画予約できません。	—
	• ネットワークに接続されているか確認してください。	91
「スカパー! HD」の番組を録画できない。	• 本機の現在時刻が正しく設定されているか確認してください。	89
	• ホームサーバーの設定を確認し、[サーバー機能]が[入]になっているか、[クライアント機器登録方法]が[自動]になっているか確認してください。	92
	• 「スカパー! HD」対応チューナーの設定を確認してください。詳しくは、お使いの「スカパー! HD」対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。	—
USB機器を**認識しない。**	• ソニー製デジタルスチルカメラをつなぐ場合、USB接続設定が標準(Mass Storageモード)になっているか確認してください。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。	—
	• デジタルカメラやPSP®、携帯電話をUSBモードに設定してください(ワンタッチディスクダビングの場合を除く)。	59、66、70
	• USBケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。USBケーブルを差し直してください。	113
	• 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。 http://www.sony.jp/support/bd/	—

症状	対処のしかた	参照ページ
おでかけ転送ができない（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	• PSP®や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。	—
	• 携帯電話にmicroSDカードが正しく挿入されているか確認してください。	—
	• USBケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。USBケーブルを差し直してください。	113
	• USBケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。	—
	• PSP®や携帯電話がUSBモードになっているか確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。	59
	• PSP®のシステムソフトウェアバージョンを4.00以降にしてください。	—
	• メモリーカードスロットに挿入したメモリーカードにはおでかけ転送できません（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	—
	• おでかけ転送に対応しているか、お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	• インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送する場合は、本機をネットワークにつないでください。	—
	• インターネットサービスからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があります。	—
ワンタッチ転送で一部のタイトルしか転送できない（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	• 転送先機器の容量が不足していないか確認してください。	—
	• ワンタッチ転送で転送先の容量が不足し、すべて転送できない場合、ワンタッチ転送リストの録画日時の古い順から転送先機器の容量に収まる分まで転送します。ただし、更新転送の場合は、未転送のタイトルを優先して転送します。	62
	• 転送中に2番組同時録画の予約が重複したときは、2番組同時録画が終わってからもう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます。	—
デジタル放送のタイトルをおでかけ転送できない（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	• デジタル放送のタイトルは、コピー制御信号に対応していない機器には転送できません。おでかけ転送対応機器と転送できるタイトルの種類が正しいか確認してください。	58
おでかけ転送時に**高速転送**ができない（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	• ［おでかけ転送機器］の設定を、実際に転送する機器と合わせた状態で録画してください。	87
	• ［高速転送録画］が［切］になっている場合は、［入］に変更してから録画してください。	87
	• 本機のハードディスク内に録画されているタイトルを編集したり、録画モード、映像や音声の信号、おでかけ転送機器の設定を変更したりすると、高速転送できません。	87

症状	対処のしかた	参照ページ
おかえり転送ができない(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500)。	• PSP®や"ウォークマン"などデジタル放送の録画タイトルをおでかけ転送できる機種のみ、おかえり転送できます。	58
	• PSP®や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。	—
	• USBケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。USBケーブルを差し直してください。	113
	• USBケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。	—
	• PSP®がUSBモードになっているか確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。	61
	• デジタル放送のタイトル以外はおかえり転送できません。つないでいる機器にデジタル放送のタイトルが保存されているか確認してください。	—
	• インターネットサービスからダウンロードしたタイトルはおかえり転送できません。	—
ダビングできない。	• 映画などの市販ソフトはコピーできません。	77、78
	• 同一シーンを複数回参照するプレイリストはダビングできません。	—
	• BDやDVDに汚れや傷が付いていないか確認してください。	—
	• インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをダビングする場合は、本機をネットワークにつないでください。	—
	• インターネットサービスからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があります。	—
	• インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、DVDにダビングできません。	—
	• DVD-R DL(2層)やDVD+R、DVD+RW、DVD+R DL(2層)、DVD-RAMにはダビングできません。	142
正しくダビングされていない。	• デジタルハイビジョンビデオカメラの映像をBDに正しくダビングできなかった場合は、いったんUSBケーブルを抜いて、もう一度差し込んでからダビングしてください。	76
ダビングしたディスクを**他機で再生できない。**	• DVD-R/-RWにダビングした場合、他機で再生するためにはファイナライズが必要です。	53
	• DVD-R/-RWにVRモードでダビングした場合、VRモードに対応した機器でのみ再生できます。	—
	• CPRM対応のDVDにダビングした場合、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。	160
「管理情報がいっぱいです」「残量が足りないためダビングできません。」と**画面に表示された。**	• ダビング先のタイトルを削除してください。	—
	• ダビングするタイトルを減らしてください(ディスクの残量より少なくなるように減らしてください)。	52
	• 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください。	47

再生

症状	対処のしかた	参照ページ
再生が**始まらない。**	• BDやDVD、CDが裏返しや斜めにずれて入っていないか確認してください。	—
	• CD-ROMなどの再生できないディスクが入っていないか確認してください。	142
	• BDやDVDの地域番号（リージョンコード）が本機で再生できる番号になっているか確認してください。	143
	• 他機で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生できません。	—
再生がハードディスクやBD、DVDの**最初から**始まらない。	• オプションメニューから［はじめから再生］を選んでください。	39
	• 自動的にタイトルメニュー、BDまたはDVDメニューの画面が表示されるBDやDVDを入れています。	—
前回の**つづきから**再生できない。	• 下記の場合は最初から再生されます。 – ディスクトレイを開けたとき – 他のタイトルを再生したとき（ハードディスクやBD-RE、BD-Rを除く） – 再生の途中で停止したタイトルを編集したとき – ［映像設定］や［BD/DVD視聴設定］、［年齢制限設定］を変更したり、［設定初期化］を行ったとき（ハードディスクを除く）	—
再生が**自動的に**始まる／止まる。	• BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。	—
音声言語を変更できない。	• 再生しているBDやDVDに複数の言語が記録されているか確認してください。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
字幕を変更できない。	• 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されているか確認してください。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
	• DR以外のモードで録画すると字幕は焼きこまれません。	—
タイトルが**表示されない。**	• 「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したり（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）、インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのうち、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルリストなどに表示されません。視聴年齢制限を解除してください。	32
タイトルの**サムネイル**が表示されない。	• 一度再生して停止してください。	—
追いかけ再生できない。	• アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。	—
ハードディスクの「残量が足りません」と画面に表示された。	• ダウンロードしたBD-LIVEなどのデータを削除してください。	32

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
音が**出ない。**	• 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。	116
	• 接続ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。	—
	• AVアンプの入力切換で本機の音声が出るようになっているか確認してください。	—
	• [ドルビーデジタル]、[AAC]または[DTS]を[ダウンミックスPCM]に変更すると音声が出ることがあります。	83
HDMI接続したとき、音声が出ない。	• DVI機器の場合、音声は出力されません。	—
	• HDMI出力端子につないだ機器は、音声信号のフォーマットに対応させてください。[HDMI音声出力]を[2チャンネルPCM]に設定してください。	83
	• 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、音声を出力するHDMI出力端子に切り換えてください(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。	107
	• HDMI AV独立ピュア出力機能を使用するときは、HDMI出力2端子にAVアンプをつないでください(対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000)。	108
音が**小さい。**	• DVDによっては、再生時の音量が小さい場合があります。[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがあります。	84
二か国語放送の音声が切り換えられない。	• 二か国語放送(主音声および副音声)の音声をハードディスク(DRモード)、BD(DRモード)以外に記録できません。録画やダビングする前に、[二重音声記録]を[主音声]または[副音声]に設定してください。	86
	• HDMI出力端子に他機器をつないでいる場合、ハードディスク、BD、DVD-RW/-R(VRモード)、またはDVD-RAMの主音声または副音声を本機のリモコンを使って切り換えるには、[HDMI音声出力]を[マルチチャンネルPCM]または[2チャンネルPCM]に設定してください。	83
	• 外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声または副音声に切り換えてください。外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声+副音声に設定したい場合、本機で視聴中にオプションメニューから[音声設定]>[外部入力音声]>[二重音声]を選びます。視聴中の主音声または副音声は本機のリモコンの《音声切換》ボタンを押して切り換えることができます。記録する音声は、[二重音声記録]で設定した音声になります。	15、86

編集

症状	対処のしかた	参照ページ
「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。	• タイトルの編集回数が多い場合に表示されることがあります。編集中のタイトルを分割してください。	47

インターネットサービス

症状	対処のしかた	参照ページ
インターネットサービスの映像が**乱れる、映らない。**	• 利用するネットワークの回線速度を確認してください。「アクトビラ ビデオ・フル」のご利用には、実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。	—
	• 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットのご利用を停止してください。	—
画面上に、ダウンロードに失敗したというエラーが**表示**される。	• ダウンロード予定のタイトル数が50個を超えている場合は、いくつかダウンロードが完了してから再度行ってください。	28
ダウンロードが**遅い。**	• 他機器でインターネットを利用している場合や、以下の機能は利用を停止してください。 － BD-LIVEの再生 － ホームサーバー機能（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500） － インターネットサービスでページを表示、またはインターネットサービスで映像を再生 － x-Pict Story HDの作成 － ダビング － おでかけ転送（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500） － 録画など	16、28、32、36、52、57、68
ダウンロードしたタイトルが**見つからない。**	• 視聴年齢制限の設定を確認してください。	32、91
	• 視聴期限が過ぎているため、自動削除された可能性があります。自己メールを確認してください。	81

表示

症状	対処のしかた	参照ページ
本機前面の録画予約ランプが**点滅している。**	• 以下のことを確認してください。 － ハードディスクやBDの残量を確認してください。ハードディスクやBDの残量が足りない場合、不要なタイトルを削除し、残量を増やしてください。 － 本機に録画可能なBDが入っているか確認してください。 － BDがプロテクト（保護）されていないか確認してください。	40、55、142
録画モードが**正しく表示されない。**	• 10分未満の録画／ダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがあります。設定した録画モードで録画やダビングはされますが、表示が変わることがあります。	—
本体表示窓に**時計**が表示されない。	• 電源を切っているときは時計は表示されません。［本体表示の明るさ］を［明］または［暗］に設定している場合は、電源を切っているときに↑↓←→または《決定》ボタンを押すと、5秒間時計が表示されます。	89
本体表示窓に**エラーメッセージ『E5001』**が表示されている。	• 本機の内部温度が上昇していることをお知らせするメッセージです。本機を涼しいところに設置し内部温度が上昇しないようにしてください。	—

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンが**働かない。**	• 乾電池を交換してください。乾電池を交換すると、メーカー番号がお買い上げ時の設定に戻る場合があります。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直してください。	らくらくスタートガイド、97、98
	• 本体側のリモコンモードのみ変更すると、リモコンで本機を操作できなくなります。リモコン側のリモコンモードを本体側のリモコンモードに合わせてください。	100
	• リモコンを本体に向けたり、本体に近づけて操作してください。	—
	• リモコンの機器操作切換ボタンのうち、登録されている機器のボタン(《TV》ボタンなど)を押してから操作してください。	96
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のBD対応機器が**同時に動いて**しまった。	• 本機のリモコンモードを変更してください。お買い上げ時は「BD3」になっています。	99
リモコンの数字ボタンでチャンネルを**選ぶことができない**。	• 《チャンネル＋／－》ボタンで選んでください。	—

その他

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が「切」のときに本機の**ファンなどの動作音**がする。	• 電源「切」時に番組表の番組データを取得する際、本機のファンが動作することがあります。	—
	• ［スタンバイモード］が［瞬間起動］に設定されている場合、電源が「切」のときでもファンが動作し続けることがあります。	89
	• ［高速連動］が［入］に設定されている場合、電源が「切」のときでもファンが動作し続けることがあります。	90
	• 録画中またはダビング中、ホームサーバー機能*や「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワーク録画*、リモート録画予約機能を利用しているときは、電源が「切」でもファンが動作し続けます。 * 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。	—
	• 本機に挿入したB-CASカードが契約切れや無料視聴期間中、スカパー！ｅ２の無料視聴期間サービスを利用している場合、本機が確認のための通信動作を行うため、ファンが動作し続けます。	—
	• ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、ファンが回り続けます。	133
HDMI機器制御機能が**働かない。**	• ［HDMI機器制御］が［入］になっているか確認してください。	90
	• つないだ機器がHDMI機器制御機能に対応しているか、つないだ機器のHDMI機器制御機能の設定を確認してください(つないだ機器の取扱説明書をご覧ください)。	—
	• AVアンプを通してテレビにつないだ場合に、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電があった場合は、本機の再生映像がテレビに映るようにAVアンプの入力を切り換えてください。次に、本機の［HDMI機器制御］の設定を一度［切］にし、その後［入］に再設定してください(お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください)。	90
	• HDMI機器制御に対応していないAVアンプを通してテレビにつなぐと、HDMI機器制御機能が正しく働きません。	—

症状	対処のしかた	参照ページ
HDMI機器制御機能が**働かない。**	• 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンの設定と、HDMI出力1/2端子の接続が正しいか確認してください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	107
	• HDMI AVピュアに切り換えていると、HDMI機器制御機能が働きません。本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、HDMI出力1/2に切り換えてください（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	107、108
	• 1台のテレビでHDMI機器制御できる録画機器は3台までです。	—
ホームサーバー対応の他機器から本機のタイトルを再生できない。または、他機器から**本機が見つからない**（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。	• [未登録機器一覧]で機器登録をすると、本機のタイトルを再生できるようになります。	92
	• 以下の場合は他機器から本機のタイトルを再生できません。 ー 本機の設定を変更しているとき ー BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生しているとき ー 再生を伴うタイトル編集をしているとき*[1] ー タイトルダビングをしているとき*[2] ー まるごとDVDコピーをしているとき ー x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中 ー x-Pict Story HDを作成しているとき ー おでかけ／おかえり転送しているとき ー 写真の取り込み中 ー インターネットサービスのビデオ映像を視聴しているとき *[1] 再生を伴うタイトル編集とは、以下の編集内容のことです。 サムネイル設定、チャプター編集、部分削除、タイトル分割、プレイリスト作成 *[2] HDV/DVダビングを利用しているときは、他機器で再生できます（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）。	—
	• 本機がホームネットワークに接続されているか確認してください。	91、92
	• DRモード以外で録画したタイトルは、他機器で再生できない場合があります。詳しくはお使いの他機器の取扱説明書をご覧ください。対応機器についてはソニー製品情報のホームページ（http://www.sony.jp/event/DLNA/）をご覧ください。	—
正常に**動作しない。**	• 本機前面の《リセット》ボタンを押してください。	135
	• 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って本体表示窓が消灯してから電源コードを抜いてください。しばらく経ってから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。	—
自動的に**再起動**する。	• 本機に不具合が生じたときに、本機が自動的に再起動することがあります。	—
アルファベットと数字で**5桁の番号が**本体表示窓に出ている。	• 自己診断機能が働いています。	117
《開／閉》ボタンを押しても**ディスクトレイ**が開かない。	• BDやDVDに録画やダビング、編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。	—
	• どうしてもディスクトレイが開かないときは、電源を切って電源コードを抜きます。本機前面の《開／閉》ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら《開／閉》ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、本機前面の《リセット》ボタンを押してください。	135

それでも困ったときは

サポートホームページで調べる

ブルーレイディスク／ DVDレコーダーサポート・お問い合わせ

パソコンなどでインターネットに接続できるときは、
「ブルーレイディスク／ DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ
http://www.sony.jp/support/bd/
をご覧ください。
「「ブルーレイディスク／ DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ」では、ブルーレイディスクレコーダーに関するトラブル解決方法や活用方法、ブルーレイディスクレコーダーを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

困ったときは

電話で問い合わせる

電話でお問い合わせの前に

ソニーの相談窓口へご相談になるときは、以下の内容をご用意ください。

- 型名:
- ディスクの種類:
- 接続しているアンテナ:
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名:
- 故障の状態:できるだけ詳しく
- 購入年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 ……………0466-31-2531 ※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「100」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

放送･サービスに関するお問い合わせ

有料BS/110度CSデジタル放送局

	お問い合わせ先
WOWOW	電話番号:0120-580807 受付時間:9:00 ～ 20:00(年中無休) ホームページ:http://www.wowow.co.jp/
スター･チャンネル	電話番号:0570-013-111または 045-339-0399 受付時間:10:00 ～ 18:00(年中無休) ホームページ:http://www.star-ch.jp/

110度CSデジタル衛星サービス会社

	お問い合わせ先
スカパー!e2(CS1･CS2)	電話番号:0570-08-1212 045-276-7777(PHS、IP電話) 受付時間:10:00 ～ 20:00(年中無休) ホームページ:http://www.e2sptv.jp/

受信地域(エリア)や受信方法などのデジタル放送全般について

	お問い合わせ先
(社)デジタル放送推進協会(Dpa)	ホームページ:http://www.dpa.or.jp/

地上デジタル放送の受信相談について

	お問い合わせ先
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話番号:0570-07-0101 受付時間:平日9:00 ～ 21:00 土･日･祝日9:00 ～ 18:00

B-CASカードについて

	お問い合わせ先
B-CASカスタマーセンター	電話番号:0570-000-250 受付時間:10:00 ～ 20:00(年中無休)

アクトビラについて

	お問い合わせ先
アクトビラ･カスタマーセンター	電話番号:0570-091017 受付時間:平日10:00 ～ 18:00 メールアドレス:info@desk.actvila.jp ホームページ:http://actvila.jp/(パソコン、携帯電話)

TSUTAYA TVについて

	お問い合わせ先
TSUTAYA TVカスタマーサービス	電話番号:0570-002822 044-862-1902(PHS、IP電話) 受付時間:10:00 ～ 19:00 ホームページ:http://tsutaya-tv.jp/

携帯電話でのリモート予約について

	お問い合わせ先
登録方法、携帯電話機種および機能に関するお問い合わせ	ホームページ: http://ipg.jp/ra/(パソコン) http://ipg.jp/k/(携帯電話)
NTTドコモ携帯電話むけGガイド番組表リモコン事務局	メールアドレス:help@ggmobile.jp
au携帯電話むけGガイド番組表事務局	メールアドレス:help-au@ggmobile.jp
ソフトバンク携帯電話むけGガイドモバイル事務局	メールアドレス: help-ggm_sbm@ggmobile.jp

Gガイド.テレビ王国について

	お問い合わせ先
登録方法･機能に関するお問い合わせ	ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/tv/dvr/
Gガイド.テレビ王国サポート	ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/tv/support/

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

アップデート(ソフトウェア更新)の条件について

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます。
条件1:地上デジタル放送またはBSデジタル放送を安定して受信できている。
条件2:[ソフトウェアアップデート]が[自動](お買い上げ時の設定)になっている(89ページ)。

データのダウンロードの実行について

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデートの実行について

本機がソフトウェア更新用のデータを正常に取得すると、電源が入っていないときソフトウェアの更新を自動的に開始します。電源が入っているときは電源を切ったあとで開始します。
ソフトウェア更新中は本機中央の白いランプが点滅し、表示窓に進行状況が表示されます。完了して表示窓が消灯するまで電源コードを抜かないでください。

ちょっと一言

- お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

アップデートが正常に終了すると

「アップデート終了のお知らせ」のメールが届きます。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容(コンテンツ)については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容(コンテンツ)の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBDレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

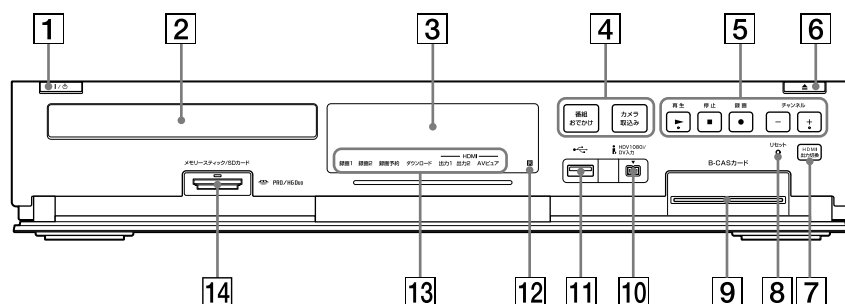
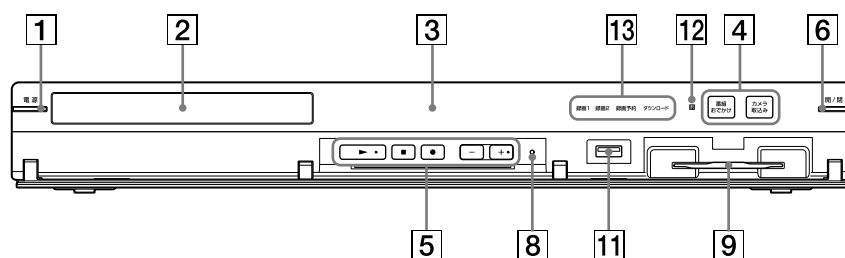
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

その他

各部のなまえ

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面

BDZ-AX2000 / AX1000

BDZ-AT900 / AT700 / AT500 / AT300S

イラストはBDZ-AT900 / AT700 / AT500です。

1 **I/⏻電源ボタン**

2 **ディスクトレイ**

3 **表示窓（137）**

4 **番組おでかけボタン／ランプ*[1]（62）**
カメラ取込みボタン／ランプ（73）

5 **再生*[2]ボタン**
停止ボタン
録画ボタン
チャンネル＋*[2]／－ボタン

6 **⏏開／閉ボタン**
ディスクトレイを開閉します。

7 **HDMI出力切換ボタン（107、108）**

8 **リセットボタン（116）**

9 **B-CASカード挿入口**

10 **HDV1080i/DV入力端子（113）**

11 **⭠ (USB)端子（113）**

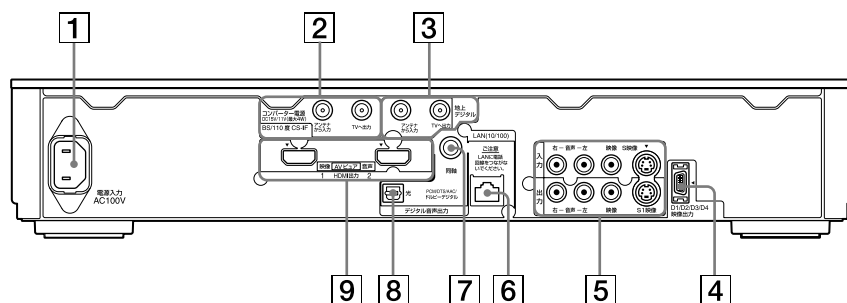
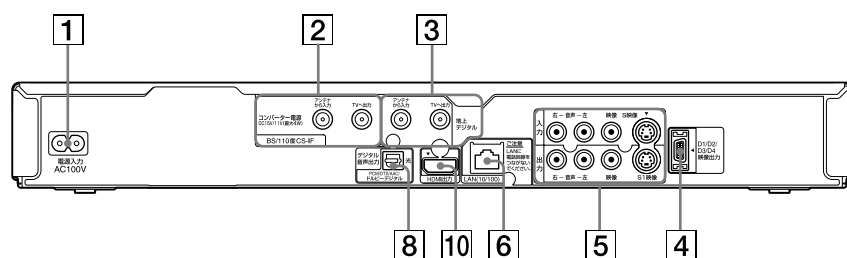
12 **リモコン受光部**

13 **録画ランプ（17）**
録画予約ランプ（17）
ダウンロードランプ（28）
HDMI出力1/2/AVピュアランプ*[3]（107、108）

14 **“メモリースティック”／ SDカードスロット（113）**
メモリーカードランプ（72）

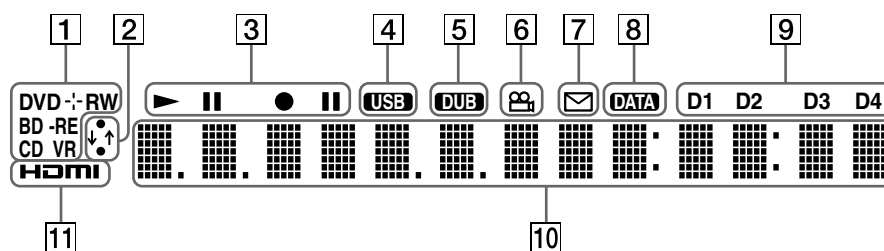
*[1] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。
*[2] 凸（突起）が付いています（チャンネル＋／－ボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。
*[3] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。

本体後面

BDZ-AX2000 / AX1000

BDZ-AT900 / AT700 / AT500 / AT300S

イラストはBDZ-AT900 / AT700 / AT500です。

1 電源入力端子
2 BS/110度CS-IF入力／出力端子（102）
3 地上デジタル入力／出力端子（102、103）
4 D1/D2/D3/D4映像出力端子（105）
5 音声／映像／ S映像入力端子（109、112）
音声／映像／ S1映像出力端子（105、106）

6 LAN（10/100）端子（110）
7 デジタル音声出力 同軸端子（106）
8 デジタル音声出力 光端子（106）
9 HDMI出力1/2端子（105 ～ 108）
10 HDMI出力端子（105、106）

表示窓

1 **BD/DVD/CD表示(種類、記録フォーマット)**
BDとDVD(またはCD)のハイブリッドディスクの場合は、BDを表示します。

2 **通信表示**
ネットワークで通信中であることを表示します。

3 **HDD/BD/DVD再生記録表示**
それぞれのディスクの再生／記録動作を表示します。

4 **USB表示**
USB機器接続時に点灯、ダビング時／おでかけ·おかえり転送時*[1]に点滅します。

5 **ダビング表示**
ダビング中に点灯します。

6 **ANGLE(アングル)表示**
複数アングルの映像が記録されているときに点灯します。

7 **お知らせ(メール)表示**
未読メールがあるときに点灯します。

8 **番組表受信表示**

9 **D映像出力表示**

10 **再生経過時間／メッセージなどを表示**

11 **HDMI表示**
HDMIケーブルで本機に接続された機器が、本機によって認識されているときに点灯します。

*[1] 対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。

ちょっと一言
- ［本体表示の明るさ］で表示窓の明るさを設定できます(89ページ)。
- 電源が「切」のとき、表示窓は消灯します。

表示窓の表示文字

使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。

起動などの処理中のとき

PLEASE WAIT

ビデオカテゴリーを選んだとき

HOME VIDEO

ソフトウェアアップデート実行中のとき*[2]

UPDATE XX%

クイックタイマー動作中のとき*[2]

HDD X:XX

ディスク読み込み中のとき

LOAD

ディスクフォーマット中のとき

FORMAT

ファイナライズ中のとき

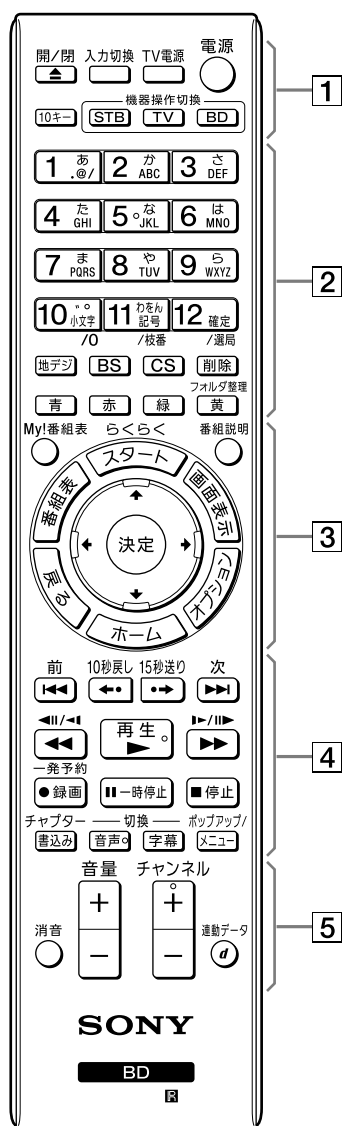
FINALIZE

録画終了処理中のとき

INFO WRITE

*[2] XXには数字が表示されます。

リモコン

1

開／閉	入力切換	TV電源	電源
ディスクトレイを開閉します。	本機の入力を切り換えます。	テレビの電源を入／切します。	本機の電源を入／切します。
10キー(14)	機器操作切換(96)		

2

数字ボタン1 ～ 12*(14、55、139)

地デジ／ BS/CS(14)　　削除(41)

カラーボタン(5、33、139)

3

My ！番組表(19)	らくらくスタート 「らくらくスタートガイド」をご覧ください。	番組説明(161)
番組表(5、18)	⇧⇩⇦⇨ ／決定(4)	画面表示(33、69)
戻る(4)	ホーム(4)	オプション(4、15、29、37、56、63、78)

4

前(35)	10秒戻し／ 15秒送り(35)	次(35)
◀II/◀I/◀◀(35)	再生*(37)	II▶/I▶/▶▶(35)
一発予約／録画(27)	一時停止(35)	停止 録画、再生などを停止します。
チャプター書込み(34)	音声切換*／字幕切換(14)	ポップアップ／メニュー(35)

5

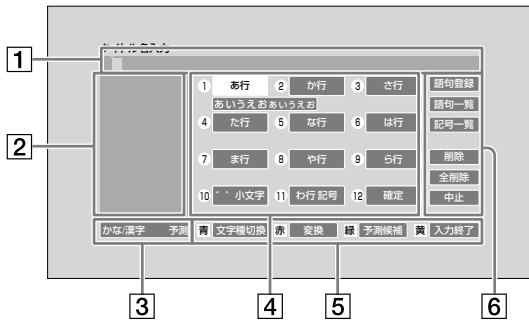
消音	音量＋／－	チャンネル＋*／－	*d*連動データ(14)
音量を消します。	音量を調節します。	(14)	

* 凸(突起)が付いています(数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋／－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

- 本機の電源が「切」のときに以下のボタンを押すと、本機の電源が入ります。
  《らくらくスタート》ボタン／《開／閉》ボタン／《ホーム》ボタン／《番組表》ボタン／ ▶《再生》ボタン／《My ！番組表》ボタン

文字入力のしかた

文字入力画面は、文字を入力する項目を選ぶと表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画したタイトルの名前を変えるときに使います。

1 **入力文字表示エリア**

入力できる最大文字数は次のとおりです。

	全角文字数	半角文字数
ハードディスク、BDに録画したタイトル名	40文字	80文字
BDディスク名	69文字	138文字
DVDディスク名	32文字	64文字
キーワード入力	10文字	20文字
タイトルマーク名	20文字	40文字
写真のアルバム名	16文字	32文字

2 **候補パネルエリア**

予測変換候補などを表示します。

3 **入力文字／変換モード**

選んでいる入力文字の種類と候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

4 **文字選択／変換／確定操作欄**

リモコンの数字ボタン(《1》～《12》)を押して入力する方法と、↑↓←→で入力する方法があります(139ページ)。

5 **機能ボタン**

項目	できること
文字種切換	《青》ボタンを押して文字の種類を切り換えます。
変換	《赤》ボタンを押して漢字／カタカナに変換したり、英字や数字入力中は全角／半角を切り換えたりします。
予測候補	《緑》ボタンを押して予測変換候補を表示します。英字入力中は大文字／小文字を切り換えます。
入力終了	《黄》ボタンを押して入力した文字を確定し、文字入力画面を終了します。

6 **画面内操作ボタン**

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアの語句を20件まで登録できます。
語句一覧	登録した語句の一覧を表示します。登録解除もできます。
記号一覧	記号の一覧を表示します。
削除	カーソルの後の1文字を削除します。後に文字がないときは、前の1文字を削除します。
全削除	入力した文字をすべて削除します。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアの文字は記録されません。

ちょっと一言

- 文字入力画面の[記号一覧]から選べる 二 (二か国語放送)や 字 (字幕放送)は、キーワード検索で使用できます。

ご注意

- 電源コードを抜き差ししたり、再起動(リセット)したりすると、変換に関する学習データが削除されます。

文字を入力するには

1 文字を入力する。

数字ボタンで入力するときは、対応する数字ボタンをくり返し押します。

↑↓←→で入力するときは、[あ行]などを選び、《決定》ボタンを押します。

次に→で[お]など入力したい文字を選び、《決定》ボタンを押します。

2 変換する。

《赤》ボタンを押します。

3 候補パネルエリアから変換候補を選ぶ。

変換候補を選び、《決定》ボタンを押します。

4 入力を終了する。

《黄》ボタンを押します。

文字を挿入するには

入力文字表示エリアにカーソルを動かした後、挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。数字ボタンまたは↑↓←→を使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

主な仕様

システム

形式：BD/DVD ／ハードディスクレコーダー
受信チャンネル：
地上デジタルチューナー：UHF、CATV
BS/110度CSデジタルチューナー：1032 ～ 2071MHz
映像受信方式：周波数シンセサイザー方式
音声受信方式：スプリットキャリア方式
アンテナ入出力：
地上デジタル：75 Ω F型コネクター
BS/110度CS IF：75 Ω F 型コネクター
（コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、
芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え）
タイマー：
時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示
映像記録方式：
MPEG-4 AVC（ハードディスク／ BD）（DRモード以外とスカパー！ HD録画時*[1]）／（おでかけ転送）*[1]
MPEG-2 （ハードディスク／ BD）（スカパー！ HD録画*[1] 以外のDRモード時）／（DVD）
音声記録方式／ビットレート：
Dolby Digital （2ch 256kbps/5.1ch 448kbps）（ハードディスク／ BD/DVD）（DRモード以外）
MPEG-4 AAC（おでかけ転送）*[1]
MPEG-2 AAC（ハードディスク/BD）（DRモード時）
MPEG-1 Layer2（ハードディスク/BD）（DRモードでHDVダビング時）*[2]
*[1] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。
*[2] 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。

入力／出力端子

映像入力：
入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力：
出力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力：
入力1系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω、色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力：
出力1系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω、色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力：
入力1系統、ピンジャック入力レベル：2 Vrms
（入力インピーダンス：22 kΩ以上）
音声出力：
出力1系統、ピンジャック出力レベル：2 Vrms
（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル音声出力：
BDZ-AX2000 / AX1000：
光：角型光ジャック1系統／ -18 dBm
（発光波長660 nm）
同軸：ピンジャック1系統／ 0.5 Vp-p/75 Ω
BDZ-AT900 / AT700 / AT500 / AT300S：
光：角型光ジャック1系統／ -18 dBm
（発光波長660 nm）
D1/D2/D3/D4映像出力：
D映像出力1系統
Y：1.0 Vp-p/75 Ω、P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、
P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω
HDMI出力：
BDZ-AX2000 / AX1000：
19ピン標準コネクタ（TypeA）2系統
BDZ-AT900 / AT700 / AT500 / AT300S：
19ピン標準コネクタ（TypeA）1系統
HDV/DV入力：
BDZ-AX2000 / AX1000：
i.LINK 4ピン HDV1080i/DV入力1系統
USB端子：
BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500：
Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）1系統
（デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、“メモリースティック”USBリーダー／ライター、“ウォークマン”、PSP®、携帯電話、“nav-u”接続用）
BDZ-AT300S：
Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）1系統
（デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、“メモリースティック”USBリーダー／ライター、“ウォークマン”、PSP®接続用）
メディアスロット：
BDZ-AX2000 / AX1000：
メモリーカードスロット×1
（“メモリースティック”／ SDメモリーカード スロット）
LAN端子：
10BASE-T/100BASE-TX
（ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）

電源・その他

電源：AC100 V、50/60 Hz
消費電力：
BDZ-AX2000：
動作時：47W
待機時：0.08W（スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）
BDZ-AX1000：
動作時：45W
待機時：0.08W（スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）
BDZ-AT900：
動作時：39W
待機時：0.08W（スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）
BDZ-AT700 / AT500：
動作時：37W
待機時：0.08W（スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）
BDZ-AT300S：
動作時：29W
待機時：0.08W（スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）
最長録画時間：12時間
最大チャプターマーク数：98個
最大録画番組数：
ハードディスク：999、BD-R/RE：200
最大予約数：130件
写真の最大取り込み枚数：10,000枚
アルバムの最大数：200個
アルバム内の最大写真数：500枚
1フォルダから取り込める最大写真数：500枚
一度に取り込める最大写真数：4,000枚
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（最大突起含む）：
BDZ-AX2000 / AX1000：430×81×288 mm
BDZ-AT900 / AT700 / AT500：430×56×284 mm
BDZ-AT300S：430×49.5×284 mm
ハードディスク容量：
BDZ-AX2000：2テラバイト
BDZ-AX1000 / AT900：1テラバイト
BDZ-AT700 / AT300S：500ギガバイト
BDZ-AT500：320ギガバイト
本体質量：
BDZ-AX2000：約6.3kg
BDZ-AX1000：約6.1kg
BDZ-AT900：約3.9kg
BDZ-AT700：約3.8kg
BDZ-AT500：約3.8kg
BDZ-AT300S：約3.5kg
許容動作温度／許容動作湿度：
5 ℃～ 35 ℃／ 25 %～ 80 %

付属品

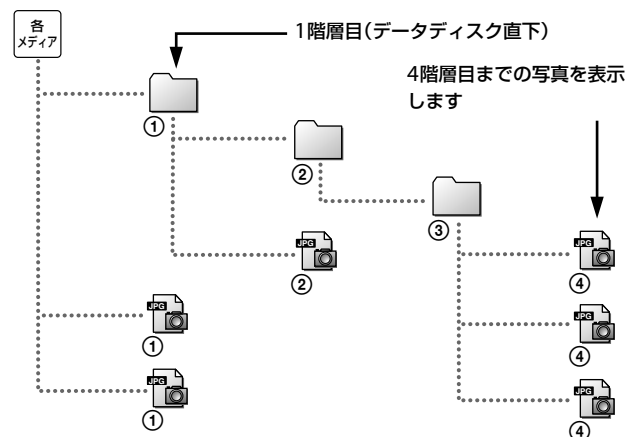
- B-CASカード使用許諾契約約款（1部）
- B-CASカード（1）（B-CASカードは台紙に貼り付けてあります。）
- リモコン（1個）
- 単3形（R6）乾電池（2個）
- アンテナケーブル（1本）
- 電源コード（1本）*
- 映像／音声ケーブル（1本）
- らくらくスタートガイド（1部）
- 取扱説明書（本書）（1部）
- 保証書（1部）
- ソニーご相談窓口のご案内（1部）

* 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機で取り込み／再生できるアルバムや写真について

本機で取り込み／再生できる写真は、圧縮方式がJPEG方式で、ファイル名形式がDCF形式*[1]のものです。

*[1] （社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"のことです。

各メディア直下（ルート）を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存した写真を認識します。

ご注意

- ファイル名、フォルダ名がISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット（Joliet）に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- 501個以上のファイル*[2]やフォルダを1つの階層で表示できません。500個を超えた場合は、一部表示されません。

*[2] JPEG以外のファイルも含む。

- 以下のファイルを再生すること、ハードディスクに取り込むことはできません。画面上の写真の一覧には表示されますが、再生すると が表示され再生できません。
  - 縦または横のいずれかが、8,192ドット以上の写真
  - 縦または横のいずれかが、15ドット以下の写真
  - ファイルサイズが32MBを超える写真
  - 横縦のサイズ比が50：1より横長、あるいは1：50より縦長の写真
  - プログレッシブJPEG形式の写真
  - BD-RにUDF2.6以外で記録された写真
  - BD-REにUDF2.5以外で記録された写真

利用できるディスク一覧

本機で録画・ダビングできるディスク（12cmのみ）

	BD-RE	BD-R	DVD-RW（VR）	DVD-RW（ビデオ）	DVD-R（VR）	DVD-R（ビデオ）
対応バージョン／倍速	Ver.2.1（1層／2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2/1.3（1層／2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層／4層）に対応した4倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2　CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0/2.1　CPRMに対応した16倍速メディアまで	
本機で行いたいこと						
デジタル放送番組の録画*[1]	○	○	×	×	×	×
デジタル放送、ビデオカメラ映像をハイビジョン画質のままダビング	○	○	×	×	×	×
デジタル放送番組などの録画映像を標準画質でダビング	○	○	○（CPRM）	×	○（CPRM）	×
ビデオカメラなどから取り込んだ映像を標準画質でダビング	○	○	○	○	○	○
二か国語放送の両音声を記録	○*[2]	○*[2]	×	×	×	×
文字放送の字幕を記録	○*[2]	○*[2]	×	×	×	×
文字放送の字幕をダビング*[3]	○	○	○	○	○	○
1つのタイトルに16:9/4:3の映像を混在して記録	○*[2]	○*[2]	×	×	×	×
ディスク上の映像（タイトル）を編集	○	○	×	×	×	×
静止画のHDD→ディ スク書き出し	○	○	×	○*[4]	×	○*[5]
ディスクの互換性	多くのBD機器で再生可能*[6]	多くのBD機器で再生可能*[6]	VRモード対応の機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	-R VRモード対応の機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

*[1] インターネットサービス（アクトビラ、TSUTAYA TV）／「スカパー！ HD」の映像・番組の直接録画はできません。
*[2] 録画モードがDRモードのときのみ。
*[3] DRモードで録画した字幕付きデジタル放送の番組を、録画モードがDRモード以外で字幕をダビングするときは、［字幕焼きこみ］の設定が必要です（86ページ）。
*[4] 書き出しの操作手順にてディスクを初期化する確認画面が表示され、初期化が必要となります。
*[5] 新品ディスクにのみ書き出しが可能です。
*[6] DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。BD-RE（3層）／ BD-R（3層／ 4層）は、BD-RE（3層）／ BD-R（3層／ 4層）に対応したBD機器で再生可能です。

本機への取り込み・再生できる他機器録画ディスク

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

BD	BD-RE（1層／ 2層／ 3層）／ BD-R（1層／ 2層／ 3層／ 4層）
DVD	DVD-RW（VR ／ビデオ）*[1] *[4]
	DVD-R/DVD-R DL（2層）（VR ／ビデオ）*[1] *[4]
	DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（2層）*[1] *[4]
	DVD-RAM*[2]
CD	CD-R/CD-RW（CD-DA）*[3] *[4]

*[1] AVCHD方式で録画したディスクも可能。
*[2] DVD-RAMは、Ver2.0、Ver.2.1、Ver.2.2に対応。カートリッジ方式（Type1を除く）のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出して使用してください。
*[3] CD-R/CD-RWは、静止画と音楽が取り込めます。
*[4] 他機器で記録したディスクは、記録した機器でファイナライズ処理が必要です。

再生のみできるディスク

BD	BD-ROM
DVD	DVDビデオ
CD	CD（CD-DA）
	Super Audio CD*

* CDレイヤーのみ。

ご注意

- 表に記載のないディスクは、本機で対応していません。
- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどのくり返し録画可能なディスクやハードディスクで必ず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 本機でダビングしたDVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）は、DVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。
- 2層など複数レイヤー（層）のBD/DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像・音声が一瞬途切れることがあります。

- 他機で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-R、DVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、DVD-RAM、またはCD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、DVD-RW(VRモード)以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVDは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されない場合があります。
- 本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
- パソコンで記録したデータのうち、本機で読み込めないデータは、削除されることがあります。

以下のことはできません

- 地域番号(リージョンコード)が「A」を含まないBD-ROMを再生すること。
- 地域番号(リージョンコード)が「2」または「ALL」以外のDVDを再生すること。
- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクを再生すること。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDを再生すること。
- 1枚のDVD-RWまたはDVD-RにVRモードとビデオモードを同時に設定すること。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度初期化してください(52ページ)。ただし、それまでにダビングした内容は削除されます。またDVD-R(VRモード/ビデオモード)は再度初期化できません。
- DVD-RW/DVD-Rを単独で初期化すること。
  ダビング時にのみ初期化が可能です。BD-REは、オプションメニューから単独で初期化が可能です。
- デジタルカメラで作成したフォトムービーなどを本機で編集すること。
- BDMVのディスクを編集すること。
- 本機で記録していないBDMVのディスクにダビングすること。

利用できるメモリーカード一覧

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000

動作確認をしたメモリーカードの種類については、http://www.sony.jp/support/bd/をご覧ください。

メモリーカードの種類*[1]	動作確認した最大サイズ
"メモリースティック デュオ"(マジックゲート非対応)	32 MB
"マジックゲート メモリースティック デュオ" *[2]	128 MB
"メモリースティック デュオ"(マジックゲート対応)*[2]	128 MB
"メモリースティック PRO デュオ" *[2]	32 GB
"メモリースティック PRO-HG デュオ"	32 GB
"メモリースティック マイクロ"("M2")*[2] *[3]	8 GB
SDメモリーカード *[4]	2 GB
SDHCメモリーカード *[4]	32 GB
SDXCメモリーカード *[4]	64 GB
miniSDカード *[3] *[4]	2 GB
microSDカード *[3] *[4]	2 GB
microSDHCカード *[4]	8 GB

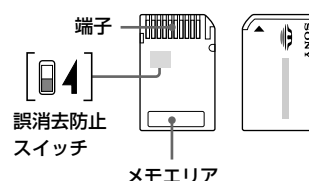
*[1] すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。本機が対応していないメモリーカードを使用した場合の動作は保証いたしません。転送速度はご使用のメモリーカードによって異なります。

*[2] マジックゲート(ソニーが開発した著作権保護技術)を使用したデータの記録や再生はできません。

*[3] 別売りのアダプターが必要です。

*[4] 著作権保護機能には対応しておりません。

ご注意

- 上記以外のメディアやデバイスを、本機に挿入しないでください。
- 差し込まれているメモリーカードに強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- メモリーカードは、向きを確かめてまっすぐに差し込んでください。無理に押し込むとメモリーカードや本機を破損するおそれがあります。
- 取り込み中にメモリーカードを取り出さないでください。データ破損の原因になります。
- メモリーカードは、幼児などが誤って飲み込まないよう、手の届かない場所に保管してください。
- 誤消去防止スイッチが付いていない"メモリースティック デュオ"をご使用の際は、誤ってデータを編集したり削除しないようご注意ください。
- 誤消去防止スイッチが付いている"メモリースティック デュオ"をご使用の際は、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、削除ができません。

録画モードと録画／ダビング可能時間について

ハードディスク／ BDの録画モードと録画可能時間

録画モード		HDDへの録画可能時間*1（目安）				BDへの録画可能時間*1（目安）			
		BDZ-AX2000	BDZ-AX1000 / AT900	BDZ-AT700 / AT300S	BDZ-AT500	1層（25GB）	2層（50GB）	3層（100GB）	4層（128GB）
DR（デジタル放送画質*2）									
	地上デジタル（HD）放送録画時	約249時間	約122時間	約58時間	約35時間	約3時間	約6時間5分	約12時間20分	約15時間45分
	BS/110度CSデジタル（HD）放送録画時	約176時間	約86時間	約41時間	約25時間	約2時間10分	約4時間20分	約8時間45分	約11時間10分
	BS/110度CSデジタル（SD）放送録画時	約385時間	約189時間	約90時間	約55時間	約4時間40分	約9時間30分	約19時間5分	約24時間25分
	HDVの映像取り込み時*3	約157時間	約77時間	—	—	約1時間55分	約3時間50分	約7時間45分	約9時間55分
XR（AVC16M）	（高画質）	約260時間	約127時間	約61時間	約37時間	約3時間10分	約6時間25分	約12時間50分	約16時間25分
XSR（AVC11M）	↑	約373時間	約183時間	約88時間	約53時間	約4時間35分	約9時間10分	約18時間25分	約23時間35分
SR（AVC8M）	（標準）	約498時間	約244時間	約117時間	約71時間	約6時間5分	約12時間15分	約24時間35分	約31時間30分
LSR（AVC4M）		約996時間	約488時間	約234時間	約143時間	約12時間10分	約24時間35分	約49時間15分	約63時間
LR（AVC3M）	↓	約1,414時間	約693時間	約333時間	約203時間	約17時間20分	約34時間55分	約70時間	約89時間30分
ER（AVC2M）	（長時間録画）	約1,992時間	約977時間	約469時間	約286時間	約24時間25分	約49時間10分	約98時間35分	約126時間5分

*1 次のようなときに録画時間が異なることがあります。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
- 編集されたBDに追加して録画する場合
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合
- 動きの激しい動画を録画した場合
- [高速転送録画]を[入]に設定した場合（87ページ）、HDDの録画時間が短くなります（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）

*2 デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。

*3 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。

ハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード		DVDへの記録可能時間*（目安）
XP	（高画質）	約1時間
XSP	↑	約1時間30分
SP	（標準）	約2時間
LSP	↓	約2時間30分
LP	（長時間録画）	約4時間

* 次のようなときに記録時間が異なることがあります（XSP ～ LPのみ対象）。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合
- 編集されたDVDに追加してダビングする場合
- 静止画像や音声のみのタイトルをダビングした場合

表の数値は目安です。記録する内容によって変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（長時間録画のモードでは、特にその差が著しくなります。）残量に余裕がある状態で記録してください。

- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なるため、残量表示は、地上デジタル放送（17Mbps時）またはBS/110度CSデジタル（HD）放送（24Mbps時）として計算されます。そのため、実際の残量と異なる場合があります。

ハードディスクからBDへの高速ダビング所要時間一覧(60分番組の場合)*

録画モード		2倍速メディア使用時	4倍速メディア使用時	6倍速メディア使用時
DR	地上デジタル(HD)放送	約14分35秒	約7分30秒	約5分25秒
	BS/110度CSデジタル(HD)放送	約20分35秒	約10分35秒	約7分35秒
	標準テレビ信号(SD)放送	約9分30秒	約4分55秒	約3分30秒
	HDV	約23分10秒	約11分55秒	約8分35秒
XR	(高画質)	約14分20秒	約7分20秒	約5分15秒
XSR		約10分00秒	約5分10秒	約3分40秒
SR	(標準)	約7分30秒	約3分50秒	約2分45秒
LSR		約3分45秒	約1分55秒	約1分25秒
LR		約2分40秒	約1分25秒	約1分00秒
ER	(長時間録画)	約1分55秒	約1分00秒	約45秒

* 表中の所要時間は目安です。ディスク管理情報の作成時間も加わります。
  ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間が変わります。

「スカパー! HD」対応チューナーが受信する番組と本機の録画可能時間

録画可能時間は目安です。録画時間を保証するものではありません。
「スカパー! HD」対応チューナーと本機では、録画時間の残量表示が異なる場合があります。
録画可能時間について詳しくは、下記のホームページをご覧いただくか、下記のご相談窓口までお問い合わせください。
ホームページ:http://sptvhd.jp/rokuga
スカパー!チューナーご相談窓口:0570-080-060

「スカパー! HD」対応チューナーが受信する番組	本機の録画可能時間			
	BDZ-AX2000	BDZ-AX1000 / AT900	BDZ-AT700	BDZ-AT500
スカパー!ハイビジョンチャンネル	約480時間 (約260 ~ 600時間)*	約240時間 (約130 ~ 300時間)*	約120時間 (約65 ~ 150時間)*	約77時間 (約42 ~ 96時間)*
スカパー! 3Dチャンネル	約300時間	約150時間	約75時間	約48時間
スカパー!標準画質チャンネル	約820時間 (約520 ~ 1580時間)*	約410時間 (約260 ~ 790時間)*	約205時間 (約130 ~ 395時間)*	約132時間 (約84 ~ 252時間)*

* 録画可能時間は録画する番組により異なります。( )の時間は変動する録画可能時間の目安です。

録画中／ダビング中／転送中の同時動作一覧

○＝実行できる　×＝実行できない

実行する機能		番組録画中	高速ダビング／高速転送*1中
録画中以外の放送チャンネルの視聴		○*2	○
ブラビアリンクの「見て録」		○*2	×
HDDやBDに記録したタイトルの再生		○*3	○*4
BD-ROMの再生		○*3 *5	×
DVDに記録したタイトルの再生		○*3	×
早見再生		○	○
ホームサーバーへのタイトル出力*1		○*5	×
フォトコピー／切り出し		○	×
編集	名前変更／マーク設定／タイトル結合	○*6	○*6
	サムネイル設定／チャプター編集／部分削除／タイトル分割	○*6 *7	×
	プレイリスト作成	○*6	×
HDD⇔BDダビング（高速のみ）		○*3	×
HDD⇔BD/DVDダビング（録画モード変換ダビングを含む）		×	×
おでかけ転送（転送用動画ファイルの作成を含む）*1		×	×
おでかけ転送（高速のみ）／おかえり転送*1		○*2	×
フォト再生／取り込み		○*3	○*8 *11
思い出ディスクダビング		×	×
x-ScrapBook		○	×
x-Pict Story HD		×	×
まるごとDVDコピー		×	×
VHSダビング		○*2 *9	×
AVCHDダビング		○	×
HDV/DVダビング*10		○*2 *9 *12	×
インターネットサービスのストリーミング視聴		×	×

*1 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。
*2 2番組同時録画中（BDZ-AT300Sでは録画中）はできません。
*3 BDへの録画中は、ディスクの操作はできません。
*4 BDの再生はできません。
*5 「スカパー！ HD」録画中は、できません（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500）。
*6 BDへの録画中またはダビング中は、BDタイトルの編集はできません。
*7 HDDへの録画中のタイトルでは編集できません。
*8 フォト取り込みはできません。
*9 外部入力からの録画中、DV録画中はできません。
*10 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。
*11 高速転送中はUSB機器、メモリーカード（対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000）は再生できません。
*12 HDV/DV録画中はできません。

本機の省エネ対応について

本機動作時は、本体表示の明るさ設定（89ページ）によって消費電力を軽減できます。
待機時の消費電力と起動時間の関係については、以下の表をご覧ください。

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000

スタンバイモード（89ページ）	消費電力	起動時間*5
低消費待機	0.08W*1	約40秒（約50秒）
標準	0.2W*1 0.6W*2 *3 約20W*2 *4	約8秒（約17秒）
瞬間起動 BDZ-AX2000 / AX1000	約30W*2 ／約28W*2	約0.5秒（約3秒）

対象機種：BDZ-AT900 / AT700 / AT500

スタンバイモード（89ページ）	消費電力	起動時間*5
低消費待機	0.08W*1	約40秒（約50秒）
標準	0.2W*1 0.6W*2 *3 約16W*2 *4	約7秒（約15秒）
瞬間起動	約22W*2	約0.5秒（約3秒）

対象機種：BDZ-AT300S

スタンバイモード（89ページ）	消費電力	起動時間*5
低消費待機	0.08W*1	約40秒（約50秒）
標準	0.2W*1 0.6W*2 *3 約13W*2 *4	約6秒（約11秒）
瞬間起動	約18W*2	約0.5秒（約3秒）

*1 ［HDMI機器制御］（90ページ）［切］、［BS/CSデジタルアンテナ出力］（85ページ）［切］時。
*2 ［HDMI機器制御］（90ページ）［入］、［BS/CSデジタルアンテナ出力］（85ページ）［入］時。
*3 お買い上げ時の設定状態です。
*4 ［リモート機器登録］（92ページ）ありのとき。
*5 本機の画面が表示されるまでの時間です。（　）内は記録・再生などの操作可能になるまでの時間です。

ご注意

- ［スタンバイモード］を［瞬間起動］にすると、1日最大6時間が表中の消費電力となり、それ以外の時間は［標準］の消費電力となります。
- リモート機器登録を行うと、［スタンバイモード］が［低消費待機］のときは［標準］になります。
- 起動時間は本機内に録画されたコンテンツの数などにより、遅くなる場合があります。

i.LINK(アイリンク)について

対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000

本機のデジタルカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルカメラ用HDV1080i/DV 入力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

ちょっと一言

- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100(最大転送速度　約100Mbps*)
S200(最大転送速度　約200Mbps)
S400(最大転送速度　約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器とつないだ場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは?
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子(HDV1080i/DV入力端子)は、MICROMV方式のデジタルカメラのi.LINK端子(MICROMV信号)、および地上デジタルハイビジョンテレビ、地上デジタルチューナー、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子(MPEG-TS信号)とは信号が異なるため、接続できません。使用方法については70、73ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ←→ 4ピン(HDV/DVダビング時)

本機器はIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000規格に準拠しています。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器とつなぐときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
  接続・動作を確認している機種については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/products/i-link/index.html

以下のことはできません

- ソニー製以外のHDV/DVビデオカメラレコーダーを本機のi.LINK端子(HDV1080i/DV入力端子)につなぐこと。

音声設定と有効な出力端子について

設定項目ごとに、設定が有効になる出力端子が異なります。お使いになる出力端子の種類を確認してください。

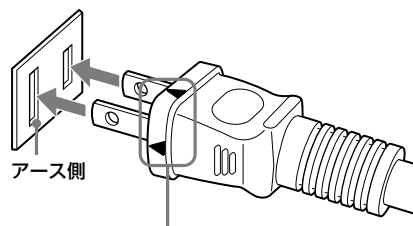
設定項目名	ページ	有効な出力端子		
		HDMI出力端子	デジタル音声出力光/同軸*[1]端子	音声出力端子
音声出力設定	83	○	○	○
HDMI音声出力	83	○	–	–
ドルビーデジタル	83	–	○	–
AAC	83	–	○	–
DTS	83	–	○	–
48kHz/96kHz PCM	83	–	○	–
オーディオDRC	84	○*[2]	○*[2]	○
ダウンミックス	84	○*[2]	○*[2]	○
BD音声出力	84	○	○	○

*[1] 対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000。
*[2] PCM出力時のみ有効。

電源コードの極性について

対象機種:BDZ-AX2000

本機の電源コードの極性を次のように合わせてつなぐことで、よりよい音質で音声を楽しめます。

電源コード(付属)のプラグにある▲マークを、コンセントの差し込み口の長い方(アース側)に差し込みます。差し込み口に長短がない場合は、どちらの向きに差し込んでも問題はありません。

テレビに表示される映像について

[テレビタイプ]および[画面モード]で設定できます（81、82ページ）。
ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定によって表示のされかたが異なります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧になり、ワイドモードの設定もご覧ください。

16:9のテレビで画面の映像が正しく表示されないときは

映像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	テレビで ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）
	映像が上下に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で [テレビタイプ]を[16:9]に設定します。 テレビで ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）
	映像の上下左右に黒帯が付いている	テレビで ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）

4:3のテレビで画面の映像が正しく表示されないときは

映像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で [テレビタイプ]を[4:3]に設定します。
	映像が縦長で画面いっぱいに表示されている	本機で [テレビタイプ]を[4:3]、[画面モード]を[ノーマル]に設定します。

16:9のテレビで4:3の映像を画面いっぱいに引き伸ばして見たいときは

本機で [テレビタイプ]を[16:9]、[画面モード]を[フル]に設定します。

テレビで ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）

言語コード一覧

詳しくは、87ページをご覧ください。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Belarusian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua

コード	言語
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance

コード	言語
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

言語名表記はISO639：1988（E/F）に準拠

商標について

- "ブラビアリンク"および"BRAVIA Link™"は、ソニー株式会社の商標です。
- "ブラビア プレミアムフォト"は、ソニー株式会社の商標です。
- BD-LIVE（BDライブ）とBD-LIVEロゴ、BONUSVIEW（ボーナスビュー）は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Blu-ray 3DおよびBlu-ray 3Dロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Blu-ray Discは商標です。
- Blu-ray Disc、DVD-RW、DVD-R、DVDビデオのロゴは商標です。
- BDXL及びBDXLロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー 及び ダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS, Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Master Audio | EssentialはDTS, Inc.の商標です。
  Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS-HD, DTS-HD Master Audio | Essential and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- i.LINKは、IEEE1394を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" " はソニーの商標です。
- "XMB"は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- "PSP"および"PlayStation"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- "AVCHD"はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- "メモリースティック"、"メモリースティック デュオ"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティック マイクロ"（"M2"）および " MEMORY STICK " は、ソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate"（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。"MagicGate Type-R for Secure Video Recording"（以下 MG-R(SVR) ）は "MG-R(SVR) for Memory Stick PRO"および"MG-R(SVR) for EMPR"は Dpa（地上波 デジタル推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。
- "Embedded Memory with Playback and Recording Function System" （以下 "EMPR"）は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名です。
- この製品はメモリースティックセキュアビデオ規格および"EMPR"規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for Memory Stick PRO"および"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR"を利用しています。
- HDVはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- "nav-u"および nav-u はソニー株式会社の商標です。

- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- JavaおよびすべてのJava関連のマークは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、㈱アクトビラの商標または登録商標です。
- 「TSUTAYA TV」 は、カルチュア･コンビニエンス･クラブ株式会社の登録商標です。
- DCS－人名辞書データ（著作権者･提供者：日外アソシエーツ株式会社）
- DCS－ニュース･シソーラス 第四版
  ー 新聞･放送ニュース検索のための主題14000語：著編者･廣木守雄,服部信司〔編〕／提供：日外アソシエーツ株式会社

その他

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品(以下「本製品」)をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
なお、本製品にはGNU General Public LicenseまたはGNU Lesser General Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれていますが、かかるソフトウェアは「許諾ソフトウェア」には含まれず、下記ソフトウェア使用許諾契約書の対象とはなりませんのでご注意ください。GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアの使用許諾条件については、「GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。
また、同様に、本製品には「OpenSSL(「Original SSLeay」ライブラリを含む)」および「NetBSD」、「JPEG」、「fdlibm」、「Root Certificate」が含まれていますが、下記ソフトウェア使用許諾契約書と、各ソフトウェアに関する「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬がある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先いたします。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間での許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条(総則)
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対しての使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条(使用権)
1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条(許諾条件)
1. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます)を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)
許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者(以下原権利者とします)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(ソニーおよび原権利者の免責)
ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条(第三者に対する責任)
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条(自動アップデート)
1. 許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
2. 使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条(秘密保持)
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条(契約の解除)
ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
(1) 本契約に定める条項に違反したとき
(2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条(許諾ソフトウェアの廃棄)
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第11条(許諾ソフトウェアの更新)
1. 使用者が、ネットワークからのダウンロード(第7条に定める自動アップデートを含む)あるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以外の目的で使用しないものとします。
2. 前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(132ページ)。

第12条(その他)
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel.tar.gz
pump
lrzsz
busybox
gcc
glibc
dosfstools
lzo
mkcramfs
hostname
scfs
libptp
libusb
procps
e2fsprogs
coreutils
NOE_driver
RestrictThread
ltt-control

これらのソースコードは、Webでご提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The Licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of

any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the

term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and assessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations

under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

OpenSSLソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
パッケージ名 sony-target-dev-openssl-0.9.8g-05000402.src.rpm

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Original SSLeay

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of

this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

FreeType

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

NetBSDソフトウェアに関するお知らせ

BSD License

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Bill Paul.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner..

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
パッケージファイル名 sony-target-dev-libjpeg-6b-05000401.src.rpm

以上

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (c) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

PuTTYソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、PuTTYソフトウェアの一部のコードが搭載されております。
ソースパッケージ：putty-0.58.tar.gz
ライセンス条文：http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html

PuTTY is copyright 1997-2006 Simon Tatham.

Portions copyright Robert de Bath, Joris van Rantwijk, Delian Delchev, Andreas Schultz, Jeroen Massar, Wez Furlong, Nicolas Barry, Justin Bradford, Ben Harris, Malcolm Smith, Ahmad Khalifa, Markus Kuhn, and CORE SDI S.A.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SIMON TATHAM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

fdlibmソフトウェアに関するお知らせ

@(#)fdlibm.h 1.5 95/01/18
Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted,provided that this notice is preserved.

Root Certificatesに関するお知らせ

In addition, the Runtimes and Runtime Components may contain one or more root certificates (herein referred to as "Root Certificates"). You may not modify the Root Certificates.

Nano-XMLに関するお知らせ

Copyright (C) 2000-2002 Marc De Scheemaecker, All Rights Reserved.
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

MPEG-2 Videoに関するお知らせ

ANY USE OF THIS PRODUCT OTHER THAN CONSUMER PERSONAL USE IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206.

MPEG-4 AVCおよびVC-1に関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE AND THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO

(i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO")
AND/OR
(ii)DECODE AVC VIDEO AND VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD THAT WERE ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND

NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://MPEGLA.COM <HTTP://MPEGLA.COM>

SEEに関するお知らせ

Copyright (c) 2003, 2004
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Mr Leonard nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID LEONARD AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID LEONARD OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

Anti-Grain Geometryに関するお知らせ

The Anti-Grain Geometry Project
A high quality rendering engine for C++
http://antigrain.com

Anti-Grain Geometry - Version 2.3
Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.
This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

libpixmanに関するお知らせ

libpixregion

Copyright 1987, 1998 The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

Copyright 1987 by Digital Equipment Corporation, Maynard, Massachusetts.

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Digital not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

DIGITAL DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL DIGITAL BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

libic

Copyright © 2001 Keith Packard

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

KEITH PACKARD DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL KEITH PACKARD BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

slim

slim is Copyright © 2003 Richard Henderson

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Richard Henderson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Richard Henderson makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

RICHARD HENDERSON DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL RICHARD HENDERSON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

expatに関するお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be

included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

CURLに関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2009, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

用語集

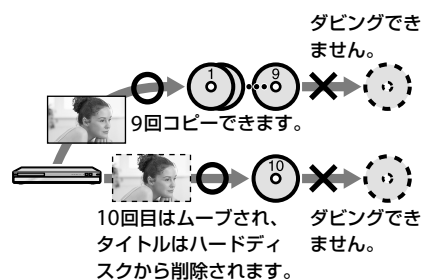
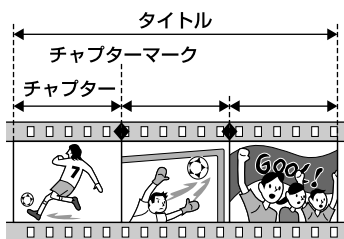
五十音順

解像度(81)
ディスプレイの表示能力として、出力される映像の情報量の細かさを表現する単位。この値が高いほどより自然に近い画質が得られます。

サムネイル(32)
複数の映像や画像を一覧表示するために縮小された画像。本機のタイトルリストなどに表示されます。

字幕放送(14)
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入／切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

タイトル(32)
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたります。本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいます。

ダビング10
著作権保護のため、10回までダビングすることが許可されています。ダビング可能回数の数字はアイコンで表示されます(164ページ)。

チャプター(34)
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。チャプターが記録されていないタイトルもあります。

データディスク
パソコンでのみ読み取ることができるファイルを格納するフォーマット。本機の場合、写真ファイルが格納されたディスクを指す。

ブロードバンドルーター(110)
家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を相互に接続できるネットワーク機器です。「スカパー！ HD」録画、ソニールームリンク、リモート録画予約などのネットワークを利用した機能を使用する場合に使います。

分配器
入力された信号を、同じ周波数で複数に分けるための機器です。ただし信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器(102)
VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力する機器。

ムーブ(移動)
タイトルリストで 1⇨ が表示されているタイトルは、ハードディスクからディスクへのみ1回だけムーブ(移動)できます。

ルートCA証明書(81)
ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。

アルファベット順

BD-J(75)
双方向操作を可能とするためにBD-ROMフォーマットではJavaをサポートしています。"BD-J"と呼ばれるJavaアプリケーションを使って、思い出ディスクダビングからBD-Jメニュー付きのディスクを作成してカレンダー表示などのメニューから映像や写真などを再生できます。

BD-R(Blu-ray Disc Recordable)
ハイビジョン映像の記録·再生に対応した一度だけ記録可能なBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切な映像の保管·配布に使用できます。

BD-RE(Blu-ray Disc Rewritable)
ハイビジョン映像の記録·再生に対応した書き換えが可能なBD。上書き可能なため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM(Blu-ray Disc Read-Only Memory)
映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。

BDAV(Blu-ray Disc Audio/Visual)
デジタル放送の番組などを記録したディスクの規格です。BD-R、BD-REにデジタル放送の番組を録画したりコピーしたりできます。

BDMV(Blu-ray Disc Movie)
映像·音声·字幕·メニュー表示に関する情報を記録することができる、ディスクの規格です。「BD-ROM」で利用されているアプリケーションフォーマットの一種です。
市販のBD-ROMや思い出ディスクダビングで書き出したBD-R、BD-REがBDMVになります。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
著作権を保護するために映像素材を暗号化･復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画したタイトルは、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

DVD-R
映像の記録･再生に対応した一度だけ書き込むことができる DVD 。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管･配布に使用できます。

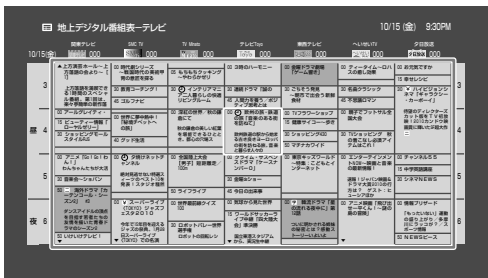
DVD-RW
映像の記録･再生に対応した書き換えができるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管にくり返し使うことができます。

GB
ギガバイトと読みます。ハードディスクやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

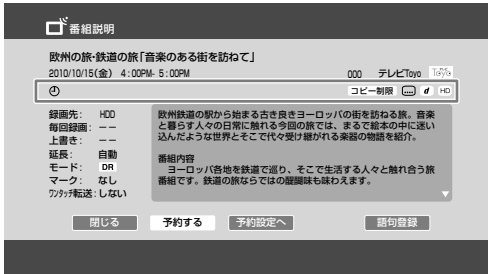
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。
ハイビジョン映像を高画質、高音質で楽しめます。

TB
テラバイトと読みます。ハードディスクなどの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。
1テラバイトは1ギガバイトの1,024倍です。

画面別アイコン一覧

番組表（5ページ）

アイコン	説明
●（赤）	録画中の番組
⏲（赤）	録画予約されている番組
⏲（灰）	予約の一部が録画できない番組
⏲（赤）	日時指定予約されている番組
⏲（灰）	日時指定予約のうち、一部が録画できない番組
¥	有料番組

番組説明

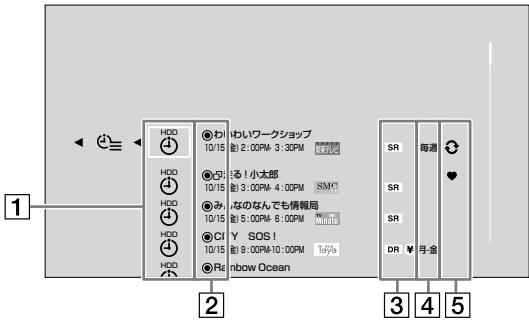
番組説明は、番組視聴中などにオプションメニューから［番組説明］を選ぶと表示できます。

アイコン	説明
●（赤）	録画中の番組
⏲（赤）	録画予約されている番組
⏲（灰）	予約の一部が録画できない番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
録画不可	コピー制御信号により、録画できない番組
¥	有料番組
（視聴年齢制限アイコン）	視聴年齢制限付き番組
（字幕アイコン）	字幕放送
d	テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送
HD	デジタルハイビジョン信号の番組

アイコン	説明
SD	標準テレビ信号の番組
ラジオ	ラジオ放送

x-おまかせ・まる録設定一覧（22ページ）

アイコン	説明
★（緑）	自動録画する場合のデジタル放送おすすめ設定
★（灰）	自動録画しない場合のデジタル放送おすすめ設定
（白）	自分で設定したおまかせ設定
（青）	プリセットキーワードのおまかせ設定

予約リスト（27ページ）

1

アイコン	説明
HDD ⏲	ハードディスクへの録画予約
BD ⏲	BDへの録画予約
HDD ⇢⏲	ハードディスクへのリモート／ネットワーク*録画予約。「見て録」を利用して番組を録画しているときも表示
BD ⇢⏲	BDへのリモート／ネットワーク*録画予約

* 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。

2

アイコン	説明
(アイコン)	複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組
●(赤)	録画予約した番組を録画しているときに表示
●(青)	同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画可能
●(灰)	録画不可 録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。録画可能にするには、タイトルを削除するなどして容量を空けてください。 録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。また、番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合にも表示されます
⚠	対象番組なし 予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示

3

アイコン	説明
DR など	録画時の録画モード
¥	有料番組

4

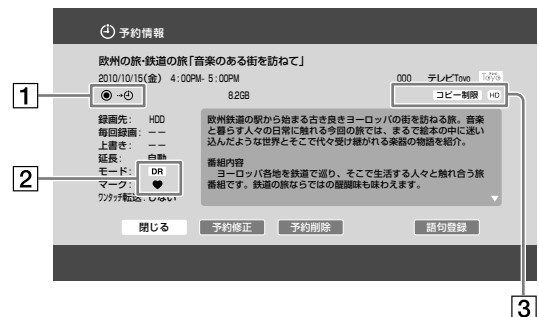
アイコン	説明
毎週など	毎回録画で予約した場合に表示

5

アイコン	説明
♥ (アイコン) など	録画予約時に設定したマーク
(アイコン)	毎回録画で前回のタイトルを上書きする場合に表示

予約情報

予約情報は、予約リスト(27ページ)を表示中にオプションメニューから[情報表示]を選ぶと表示できます。

1

アイコン	説明
(アイコン)	リモート／ネットワーク*録画予約、または「見て録」を利用して番組を録画している場合に表示
スポーツ	スポーツ延長自動対応機能によって、延長対象になった場合に表示

* 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。

2

アイコン	説明
DR など	録画時の録画モード
♥ (アイコン) など	録画予約時に設定したマーク

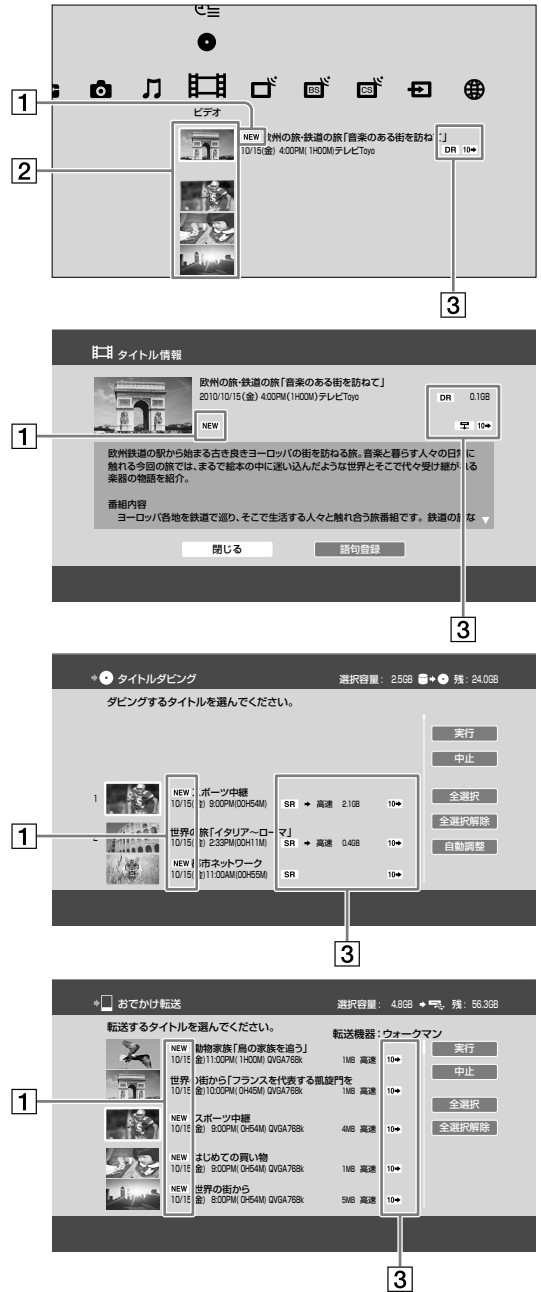
3

アイコン	説明
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
(アイコン)	視聴年齢制限付きの番組で、設定されている制限レベルに該当するため年齢制限を解除して予約したとき表示
(アイコン)	字幕がある番組のとき表示
d	連動データがある番組のとき表示
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組

その他

タイトルリスト、タイトル情報、タイトルダビング、おでかけ転送*1（32、52、59ページ）

タイトル情報は、タイトルリストを表示中にオプションメニューから[情報表示]を選ぶと表示できます。

1

アイコン	説明
NEW	再生されていないタイトル
PL	プレイリスト
★	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画されたタイトル
☆NEW（金）	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
☆NEW（青）	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトル
（おまかせアイコン）	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画されたタイトル。（おまかせアイコン）の付いたタイトルで（ごみ箱アイコン）が付いているタイトルは、ハードディスクがいっぱいになったときに自動的に削除されます
（おまかせ）NEW（金）	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
（おまかせ）NEW（青）	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトル
●（赤）	録画中
►	再生中
●►	追いかけ再生中
（ピンク）	ハードディスクに取り込み中のタイトル
（ピンク）	ディスクにダビング中のタイトル
（灰）	ディスクにダビング予定のタイトル
（ピンク）	おでかけ転送中のタイトル*1
（灰）	おでかけ転送予定のタイトル*1
（ダウンロードアイコン）	インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
（ピンク）	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
（灰）	インターネットサービスからのダウンロード一時停止、または中断エラーのタイトル
（ダウンロード）►	インターネットサービスからダウンロード中に追いかけ再生をしているタイトル
（ダウンロード）NEW	インターネットサービスからダウンロードされ、再生されていないタイトル

2

アイコン	説明
（年月）	録画日時で分類されたタイトルグループ
（ジャンル）	番組データのジャンルで分類されたタイトルグループ
（予約）	予約の種類ごとに分類されたタイトルグループ

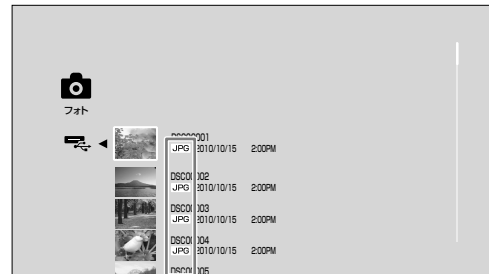
アイコン	説明
(おまかせ・まる録)	x-おまかせ･まる録の録画条件で分類されたタイトルグループ
(マーク)	マークごとに分類されたタイトルグループ
PL (プレイリスト)	プレイリストグループ。x-Pict Story HDやデジタルカメラのタイトルから作成したプレイリストは含まれません
(ダウンロード)	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルグループ。タイトルはシリーズごとに集約されます(シリーズ集約)
(レンタル)	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のあるタイトルグループ。タイトルはパックごとに集約されます(パック集約)
(x-Pict Story)	x-Pict Story HDで作成したタイトル(または、そのプレイリスト)のグループ
(ビデオカメラ映像)	デジタルカメラのタイトルグループ。8cm DVDからハードディスクへダビングしたタイトル、HDV1080i/DV入力端子から録画したタイトル*2、HDV/DVダビング*2やAVCHDダビングで取り込まれたタイトル(カメラ取込みで作成したタイトル、または、そのプレイリスト)を表示します

3

アイコン	説明
など	録画予約時や録画したタイトルに設定したマーク
1➡	移動(ムーブ)可能なタイトル(コピー制御信号により、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクに1回だけダビングできるタイトル。携帯電話へのおでかけ転送*1も1回だけです。ダビング、または携帯電話におでかけ転送するとハードディスクからは削除されます)
1➡ 10➡ 各種	ダビング可能回数2～10回のタイトル、ダビング可能回数1～9回のプレイリスト、またはインターネットサービスからダウンロードしたタイトル。数字の回数だけ、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクにダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりハードディスクから削除されます。なお、インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、ダビング可能回数1回の場合にダビング(BDにのみ)やおでかけ転送*1をしてもハードディスクにタイトルが残ります。ただし、おかえり転送はできません*1
	ダビングできないタイトル
DR など	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)

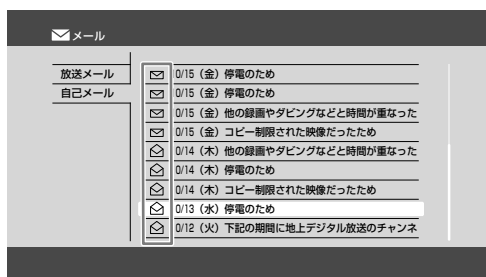
アイコン	説明
	毎回録画で前回分を上書きしたタイトル
	プロテクト(保護)されたタイトル
	x-おまかせ･まる録で録画され、自動削除対象となっているタイトル。プロテクト(保護)したり、編集をすると、自動削除対象からはずれます
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル
x-Pict Story	x-Pict Story HDで作成したタイトル
	視聴年齢制限付きタイトル
	他機器で再生できるタイトル*1
	"ウォークマン"などに高速でおでかけ転送できるタイトル*1
	PSP®などに高速でおでかけ転送できるタイトル*1
	携帯電話に高速でおでかけ転送できるタイトル*1

*1 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500。
*2 対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000。

写真の一覧(67ページ)

アイコン	説明
JPG	JPEGの写真データ

ダウンロード管理画面(28ページ)

アイコン	説明
（ピンク）	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
	ダウンロードを一時停止しているタイトル
	ダウンロードエラーのタイトル 本機のハードディスクの容量が不足している、または保存できるタイトル数が上限に達している場合、ダウンロードできません。またネットワークの中断や、ダウンロード期限が過ぎている場合にもエラーとなります
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル

メール（81ページ）

アイコン	説明
	すでに読んだメール
	まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません

その他

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字順／アルファベット順

数字

アルファベット

その他

4-208-048-**04** (1)

Q＆A

製品について困ったときは

●よくあるお問い合わせのQ＆Aを知りたい
●アンテナやテレビとの接続を確認したい
●使いかたの詳しい情報を知りたい

インターネットで下記アドレスを入力してください。

http://www.sony.jp/support/bd/

ブルーレイディスクレコーダーに関するURLを携帯電話から
パソコンへ転送できます。右記2次元コードからアクセスして、
「PC用サイトのご案内」を選んでください。

この説明書は、古紙70％以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。